

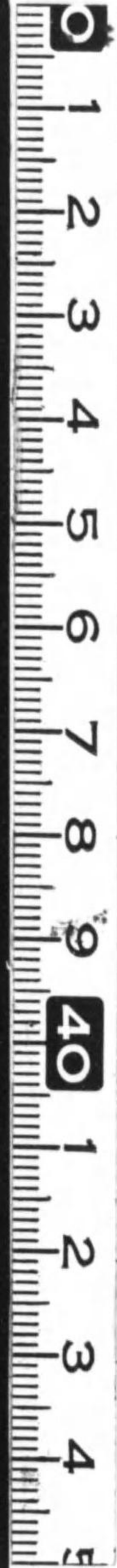
253

253-428



1200501344310

28



始



ナ 37 67



文學博士 野田義夫 著

丁抹國民高等學校の研究

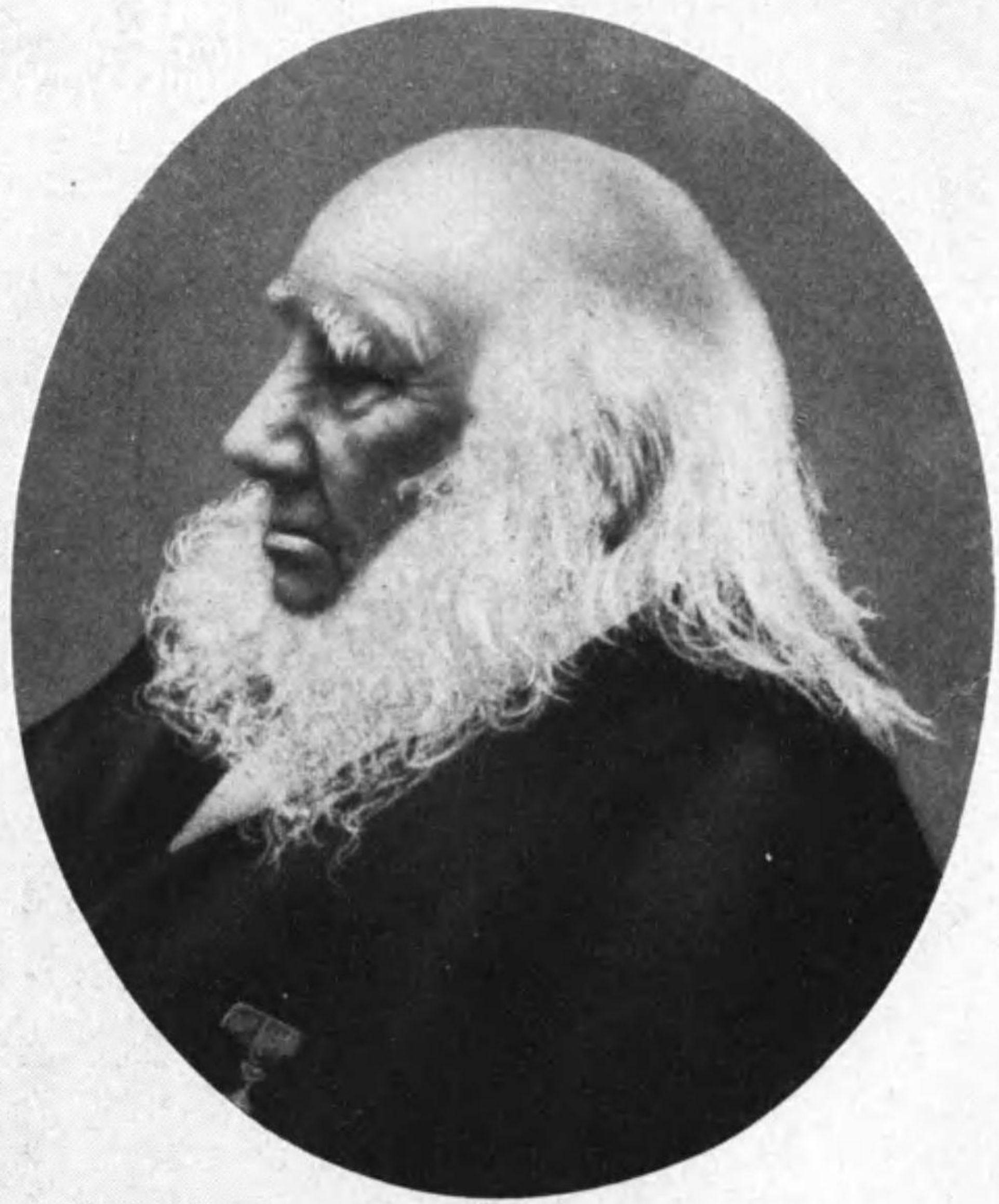
東京 株式會社 同文館 刊



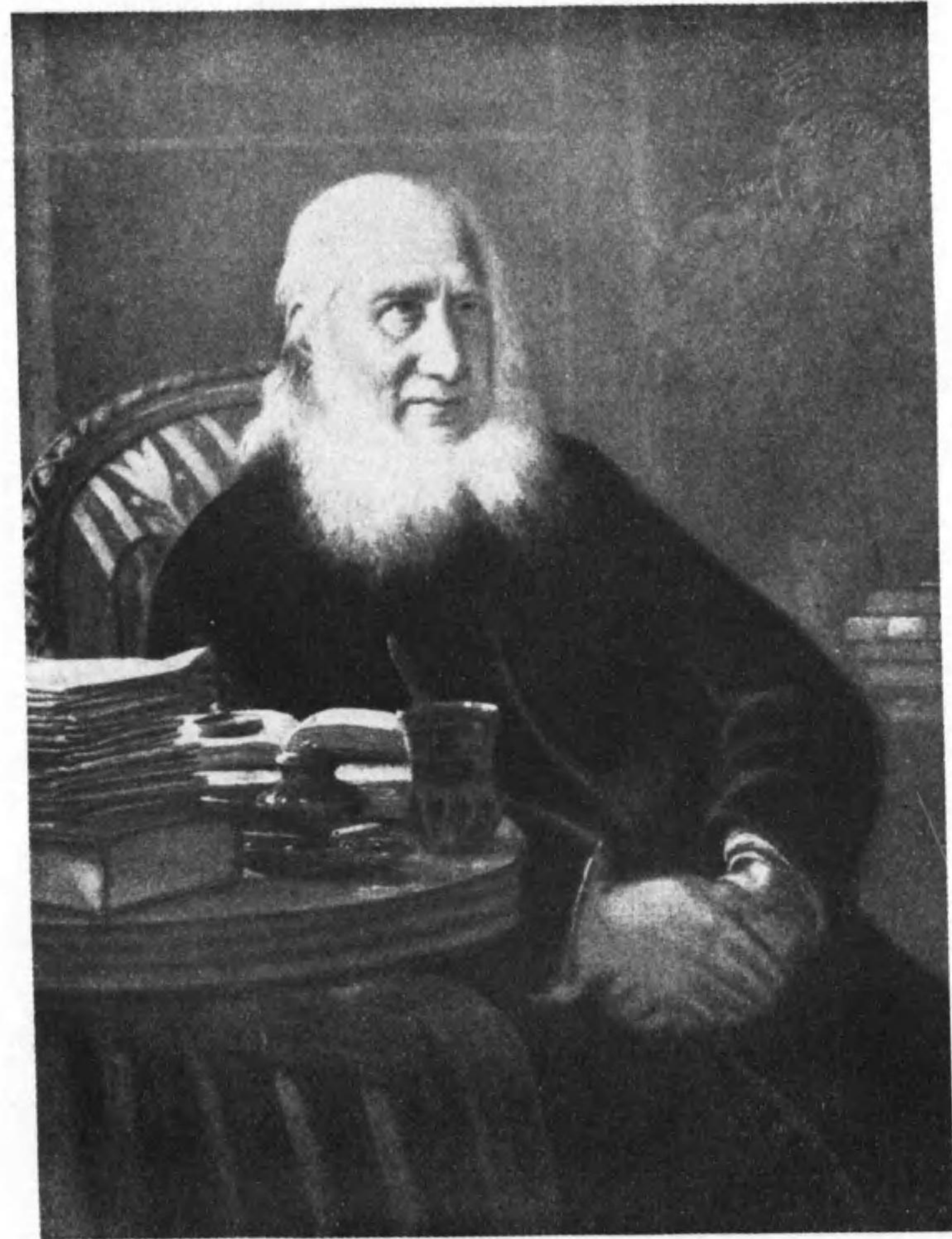


ヒツイウトンルグの年壯



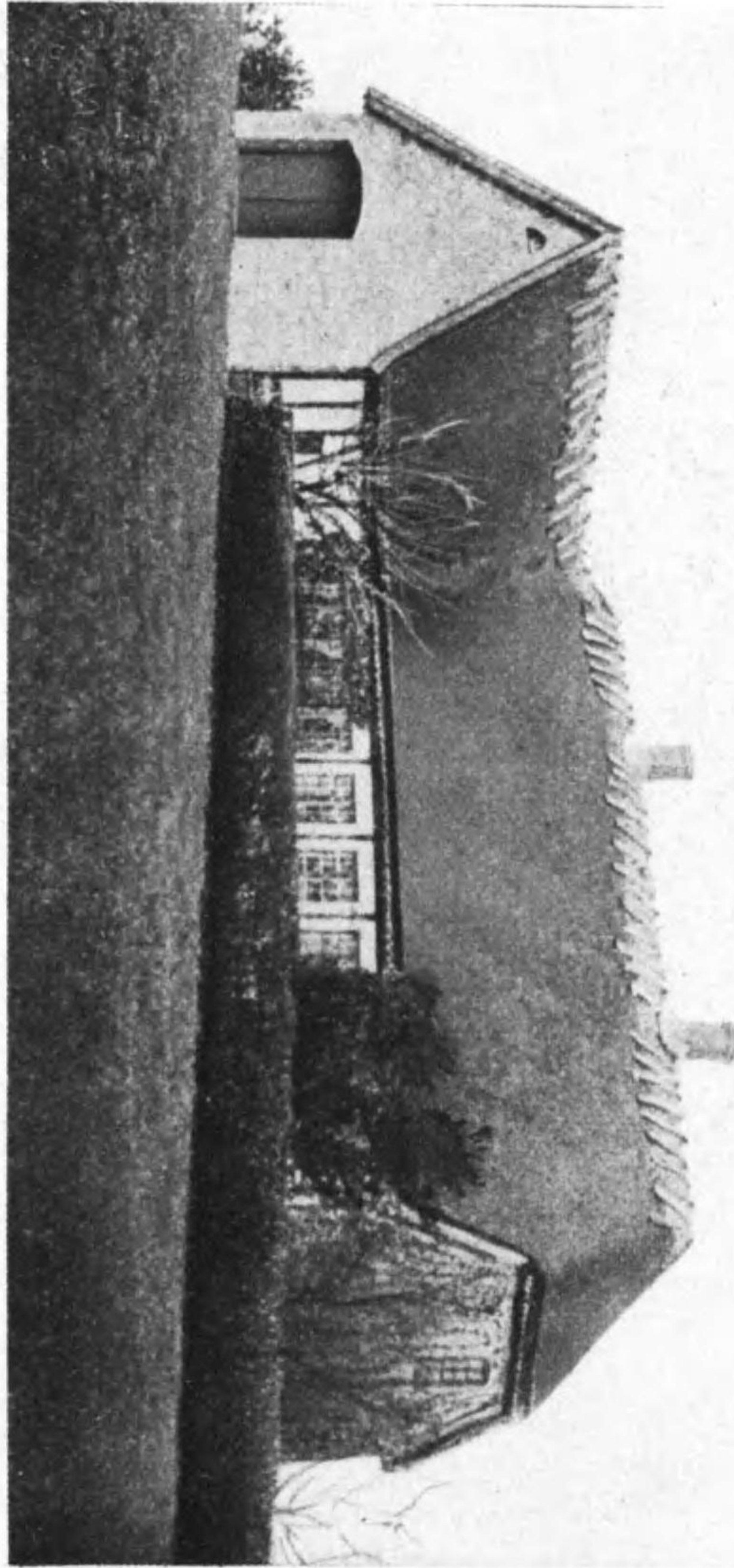


ヒツイウトンルグの年晩



ヒツイウトンルグの年老

舎校の作自ドルーコ



ドルーコ・ンテスリク者勳殊



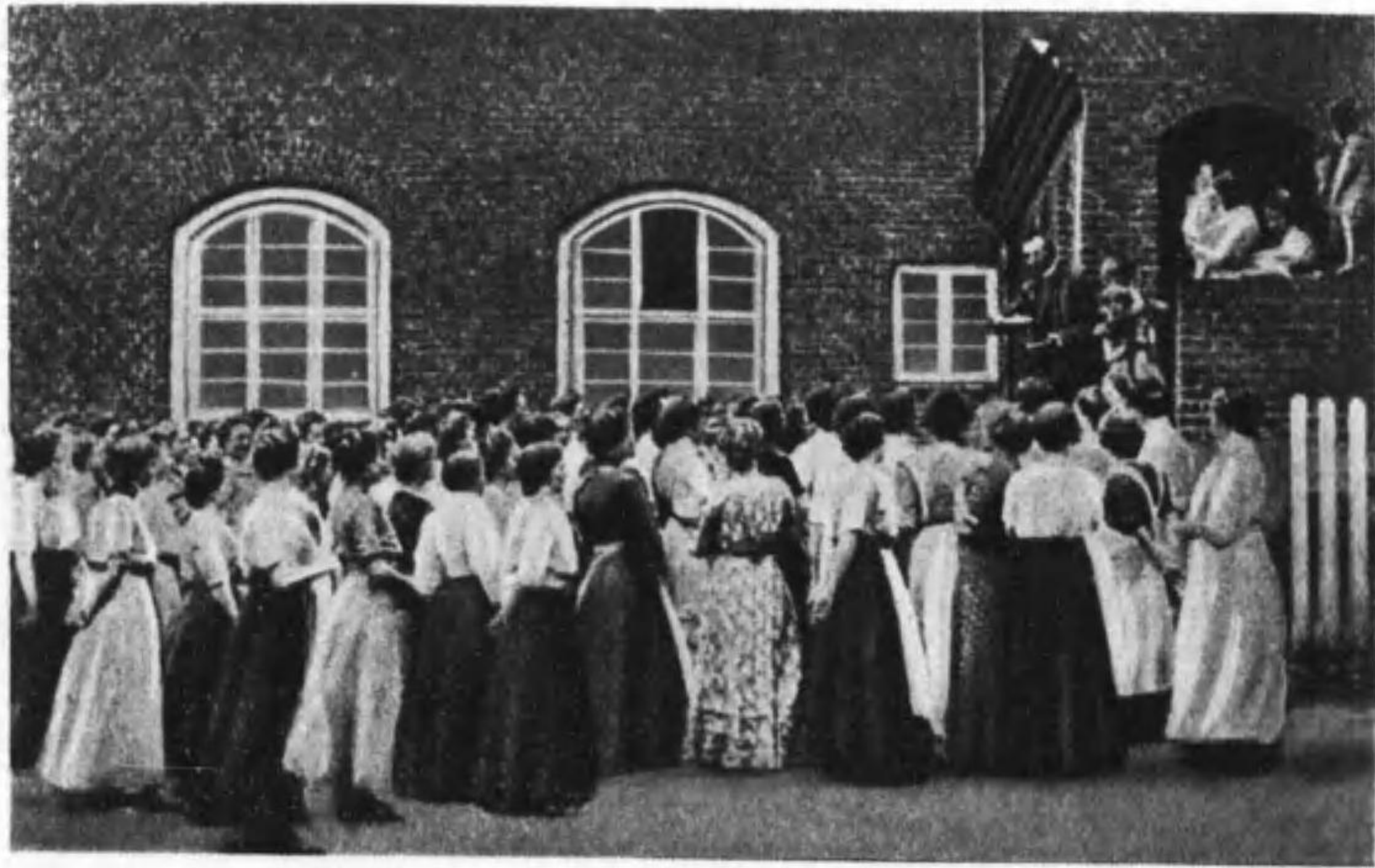
ルデーレユシの中演講に校フコスア



ルデーレユシの校フコスア



校 デ ル キ ス ロ



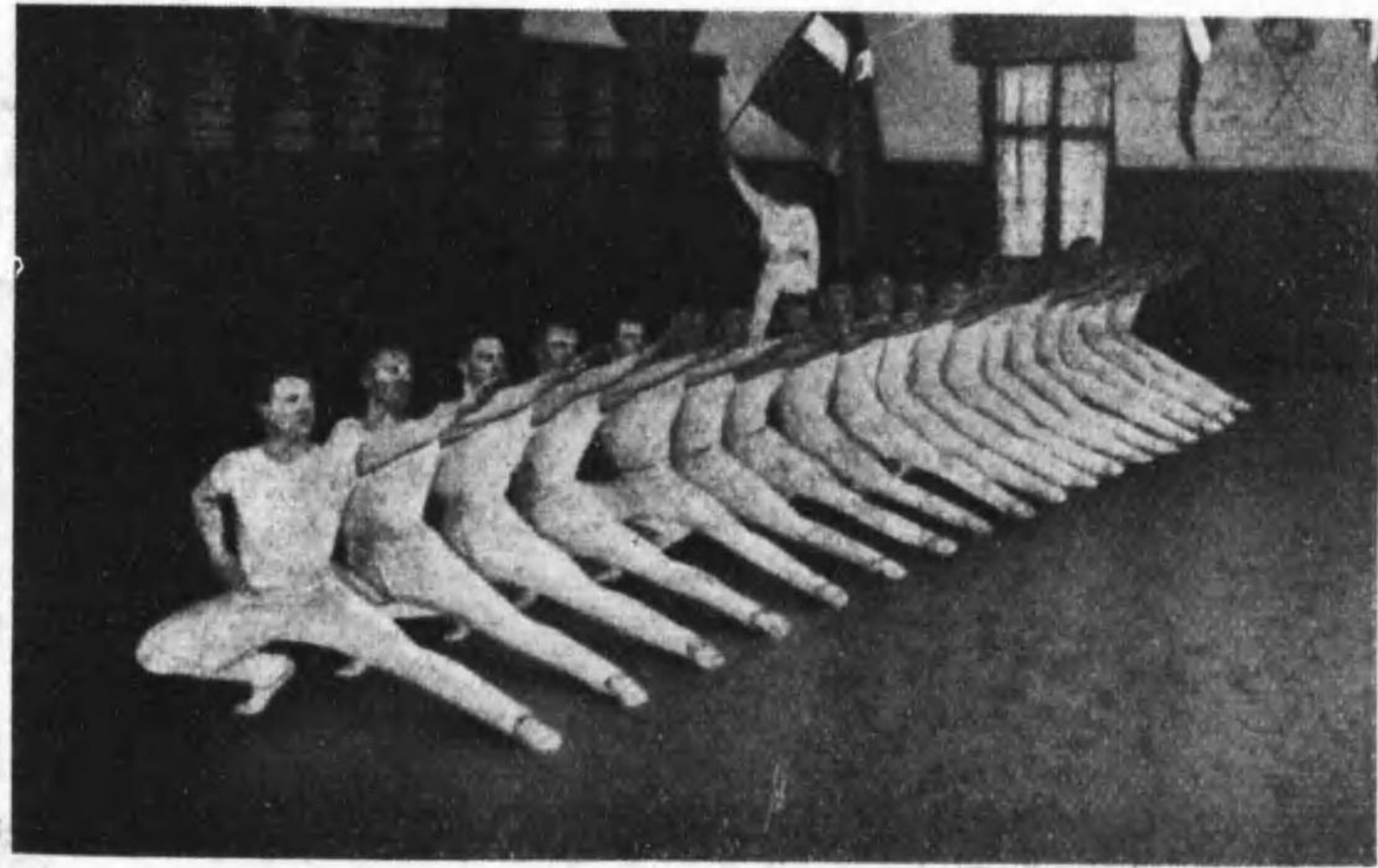
布 配 の 物 便 郵



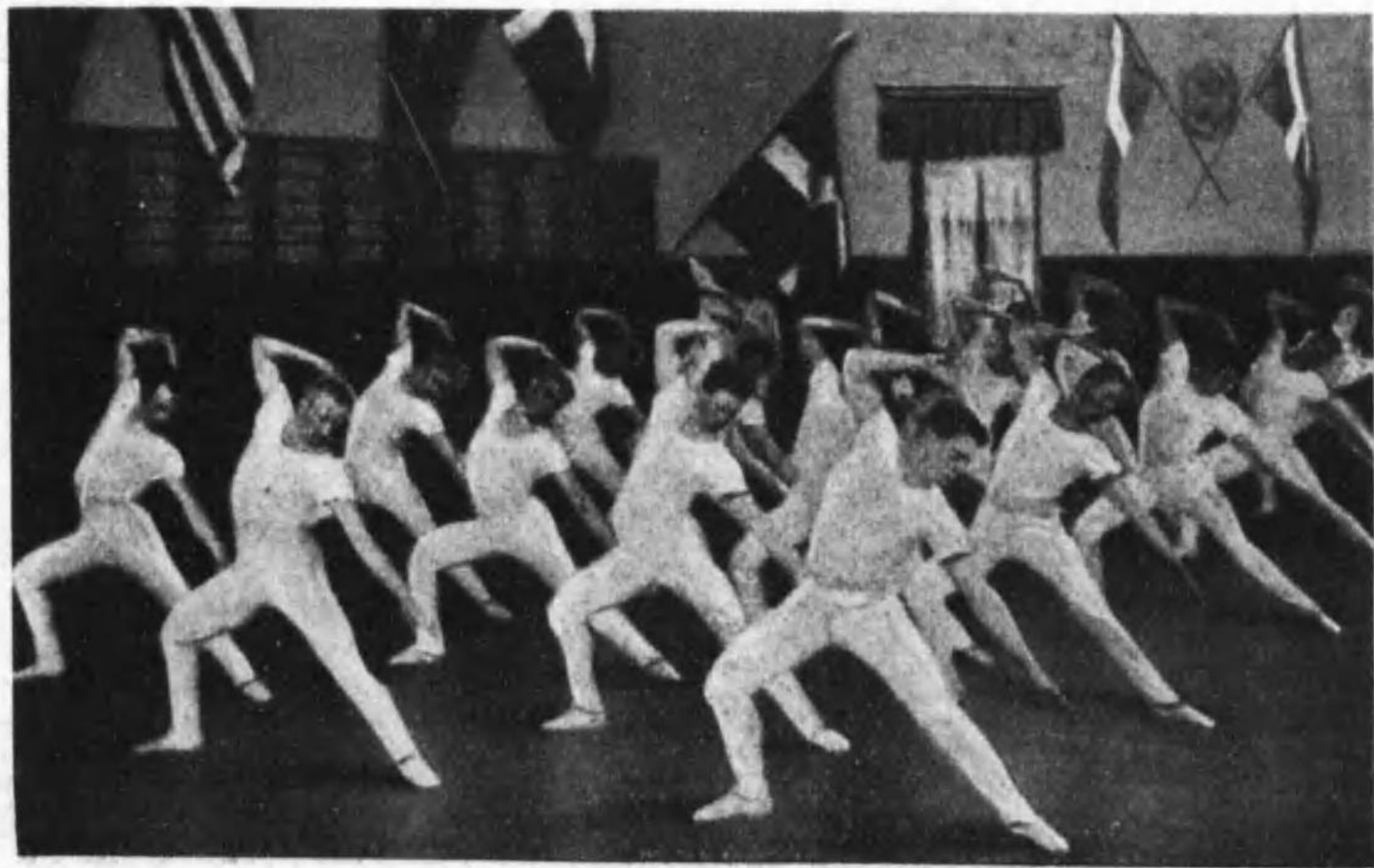
校 フ コ ス ア の (時 當 轉 移) 年 五 六 七 一



校 フ コ ス ア の 年 六 一 九 一



(一) 操體



(二) 操體



堂講の校同

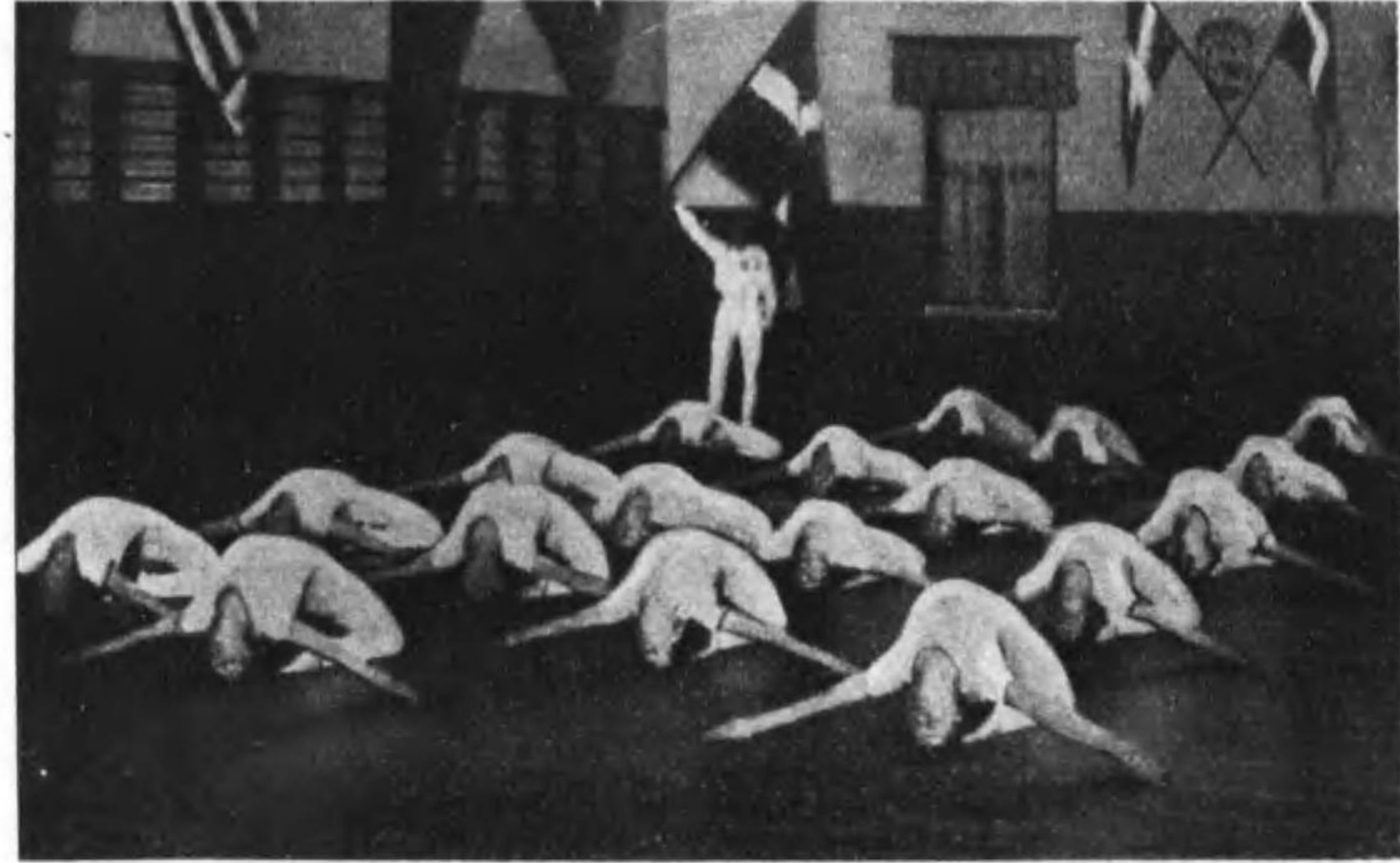


堂食の校同

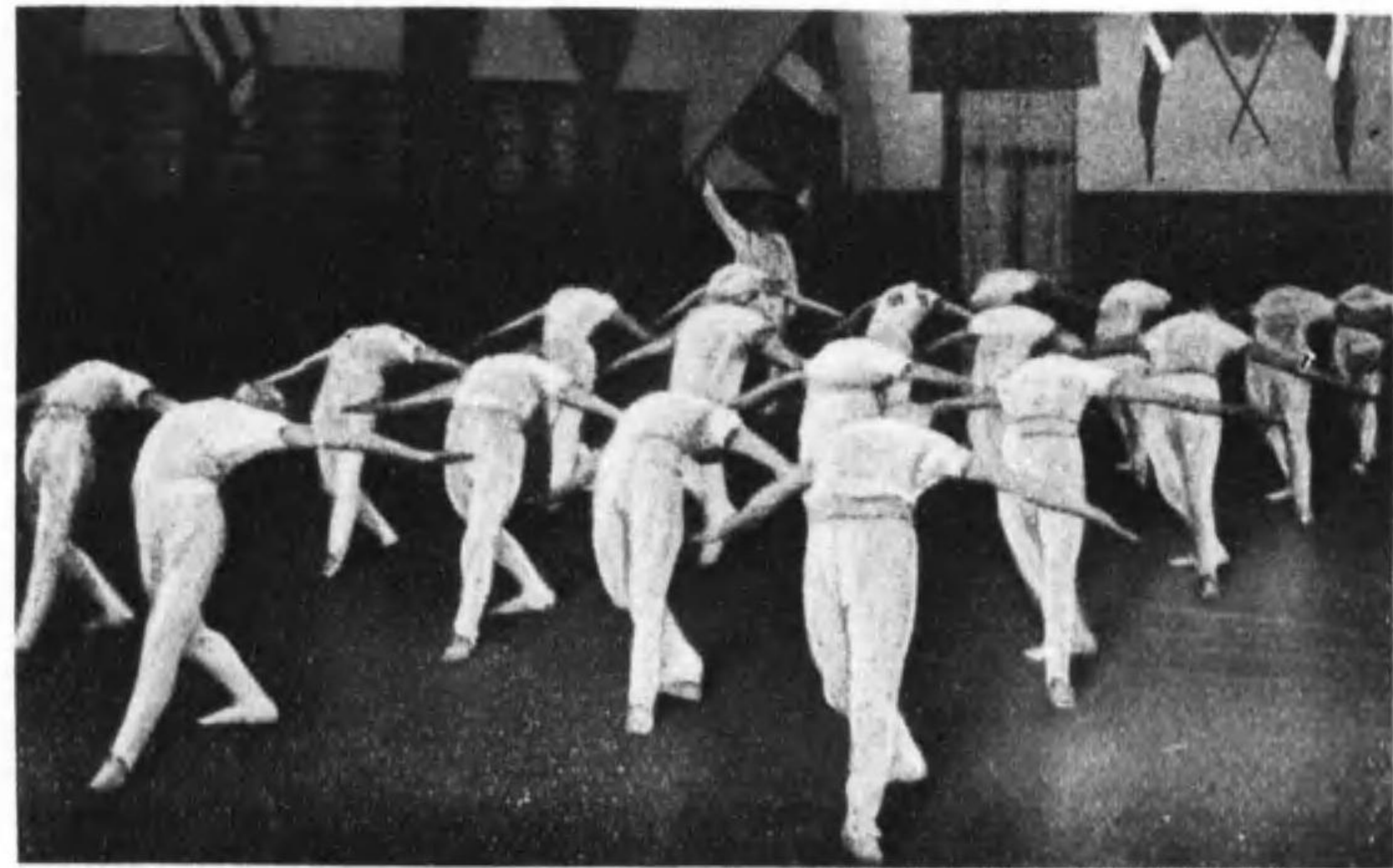
253-428

自序

私は海外出張中大正十四年十二月突然英國倫敦の街頭で腦溢血を起してから既に約四年を經過し餘程氣力を恢復してゐるが餘命は最早幾ばくも無いものと覺悟してゐる。危ふくも九死に一生を拾ひ得た此の餘命を多少なりとも有意義ならしめたいのが私の切なる念願である。發病直前に見た丁抹國民高等學校の深い印象は之を忘れようとしてどうしても忘れられぬ。私は何とかして此の印象を同胞に分ちたいと思つてゐる折柄偶々本年三月から之を雜誌帝國教育に公表する機會を得たので更に丁抹と獨逸で蒐集して來た文獻を涉獵して事實上の知識を廣めると共に其の所見を練り丁抹國民高等學校の研究と題し前後六回に亘つて連載した。今其の完結を待つて更に訂正増補の上一冊の單行本として之を刊行する。此の書は何分病中の述作であるから研究や叙述には學術上の完全を期してゐない。併し最初文部省に提出した報告書に着想し之を敷衍して我が同胞に何物かを貢獻したいといふ動機に於ては往年海外留學から歸朝して間もなく公にした歐米列強國民性の訓練と何等



(三) 操體



(四) 操體

の變りはない。私に取つては十五箇年を隔てた外遊の記念たる上に於て此の書は彼の書の姉妹篇の心地がする。若し此の小著が幸にして多少なりとも我が同胞の間に共鳴を喚び起すことがあつたならば私に取つては老後無上の慰安となるのみならず尙ほ且つグルントウイツヒやコールドも定めて北歐の地下に會心の微笑を漏すであらうと思ふ。

昭和四年九月

大阪にて

野田義夫識

丁抹國民高等學校の研究 目次

はしがき……………一

1 農村生活と國民高等學校……………一七

一 旅客に映ずる農村生活……………一七

二 農村生活充實の主因……………二〇

2 グルントウイツヒと國民高等學校……………二五

一 國民精神の權化としてのグルントウイツヒ……………二五

二 幼時と青年時代……………二九

三 失戀と文學研究……………三二

四 信仰の確立……………三三

五	英國旅行の印象と國民高等學校の計畫	三四
六	グレントウイツヒとマルクス	四〇

3 國民高等學校の成立と其の發達

一	國民高等學校の計畫	四五
二	最初の國民高等學校	四七
三	國民高等學校の殊勳者コールド	五三
四	アスコフ校のシユレーデル	七三
五	グランドウイツヒ高等學校	八〇
六	領土割讓後に於ける急劇の發達	八三
七	國民高等學校の普及と趣旨の徹底	八七
八	二十世紀に於ける國民高等學校	九七

九	首府の國民高等學校	一〇九
十	國際國民高等學校	一一五

4 國民高等學校の發達と農民の勃興

一	丁抹に於ける民權の發達	一二六
二	丁抹に於ける農業の發達	一三〇
三	丁抹農村に於ける國民高等學校の勢力	一三五

5 國民高等學校の本領

一	農村青年の國民生活訓練所	一四三
二	國民精神作興の源泉	一四九
三	人格修養の道場	一五四

四 國民文化の淵叢……………一九九

6 國民高等學校の教科と教育法……………一六三

一 國民高等學校の本領と教科……………一六三

二 教科……………一八〇

一 國史……………一八〇

二 國語及國文……………一八四

三 社會科……………一八六

四 自然科學及數學……………一八六

五 唱歌……………一八七

六 體操……………一八九

三 教育法……………一九一

一 宗教的精神……………一九二

二 自治勤勞の精神……………一九二

三 體驗主義……………一九二

四 自由講演……………一九三

五 質問及座談……………一九四

六 自修……………一九五

七 寄宿制度……………一九六

7 ロスキルデ校の一例……………一九七

8 所感……………二〇八

目次 終

丁抹國民高等學校の研究

はしがき



私は大正十四年エヂンバラ開催の國際教育會議に參列した序を以て英佛獨の三箇國を順次約二ヶ月づゝ視察した後に平素心掛けてゐた丁抹の國民高等學校を實地に見學する機會を得た。同年十一月中旬伯林を出發して獨逸各地を巡歴した後同月二十九日獨逸キールを發し汽車でフレスブルグから國境を越へて丁抹に入り當時見渡す限り皚々たる白雪に蔽はれた平野を通過し汽車を舟に載せて渡るフレデリチアとニボルグの二の入海を越え丁抹を貫通した背骨とも言ふべき鐵道線路を辿つて夜十一時半に首府コペンハーゲンに着いた。これで一日の中にザット全國を通過した事になる。翌朝日本の領事館を探して名譽領事か

ら文部省への紹介状を貰ひ、午後日本で言へば普通學務局長といふやうな人に面會して國民高等學校見學の希望を述べ且つ同校の事情を聞いた。獨逸や日本のやうに學校の組織や狀況に就いて何か文部省の規程か報告類の印刷物はないかと聞いたが夫れは少しもないと言ふ事であつた。つまりお土産になるやうな印刷物は何も手に入らなかつた。同氏はヘーデルマン・リンデンクローネといふ少壯の人物であつたが其の談話には流調な英語を用ひ風采も態度も座ろに英國紳士を思はせた。其の談の要點は次の通である。文部省は國民高等學校に對して何等組織編制上の要求をなさず又教育上にも一定の課程を定めず、又嚴重の監督指揮を行はず、學校自體で國民生活の要求に應じて健全な發達を企圖することを方針としてゐる。國定の課程が無いから教育の内容は學校によつて一様でない。併し全體に共通な特色を有つてゐる事は勿論である。同校は本來農村の學校であるから首府コペンハーゲンには固より一校も無いから汽車で一時間餘りで行かれるロスキルデといふ所にある學校を見たらよからうといふのでそこに宛てた紹介状を貰つた。尙近來は外國からの視察者が多いので國民高等學校を説明した案内書様のものが獨文と英文とで出版されてゐると

いふ話を聞き早速書肆に行つて見たが英文の方は賣り切れで獨文の方を手に入れた。これは丁抹國民高等學校及び農學校協會から出版したもので「丁抹國民高等學校」といふ表題になつてゐる。

Die dänische Volkshochschule,

Herausgegeben von den Verein für Volkshochschulen und landwirtschafts-

schulen in Dänemark.

此の書は百七十四頁の小冊子であるが二十三章に分ち挿繪が澤山に入つて國民高等學校の狀況を多方面から極めて具體的に叙述してあり外國人に取つては極めて便利の書物である。尙同書の卷末に獨英佛文の参考書が擧げてある。獨文の参考書の第一に擧げてあるのが獨逸のホルマン教授の著書である。私は前記の書と夫を同じ本屋で求めた。ホルマン教授の書は流石に獨逸學者の著書だけあつて研究が學術的であり同時に非常な熱心が籠つてゐる。其の第一版は千九百十年であるが此處で私の手に入れたのは千九百十九年の第二版で第一版を訂正増補して面目を一新したものである。第一版の方は豫め獨逸で手に入れて

あつた。私は伯林にゐる時に長野縣人の平林廣人といふ方が國民高等學校研究のためにコペンハーゲンに留學中で同校視察者には尠からず、便宜を與へてゐられる事を豫め聞いてゐたのでヤット其の宿を捜がしあてたが生憎旅行不在中で面談の機會を得ず單獨ロスキルデに行つた。學校に着いたのは午後四時頃であつた。學校は極めて小規模であるから校舎や設備を見るには時間はかゝらぬ。校長が生憎不在であつたから首席の教師に懇切な説明を聞いた。北歐の冬日は殊の外短いから着いて直ぐに暗くなつた。學校で晚餐を勧められたのを強いて斷つて校門を出た時には日は暮れ切つてゐた。學校が町はづれにあつたので積雪を踏みつゝ徒歩で停車場に向つた。一二町丘上を行くと折しも氷のやうな明月がさし上ぼつて寒國の荒涼たる銀世界を照した。私は一時我を忘れて皎々たる明月に見入つた。折しも凜烈たる寒氣は強く身震ひする程であつた。學校で得た感激と此の神々しい光景とが深く結びついて私の頭腦に終生忘れ難き印象を残した。私は外遊前に文部省から丁抹國民高等學校の教科書を蒐集して歸る命を受けてゐたがどの學校にもそれが無いので其の意を果さなかつた。併し私は教科書よりもつとつと大切な教育精神に觸れる事が出來

た事を衷心から感謝する。私の丁抹の旅行は前後僅かに三日間で學校は僅かに一校だけ而かもそこに居たのは半日にも及ばなかつたが其の印象や感激は極めて深刻であつた。尙ほ其の後書物の上で研究を積むにつれて其の印象が私に取つて極めて價值あるものとなつた事を自覺する。私は一旦伯林に歸り更に同地で手に入る参考書を集めて研究した。文部省へは教科書を送る代りに所感を述べた報告書を書かうと決心し夜を日に繼いで起草し十二月七日にヤット脱稿し書留郵便で發送したが歸朝後に聞き合せて見れば何の間違か此の報告書が文部省に到着しなかつたらしい。私は此の報告書を書き終ると同時に國際教育會議の報告書を起草し今少しで終るといふ所で氣分が悪くなつて來たから中止して一旦倫敦に行き着後三日目に街路を徒歩中突然腦溢血を起して仆れ米國經由の豫定を變更し印度洋を經由して翌年二月十八日神戸に着いた。國際教育會議の報告書は歸朝後に残りを書いて文部省に差出したがこれもどうしたものか紛失した。若し私が倫敦で即死してゐたと假定すれば以上二つの報告書はか暗ら暗に葬られた譯である。

私は就中折角精神をこめて書いた丁抹國民高等學校の報告書が途中で紛失したことを無

上の遺憾とする。私は此の紛失を知つてから責めては我が國の雜誌になりとも所感を公表し度いと思つてゐたが病氣が病氣の爲に思ふやうに執筆する事も出来ず今日まで其の機会を得なかつた所最近雜誌帝國教育の三浦兄から昭和四年の三月號に何か書けとの手紙が來たので私は時節到來と直感して早速此の機会を利用して前記の報告書の手控へがあつたのを幸ひ此小論文を起草する事にした。以上は讀者諸君に取つて定めて無意味の「はしがき」であらうが今から考へれば丁抹國民高等學校の視察は私に取つては發病間際の命がけの仕事であつた爲に再び茲に筆を執るに際して言はずには居られない感想である。

半日位の見學で國民高等學校の本領がつかめるものでないことは勿論である。私の研究は主として書物の上でなした所で實地見學は唯それを具體化し且つ生きた精神に觸れしめた機会を與へたに過ぎない。我が國には前記の平林氏始め多數の人によつて既に紹介されてゐるから此の上に最早研究を加へる必要はないかも知れぬ。併し私は平素教育學を専攻してゐる一人として私の頭腦を通じて知り得且つ感じ得た所を腹藏なく公表して我が國の識者の參考に供する事は強ちに無用でないと思ふ。私は現今の社會の世相に鑑み、國民精

神の作興や青年訓練所の經營には他山の石として有力な參考資料であると思ふから敢て進んで本誌の紙面をふさぐのである。

私は茲に私の研究の參考に供した文獻を列舉して、他の同志の研究者に供覽し度いと思ふ。就中私を最も益したのは最初のホルマン教授の書である。獨逸の學者も皆異口同音に此書を推奨する。獨逸は革命後になつて眞の民衆教育の模範は丁抹の國民高等學校であるといふ輿論が起り同名の學校が雨後の筍の如く獨逸に新設された。時の文部大臣ヘーニツシュの如きも矢張獨逸式に度々訓令を出して設置の方針を示した。ホルマンの書は九年前に出て居たが革命の翌年訂正増補第二版を公にし其の序文には從來獨逸には眞正の民衆教育が存在してゐなかつた事を力説し革命は單に政治上の輪廓を改造したのに外ならぬから今後は丁抹のやうに眞正な民衆教育を行つて其の内容を充實せねばならぬことを述べ、此の革命を機として國民高等學校の思想が獨逸國民は廣がりつゝあることを述べてゐる。其の他左に掲げる書名を見ただけでも當時の狀況が略ぼ推測される。

一、ホルマン著國民高等學校及び民本主義の精神的基礎

Prof. Dr. A. H. Hollmann:—Die Volkshochschule und die geistigen Grundlagen der Demokratie.

大正十五年四月モナス發行世界教育新潮叢書第十一編木下一雄譯著丁抹の國民教育と國民大學は此の書の抄譯である。

此は第二版の表題で第一版のは次の通りである。ホルマン著丁抹國民高等學校及び其の丁抹に於ける國民文化の發達に對する意義

Dr. A. Hollmann:—Die dänische Volkshochschule und ihre Bedeutung für die Entwicklung einer völkischen Kultur in Dänemark.

二、丁抹國民高等學校及農學校協會出版丁抹國民高等學校（前出）

三、獨逸文部省發行國民高等學校問題ニ關スル公文書

Zur Volkshochschulfrage. Amtliche Schriftstücke. 1919

Herausgegeben vom Ministerium für Wissenschaft, Kunst, u. Volksbildung.

四、レムケ著丁抹國民高等學校附獨逸農村國民高等學校案

Fr. Lembke:—Die dänische Volkshochschule nebst einem Plan einer deutschen ländlichen Volkshochschule. 1904

五、コンラッド・マース著都市國民高等學校

Konrad Mass:—Die städtische Volkshochschule. 1919.

六、ヘルマン・リーツ著獨逸國民高等家塾

Dr. Hermann Lietz:—Das deutsche Volkshochschulheim, 1919.

七、リユブケ著農村獨逸國民高等學校

Hans v. Lüpkke:—Die deutsche Volkshochschule für das Land. 1920.

八、タンツマン編獨逸國民高等學校運動第一年報

Bruno Tanzmann:—Erstes Jahrbuch der deutschen Volkshochschulbewegung.

此の書の第一編には運動の出發點として丁抹及び瑞典に於ける國民高等學校の現況及び沿革を紹介し、第二編は獨逸國民高等學校の具體案に關する教育諸大家の意見を網羅し第三編には獨逸各地に於ける着手の實狀を述べてゐる。

九、キユツフェル著北歐國民高等學校に行きて

Georg Kiffer:—Auf nordischen Volkshochschulen. 1923.

十、エルドベルグ著自由民衆教育制度の五十年

Robert v. Erdberg:—Fünzig Jahre freies Volksbildungswesen.

十一、ブヘナウ著獨逸國民高等學校

Dr. Artur Buchenau:—Die deutsche Volkshochschule. 1919

十二、ポウルゼン著獨逸に於ける國民高等學校運動と丁抹に於ける國民高等學校事業

Alfred Povlsen:—Volkshochschulbewegung in Deutschland und Volkshochschul-Arbeit in Dänemark. 1920

十三、パウル著獨逸に對する瑞典國民高等學校運動の意義

Johannes Paul:—Die Bedeutung der Schwedischen Volkshochschulbewegung für Deutschland. 1921.

一二に擧げた書物の中には獨文參考書としてホルマンの外に左の二書を擧げてゐる。

フリベルグ著北歐諸國に於ける國民高等學校の成立及び發達

Dr. Maikki Friberg:—Entstehung und Entwicklung der

Volkshochschulen in den nordischen

Ländern, Bern 1897

シユルツェ著國民高等學校

Ernst Schultze:—Volkshochschulen, Leipzig 1897

英文には左の四種を擧げてゐる。

サドラー編英國及其他に於ける補習學校中の一編丁抹國民高等學校

The Peoples High schools in Denmark (Continuation Schools in England and Elsewhere. Edited by M. E. Sadler. Manchester 1907)

勅命委員報告中國國民高等學校

The Peoples High Schools. (Report of the Royal Commission. Volume I of Part III Ottawa. 1914

オックスフォード大學擴張雜誌中アルフレッドパウゼン丁抹國民高等學校

Danish Popular High Schoos By Alfred Poulsen. The Oxford University

Extension Gazette. Sep. 1894

アツベル著國民高等學校

The People's High schools By J Appel Young Oxford October 1902

佛文には左の二種を擧げてゐる。

政治學年報千九〇六年十二月號中カルパンチエー丁抹國民高等學校

Les Hautes Ecoles du Peuple Danois Pas G. le Carpentier. (Annales des

Sciences Politiquis. Nev. 1906)

ルイズ・クリュビー著丁抹國民高等學校

Les Hautes Ecoles du Peuple Danois. Par. Louise Cruppi. Paris 1911

私は歸朝後オックスフォード大學の出版に係る丁抹人三人の共著による左の書を手に入れたベグトルブ・ルンド・マンニツへ共著丁抹國民高等學校及び農業共同社會の發達

Holger Begtrup, Hans Lund and Peter Manniche :—The Folk High-Schools
of Denmark and the Development of a Farming Community. 1926

以上の書目と出版年月を見ただけでも蕞爾たる一小國丁抹の國民高等學校は歐洲諸強國の注意を惹き専門家の視察報告や研究發表は最近は勿論既に大戰前からは行はれてゐた事が明かである。獨逸では革命を機會として教育家の研究や意見が盛に發表されたことが特に目立つ。獨逸では革命の翌年に國民高等學校の新設が絶頂に達し其後は少し下火の形勢である。獨逸は國情が違ふ所から外國に發達した制度を其の儘移植して丁抹と一様の成績を擧げる事は固より出来ない。併し多數の教育者が丁抹の國民高等學校を研究して其の教育的價值を闡明した事は世界の教育界に對する大きな貢獻と言はねばならぬ。私の此の小論文も實は此等の研究に刺戟されて書く氣になつたのである。大戰前には世界の理想的教育國を以て自任し其の完備した教育制度や緻密な教育學には何等の缺點がなく之を以て他國を教へて優に其の模範にはなるが此等の點に就いては最早少しも他國から學ぶ必要がないと自尊心に満ちてゐた獨逸國民が大戰の失脚後ガラリと態度が變り、嘗てシユレスウイ

ヒ、ホルスタンの二州を割讓せしめ高が知れた弱小國と侮り見くびつてゐたデンマーク國に昔奪取した二州を返還したのみか同じ國から國民の重大問題たる自國復興の一助として丁抹の國民高等學校の制度を學び、而かも帝政時代の教育が貴族的に傾いて階級分裂を助長した弊害に鑑み丁抹の國民高等學校を以て、一方には國民精神を喚起して眞正の獨逸文化の發達を圖り、一方には知識階級と勞働者階級とを融和して眞に國民全體を統一する民本主義を實現する好個の模範と見るやうに豹變した事は人間萬事塞翁馬のやうとは言へば鑑遠からず私は之を全くの餘所事とは思はぬ。多年獨逸の教育を模範と考へてゐた我が國の教育者に取つてこれは誠に頂門の一針と言はねばならぬ。これは決して私一人の空想ではない。革命後の新獨逸が丁抹の國民高等學校の國民的意義に就いて熱烈な共鳴を起したやうに我が國の實際教育家にも既に業に具體的事實として現に同様の共鳴を喚び起したやうである。苟も我が祖國の教育の盛衰に志ある人が丁抹國民高等學校の實際を見且つ深く其の意義を味へば決して平然としては居られぬ。私はまだ此問題に關する日本文の著書や論文を全部蒐集して見た事はないが平林廣人氏が歸朝後著書を公にされた事は承知してゐ

る。大正二年にはハガーヅの著書を譯し丁抹の田園生活と題して内務省から出版されてゐる。尙歐米の教育視察に出掛ける實際教育家諸君に取つて丁抹の國民高等學校の視察は缺く可からざる日程となつてゐる事もグルントウイツヒの精神に深く感激する人が多い事もよく承知してゐた。尙ほ平林氏の外に日本人では元山形縣自治講習所長をしてゐた加藏完治氏が平林氏より一二年前に私が見に行つたロスキルデの國民高等學校内に約一年間滞在して詳細に其の教育を研究された筈である。尙ほホルマンの第二版の序文を見れば其の第一版は丁抹語、英語、和蘭語、フィンランド語の外日本語にも翻譯されたと書いてある。此の書は前記木下一雄氏の抄譯の外に大正四年に那須皓氏が國民高等學校と農民文明と題して譯出したさうである。私はまだ我が同胞の多數には此の學校が最も適切且つ深刻に丁抹の國民生活に與へた精神的感化の意義が十分に徹底してゐない感じがしてならぬ。同校の實地を視察し又は態々研究に行つた人には固より十二分に徹底し且つ此等の人は私と同じやうに自己の感激と印象とを同胞に分つことに努力された事を確信するが其の反響は私の希望の十分の一をも満足するに足らぬ。革命後の獨逸人が昔日の教育自慢の兜を抜いで

昔日輕蔑してゐた弱少國の學校の精神に自國の復興精神を見出さうとしてゐるやうに我が國の國民精神作興の運動も此の學校に必ず何等かのヒントを得る所があることを私は確信して疑はぬ。私は大正十四年十二月廿三日倫敦の街頭に仆れたなりで蘇生しなかつたものとすれば折角書いた報告は紛失された儘暗から暗に葬られ私の微志は永久に此の世から葬られて仕舞つた譯であるが、其の後幸にして健康が次第に恢復して執筆に耐へ得るやうになつて見れば私の娑婆の執念は拂へども拂へどもなかく消え失せぬ。私がロスキルデで得た深い印象を思ひ出す度びに同胞諸先輩の努力の上に更に私の小さい努力を加へねば氣がすまぬ。これは恰も廣い海岸に一握の砂を加へ紀州の本場に蜜柑の贈物をするやうな世人の笑を招くかも知れぬが持病の急變によつて何時此世を去るかも知らぬ境遇にある老人の死土産として敢て江湖諸賢の一讀を煩はすのである。はしがきが少し長過ぎたがこれも研究の一部として御許しを願ふ。これから本文に入り節を分けて所感を述べる。

1 農村生活と國民高等學校

一、旅客に映ずる農村生活

獨逸の國境を越えて丁抹に入れば汽車が進行するにつれて村落生活の狀況が著しく變つて見える。一事は萬事といふ諺の如く舊國境の一線で獨逸と丁抹との國民生活の狀況にまさざと區劃が立つてゐる。歐洲大戰後に共和國に變はつた獨逸の農村は帝政時代に比してまだ著しい變化を呈してゐない。國境に接したシュレスウツヒ、ホルスタイン州は曩に獨逸の領地となつて全然獨逸化してしまひ丁抹に返還された今日もまだ依然として獨逸村落の特色を示してゐる。獨逸の農村を見馴れた眼で丁抹の農村を見れば階級國から無階級國に入つた心地がする。事實上から見ても暗い地主の國から明るい自作農國に入るのである。丁抹は百年來巨額の國費を擲つて自作農を獎勵した爲に小作人を虐げるやうな大地主は今日は最早一人も存在せず全國の農民は楽しみ勇んで自己所有の土地を耕し安樂に暮し

てゐる。農村には少數の地主が宏莊な邸宅を構へて小作人の茅屋を睥睨するやうな差等がなく小ジンマリとした民家は假令外觀の華美はなくとも規模が大體平均して内容は存外に充實し而も設備は整つて居る。詳細な事情に通ぜぬ通り一遍の旅客にも丁抹の農村は富の分配が平均して生活の脅威に惱まされてゐる貧民が見えず忌まはしい階級分裂や階級反目が露程もあらうと思はれず如何にも協同和親の幸福な生活を送てゐる様が見ひやられる。

此等と言ふまでもなく平素の生活が安定を得てゐる事を表徴する。農村の家屋に著しい大小の差が目立たぬのは其の間に著しい貧富の懸隔が無い事を證明する。雲を突く大木がまばらにあつて其の木蔭にある草木の育ちが悪いやうなのと違つてどの木もどの木も平均して一様に育つてゐる杉林を見る心地がする。丁抹は農業國である。而も其の農村生活は概して潤つてゐる。商工業國の大資本家の贅澤生活はないが農民には自ら生活の餘裕があつて相當の幸福を享けてゐる事が思ひやられる。これはとも角都合よく全國に自作農業が普及した結果と見ねばならぬ。以上は唯農村の外觀の事であるが更に親しく土着の農民に接して見れば身體が壯健で血色がよく而かもものんびりとして言葉が寡く壓制や拘束を加

へられた人のやうなひがみ根性やこせくした所が少しも見えない。誠に落着いておつとりとした所に信賴すべき實意が見える。これは蓋し北歐人に共通な美點である。天涯の異域に一人旅をした私も何となく心が落ついて少しも不安の念を感じずたゞなつかしい頼もしい國民だと思つた。外國人が瑞典人などに接しても同様の感じがする事は誰も知る所である。丁抹の農民は之に接する人に如何にも氣持よい感じを與へる。これは取りも直さず其の國民性格の基礎として精神的教養が深い何よりの證據である。

生活状態が人物や人品を作り出す上に重要な影響を與へる事は言ふまでもない。丁抹人に接した人は何人も直覺的に其の生活が物質的にも精神的にも充實してゐることを痛感せざるを得ない。大戦後に疲弊して生活難に悩んでゐる獨逸を見た眼には丁抹の國民生活の狀況は驚くべき程豊かに潤ひ且つ餘所目にも羨ましく見える。丁抹の面積は我が九州位で全國の人口が僅かに三百三十萬で我が大阪市の人口の一倍半にも達しない。首府コペンハーゲンの外には都市といふ都市が無いから大戦中食料品の輸出から得た莫大の利益は普く全國の農村に潤つて一種の黄金の洪水の様を呈した。其の爲に物價も一般に騰貴して私な

どのやうな貧しい外國旅行者には痛くこたへる。私は首府に着いて早朝市内を見物し時しも登校する途中の各種の學校生徒や出勤途中の會社員や店員の服裝殊に婦人の服裝を見て獨逸の見すばらしいそれと對照して雲泥の相違を感じた。獨逸の首都伯林では中流以上の婦人でも當時では最早流行などは構はれぬといふ程で五年か十年前の外套を着てゐる人は珍しからず其上如何にも寒さうに見える人が多かつたのに反してコペンハーゲンでは服裝が一般に立派な上に如何にも豊かに暖かさうに且つ心地よげに見えた。私は嚴寒の季節に行つたから伯林とコペンハーゲンとの市民生活の差異が一層目立つて見えたと思ふ。

二、農村生活充實の主因

隣接國である獨逸と丁抹が斯の如き相違を生じ就中丁抹の農村生活が物質的にも精神生活にも充實してゐて他國人を羨望せしめる程になつてゐる爲には何か相當の理由がなくてはならぬ。農村の物質生活の向上に政府の取扱つた自作農政策が與つて力ある事は容易に想像する事が出来る。併し一步を進めて丁抹國民が一時銷沈してゐた國民精神を振作し自

棄卑屈の状態から奮闘自治の國民となつた事には一に丁抹に特有な所謂國民高等學校の教育が其の根柢をなしてゐる事は今や世界公認の事實と見て差支なからう。革命後の獨逸は勿論の事大戦前から丁抹國民高等學校が呼物となつて世界各國の教育家や爲政家が視察研究に行くやうになつたのは其の爲である。尙ほ丁抹に近い瑞典那威フィンランドでは早くから之を學んで同種の學校が普及したのも尤な譯である。遠く米國にも其の影響がある。凡そ此の種の精神的事業は必ず偉大な人物が其の基を開いてゐる。丁抹國民高等學校の開祖はグルントウイツヒといふ不世出の大人物である。此の學校はグルントウイツヒの敬虔な宗教上の信念と熱烈な愛國心の賜物である。而かも其の成立には多年不撓不屈の努力を要した。惡戰苦闘の結果ヤット學校の形が出来てから十年の歲月を経過しても生徒は僅かに二十人に過ぎなかつた。それが二十年の後には四百七十一人となり三十年の後即ち彼の他界の翌年には三千三十五人となり最早國內に押しも押されぬ大勢力となつた。八十五年後の今日では全國八十校を數へ年々の卒業者は男女總數八千人を超え、其の累計即ち國民高等學校の教育を受けた者が全國人口の約三割に及んでゐる。國民高等學校は多少政府

の補助を受けてゐるが官立でも公立でもなく全く民間に發達した私立學校である。

國民高等學校は愛國の志士の發起により自由自治の精神に基づいて民間に發達した私立學校であつて何等政府の干渉を受けない。随つて全國に通ずる法令も規定もなく中央政府は全然各校の自由經營に一任してゐる。

丁抹の國民高等學校は斯の如く自由を與へられて國民生活の必要に應じて發達したものであるから決して劃一主義に流れ又は形式主義に陥る患がなく各校特色ある歴史を有つてゐる。其の規模も内容も素より一定したものではないが、創立以來八十五年を経た今日では八十の學校に通じて動かす可らざる一種の特色が現はれてゐる。それは言ふまでもなく開祖グルントウツヒの大精神である。若し此の大精神を失へば丁抹高等國民學校は其の存在の意義を失ふのである。グルントウツヒは最も純粹な國民の代表的人物として丁抹魂の權化である。彼の精神は丁抹の國民精神其の物である。而かも其の國民精神が彼の偉大の人格によつて最もよく其の精髓を發揮したのである。大聲叱呼して國民長夜の惰眠を覺醒し同胞の心に潜んでゐる丁抹魂を喚び起し銷沈した元氣を作興して遂に國勢を一變し得たの

である。國民高等學校はグルントウツヒの熱情の凝り塊まつた産物であつて其の學校生活はやがて彼の人格の活動であり其の中には彼の胸をほとぼしり出た熱血が流れてゐる。彼の生時に於けるが如く今日も尙ほ彼の精神は依然として八十の學校に潑刺たる生命を保つてゐる事には少しの變りはない。切言すれば嘗に學校内に止まらず學校以外に於ても丁抹の農村生活には到る所に此の偉人の理想が實現され如實に其の熱血が流れてゐる。

グルントウツヒが丁抹の國民精神を作興して國運發展の基礎を作つた事は獨逸國民教育に對するファイヒテ、蘇格蘭農村教育に於けるジョン・ノックス、世界の普通教育に對するペスタロッチの功績に比することが出来る。就中最も偉大なのは勿論ペスタロッチである。瑞西の山中に於ける一老翁の教育精神が全世界の普通教育を生み出した大功績は何物にも比較の取りやうがない。グルントウツヒに最も似てゐるのは蓋し獨逸のファイヒテであらう。此兩人は祖國を異にして同時代の人であつた事も奇縁と言はねばならぬ。グルントウツヒはファイヒテより二十一歳年少であり彼が三十一歳の時ファイヒテは死亡した。若しペスタロッチなかりせば世界の普通教育は如何になつたであらう。若しファイヒテ

が出なかつたならば獨逸魂の盛衰は如何であつたらう。獨逸人が普佛戦争の勃興をフイヒテの「獨逸國民に告ぐ」に表はれた熱誠に感謝する所が多いやうに今や大戦後の復興にも國民は擧つてフイヒテの精神に還らんと努めてゐる。丁抹國民生活沈滞の時代に同胞を鼓舞激勵したグルントウイヒが出でず國民高等學校が起らなかつたものと假想すれば丁抹の農民生活は恐らく今日の現状とは異なつたであらう。國民の血を湧き返らせる偉人の精神が一國の盛衰に大關係がある事は教育者に取つては極めて興味ある問題である。グルントウイツヒの熱烈な精神が一般に國民の共鳴を喚び起すまでには非常の奮闘努力を要した。

彼の理想の一端がさゝやかな學校の形をなして祖國の一隅に呱呱の聲を上げたのは既に六十一歳の時であつた。彼は明治五年八十九歳の高齡で此世を去るまで同胞に對する理想實現の爲には少しも努力奮闘を惜まなかつた。彼の臨終の時には全國の生徒數は最早三千に達してゐたがまだ現在の半數にも及ばなかつた。是はペスタロッチーが七十五歳の老齡に達するまで教鞭を執つて倦まず兒童の教育に一生を捧げた美談と好一對である。斯くの如く我を忘れて人を教育した人はたとへ身は此の世を去つて後も其の尊い精神は決して死

なぬ。身は滅びても心は永遠不朽に残る。私はかゝる精神は後世必ず之を繼承し更に之を發揚する同感共鳴の士を見出す事を確信する。丁抹の國民高等學校を理解しようとするには先づグルントウイツヒの何人なるかを尋ね其の精神の由來を求めねばならぬ。

2 グルントウイツヒと國民高等學校

一、國民精神の權化としてのグルントウイツヒ

丁抹國民高等學校の教育内容は偉人グルントウイツヒの人格内容の反映と言つてよい。グルントウイツヒは北歐の豫言者と尊稱せられる程の大宗敎家である。彼の宗敎上の功績には永遠に涸滅しないものがある。國民高等學校に宗敎の空氣が充満し其の敬虔堅實な信念が人格修養の基礎を作つて居ることは容易に想像される。彼は又一方に詩人であり歴史家である。彼が詩人たる事は其の純眞な情熱を思はしめ且つ人に熱誠を吹き込む魅力をもへてゐることと國民高等學校の教育が死んだ知識の注入に流れず生きた情意の陶冶を行つ

てゐる事を想像さすに十分である。彼は最もよく祖國民族の長所美點を發揮した代表的人物であり熱烈の愛國者である。彼の血管には純粹な丁抹人の熱血即ち其源を正せば英獨人と共通な太古ゲルマン族の血が流れてゐる。而して彼の血管に流れてゐる國民精神は其の民族の祖先の歌つた詩歌の研究と國史の研究によつて喚び起され且つ切實に涵養振作された。彼は詩歌と國史に活躍してゐる國民精神に感激して我が屬してゐる民族の優秀偉大なることを自覺し而かも同胞の意氣が萎縮沈滞してゐる現状を見て徒らに默視することが出來ず決然奮起して國民高等學校の計畫を立てた。隨つて其の學校の教育に於て國民精神の作興を圖る上に國史と國文とが重要な地位を占めてゐる事を容易に理解する事が出来る。

丁抹の國民高等學校が過去八十年間に如何にして今日の成績を收め得たかといふ事に就いては世界各國人の均しく驚嘆する所である。多年國民性の研究に心を潜めてゐる私の目から見れば其の説明は極めて簡單である。私は國民精神の立場から解釋する。丁抹の國民高等學校が今日の成績を收め得たのはグルントウイツヒの精神がピツタリと國民精神に觸れて之を共鳴感激させ得たからである。國民精神を作興し得るものは最も純粹にして而か

も強烈な國民精神でなければならぬ。グルントウイツヒの功績は彼自ら本來強烈な國民精神の所有者であつた事よりも彼自ら之を國史國文の中に發見し之によつて自ら涵養振作した深刻な體驗を出發點とし此の體驗と同じ道程を辿つて同胞青年を覺醒すべく之を國民高等學校の教育に試みた所にある。換言すれば國史國文に具體化された國民精神の本質を直觀把握して之が涵養振作の途を農村青年の教育上に開いた所にある。私の見る所では國民精神其の物は國民の生命と一體のものであつて其れ自身に於て永遠無窮なるべきものである。グルントウイツヒは此の永遠無窮の國民精神の本質を直觀把握し益々之を涵養振作して其の永遠無窮性を確實ならしめる所に偉大な功績を認めねばならぬ。國史國文の中に多趣多様に活躍發露してゐる國民精神の本體を直觀把握する事は變化の中に本體を認め多の中に一を捉へるので其の行き方は昨今我が國にも喧しいフツセルの現象學的研究法にも彷彿としてゐるので斯様の見方で解釋すれば津々たる興味を生じて來る。切言すれば精神科學者のテオドール・リットが歴史教授の任務と考へたのは正に此の通である。

丁抹では本來國史國文の研究は主として大學の講義に屬し農民は全然無關係で到底之に

近づくことが出来ぬのみならず農民は元來之を理解する能力が無いものと見られてゐた。グルントウイツヒは自ら國史國文から捉へ來つた精神を提げて國民高等學校といふ民衆教育機關によつて國史國文を授け國民精神を作興する大道を開拓した。これが果してグルントウイツヒが期待した通りに丁抹興隆の原動力となつた。

丁抹人の祖先は嘗て北人として北歐に活躍した事は世界史上に明かである。アイルランドやイングランドを占領したのも佛國の一角ノルマンディーに一國をなした後其の王が英國の王位に就いたのも同じ血族である。グルンドウイツヒは其の祖先の慄悍敢爲の活動に剛健な國民精神の閃きを認め直ちに其の本質を自覺した。丁抹人は本來萎縮沈滞に甘んずべき國民でないといふ自覺が彼の熱血を湧き返らせた。彼は此の自覺を以て同胞の共鳴と自覺とを喚び起したのである。彼は民族の精神を國史の中に發見すると同時に同じ精神の本質を北歐神話の中に把握した。古い詩歌や説話に残つてゐた幾多の神々は譯の分らぬ偶像でなく我が祖先を活躍させたと同じ民族精神の持主であることを觀破した。彼の犀利な研究と洞察とによつて古い神話が現代の生きた歴史と同様の意義を得來つて一旦忘れられ葬

られてゐた神々達が當年の面目宛らに躍如として再び此の世に蘇生した。

二、幼時と青年時代

グルントウイツヒは西曆一七八三年即ち我が光格天皇の天明三年丁抹の東南ゼーランドのウドビーといふ片田舎農村牧師の子として生まれ十七歳の青年に達するまで海と森とで静かな自然と質朴な農村の環境に生長した。彼の血統には幾多知名の宗教家や有数の學者を出した。彼の祖先はコペンハーゲンの開祖と言はれてゐるアブサロン僧正にまで遡ることが出来る。幼時に母から屢々聞かされた祖先の物語は彼の胸裡に深い印象を残した。就中家庭の敬虔な空氣が彼の宗教心を養つた事は勿論の事、彼が後年農村教育の爲に滿腔の熱血を注いだことも成程と頷かれる。農村生活に理解のない者が農村生活の改革者となることは無理な注文である。グルントウイツヒが堅實な宗教的信念の基礎と農村に對する理解と同情とを少年時代の家庭生活と農村生活によつて養ひ得た事は何人も疑ふことは出来ぬ。彼が家庭で合唱した讚美歌は彼の心緒に精神生活に及ぼす合唱の價値を痛感させた。

父母は固より牧師となす目的を以て彼を教育した。十七歳から二十二歳までコペンハーゲンの大學に學んだ。併し十七歳の頃の青年時代には當時の宗教思想は彼に内心の満足を得しめるに足らなかつた。誰の青年時代にもあるやうに彼も亦一時少年時代の信仰を失ひ當時の自己の生活は内容空虚であつたと晩年に告白した事もある。大學生時代に彼の思想に大きな影響を與へたのは母の甥に當るステフェンスといふ人が獨逸留學から歸朝して開いた講義である。ステフェンスは丁抹人と獨逸人との混血兒で後に獨逸のハルレ大學及びプレスラウ大學の教授になつた。グルントウイツヒはステフェンスの講義によつて獨逸の文豪ゲーテ、シルレル並に哲學者フイヒテ、セリングの思想に接觸する事が出来た。此の事實は彼が獨逸の浪漫派の影響を受けたことを證明するに十分である。就中グルントウイツヒはフイヒテの「獨逸國民に告ぐ」の名著に偉大の感化を受けたやうである。フイヒテの名著は獨逸の同胞の熱血を湧き返へらせ國運勃興の原動力を作つたが之と同時に本來同じゲルマン族から出た丁抹人のグルントウイツヒにも之と同様の共鳴を喚び起した事は容易く想像が出来る。前にも述べた通り目下復興の爲に奮闘してゐる獨逸人が一方フイヒテ

の精神に懐かれてゐると同時に同じフイヒテの精神に共鳴したグルントウイツヒの起こした國民高等學校の精神が再び獨逸に逆輸入されてゐることは奇縁も亦甚しと言はねばならぬ。そこにはフイヒテの思想が貫通してゐることを思へばフイヒテとグルントウイツヒとは並び稱せられねばならぬ。フイヒテの意見は獨逸の新國民教育を鼓舞獎勵しグルントウイツヒの國民精神は丁抹の國民高等學校を作り出した。

三、失戀と文學研究

グルントウイツヒは二十二歳で大學の業を卒へてランゲランドといふ所のエゲリツチといふ家に家庭教師として聘せられて行つたが圖らずも其の家の主婦と遂げ難い熱烈の戀愛に陥つた。情熱と自尊心に富んだ彼の煩悶は如何にもさこそと思ひ遣られる。彼は抑へんとして抑えることの出来ぬ意馬心猿と惡戦苦闘して大地に投げ着けられた程の卑屈と失望を痛感した。彼が當時ゲーテの名作「若きウエルテルの悩み」に耽讀して失望屈辱の裡に纔かに一縷の慰安を見出した心情が察せられる。

此の不幸な煩悶は遂に彼を化して立派な詩人となして了はつた。彼が晩年青年訓練の秘訣を攫み得た事も此の煩悶と重大な関係があると思ふ。彼に此の體驗がなく傳統の形式に囚はれた律義一方の教育家又は學者であつたならば恐らく彼の如き青年訓練の事業は出来なかつたであらう。

彼はゲーテの翻譯に従事すると共にシェークスピアやシルレルを研究し且つ其の翻譯にも筆を染めた。之と同時に當時人の顧みなかつた自國の古典文學傳説神話等の研究に耽つた。かくして詩人としての資格が立派に養成された。彼が思想の傾向に於て獨逸の浪漫派に屬する事はステフェンスの影響のみならず之によつても亦明かに察せられる。

一八〇八年二十五歳の時コペンハーゲンに來て文筆を以て世に立ち知名の士と交際するやうになつた。

彼は死んだ古い石像のやうに當時世に忘れられてゐた北歐の神々を古典文學から蘇生させて新しい流麗な詩に歌ひ文に作つて宛ら希臘文學に現はれた神々のやうに生々と美化した。彼の詩は俄かに文壇を噪がすに至つた。彼は又北方神話に就いても名著を公にした。

四、信仰の確立

彼は二十二歳の時に生じた戀愛關係から少年時代の豫定とは打つて變つた詩人となり文筆を以て世に立ち廣く文名を喧傳されたが彼の心機は歴史の研究中に俄かに一變して再び少年時代の嚴肅敬虔な宗教心が復活した。それから潔く神話を擲つて専心聖書の研究に没頭した。情熱に驅られて詩人となりすました彼は急轉直下宗教熱に魅せられたのである。

彼は沈思黙想に耽り基督教信者の熱誠を以てせば今日の時代にも文筆の力で一の宗教改革が出来ぬ事はあるまいと考へた。彼の宗教熱が高潮した時に「爾は果して眞の基督教信者であるか」と云ふ疑惑が恰も堅く重い岩石のやうに彼の念頭に墮ち來つて彼は詩人的感興の得意の絶頂から宗教的不安の暗い奈落の底に突き墮され一時宛ら精神病者の状態に陥つた。親友等は其の枕頭に侍つて慰安者となり相談相手となつた。間もなく彼は精神錯亂の状態から醒め、清淨無垢にして而かも謙遜従順な一基督教信者として十安架の下に跪ぎいた。斯く手荒い試練を経て嚴肅な信仰を體得して後二十八歳の時正式に僧籍に入り副牧師

として父の教會で説教をするやうになつた。三十歳の時父を喪ひコペンハーゲンに移住した。彼の信念に基づいた説教や堂々と發表した改革的意見は當時の宗教界全體の反感を買ひ其の地位も不安の状態となつた。併し英邁不屈の彼は説教に論文に教會の自由、牧師の自由の爲に一生を通じて必死の奮闘を續けた。此の健闘には幾多の波瀾曲折があつたが遂には彼の勝利に歸し彼の七十歳の誕辰には全國を通じて彼の爲に祝賀式を擧げ國王フレデリック七世は彼を僧正に任命した。グルントウイツヒが宗教家としての長い健闘は當時沈滞し且萎縮しきつてゐた宗教心を覺醒して人間味に基づく眞正な基督教を確立する爲であつた。これが丁抹の宗教史上に湮滅すべからざる彼の偉績である。

五、英國旅行の印象と國民高等學校の計畫

彼は感ずる所あつて四十五歳の時翻然僧籍を脱し再び詩人並に歴史研究家として世に立つやうになつた。其の翌年即ち一八二九年始めて英國に海外旅行を試みた。其の第一の目的は大英博物館で古語や古書を研究して平素の蘊蓄を深くする爲であつた。尙其の後二回

英國に赴き倫敦の外オックスフォード、ケムブリッジ、エタシーターなどに滞在した。

グルントウイツヒの英國滞在は古語や古書の研究に豫定の收穫が多かつた外に今一つ全然他の方面に於て意外の大收穫があつた。夫は彼が畢生の大事業たる國民高等學校の根本思想を作り得た事である。國民高等學校は決して英國の學校の模倣でもなければ移植でもない。随つて當時グルントウイツヒの胸中にはまだ具體的の成案は出來てゐない。其の計畫は四十九歳頃に明確となり六十一歳の時に至つて始めて具體的の學校の形となつた。彼の英國旅行は國民高等學校を起す刺戟となつたのである。彼の事業は固より英國旅行からのみ生れたのではなく彼の一生の體驗閱歷を積んだ人格の中から湧き出てゐる。

四十五歳まで修養洗練された人格が英國の事情及び英國の教育を見た爲に祖國の民衆教化を興し度いといふ壯心が勃々として起り遂に晩年國民高等學校の事業として現はれたのである。私は重ねて言ひたいのは丁抹の國民高等學校の内容は開祖グルントウイツヒの人格内容の反映であつて決して他國の學校の移植ではない事である。

私は茲にグルントウイツヒが英國で如何なる刺戟を受けたかといふ事を一言せねばなら

ぬ。當時の英國はナポレオンをワテルローに撃破した後十數年で國運隆々として伸展し其工業は世界に冠絶して國民の元氣は充滿してゐた。グルントウイツヒは此の元氣潑刺たる英國民を目撃して翻つて戰敗以來一層無氣力となり財政疲弊して銀行破産の續出してゐる自國の現状を憶はぬ事は出来なかつた。グルントウイツヒを最も敬服せしめたるものは英國民の自由の精神である。彼は之を以て英國の隆運を來した國民生活の基礎であり共同生活に於て法を尊重する根本精神となつてゐることを觀破した。

換言すれば英國の隆運は國民の自由の精神から生れ出でゝゐるといふ所へ氣がついた。我々はグルントウイツヒの鋭い眼光に敬服せざるを得ない。彼の目から見れば祖國の同胞は定めて自由を失つて卑屈無氣力に墮してゐるものと映じたであらう。グルントウイツヒは又書籍に拘泥する死學問を厭ひ實生活に於て活學の活用を尊ぶ精神も英國から學び得たものと思はれる。彼は丁抹の農民の多數が教育の惠澤に浴せず無自覺無氣力で碌々其の日暮をしてゐる現状を顧みて憤慨措く能はず大聲叱呼長夜の惰眠を破つて國民を覺醒して大に國民精神を振作しようと言ふのが英國から歸つた當時彼の胸中に熾んに燃えてゐた熱望

であつた。此の熱望は次第に具體化して國民精神の啓發作興を眼目とする民衆教化の計畫となりそれが遂に國民高等學校といふ形になつて實現したのが彼が六十一歳の時である。彼が英國から歸朝して胸中に齎し來つた大理想を實現する第一歩として同胞に獅子吼したのは丁抹小作人解放五十年記念祭を機として千八百三十八年六月首府コペンハーゲンで民衆の爲に開いた公開の連續講演である。題目は丁抹を中心とする最近五十年間の歐洲史であるが眼目とする所は史實を知らしめる事ではなく生きた史實を借りて同胞の國民精神を覺醒する所にあつた。彼の講演の仕方は青年時代に自ら感激した當時の新歸朝者ステフェンスのそれに倣ひ從來の形式に拘泥せず縦横自在に自己の熱誠を吐露し多數の聽衆を引きつけて非常の感動を惹起した。これは蓋し後に發達した國民高等學校の國史教授の模範と言つても差支なからう。グルントウイツヒは最初から其の計畫で此の講演をなしたのではないが事實上此の講演が國民高等學校の端緒となつたものと見てもよい。これは最初の國民高等學校が成立した六年前の事である。

ナポレオン没落後英國の國運が隆々として發展する様を見て其の原因を研究したので有

名なのは近くは佛國の社會學者ドモランである。其の著「アングロサクソン人の優勝なる所以」といふ書は一八九七年即ち明治三十年に出版せられ世界に有名となり遂に我が國に翻譯書までも出た。獨立自營の精神を養ふには英國風の教育を施すに限るといふので其の後「新教育論」と題する本を著はしたが或る資本家の出資によつて佛蘭西ノルマンディーのヴェルヌイユといふ所でエコール・デ・ロツシュといふ新式の學校を經營する事になつた。これは英國のアボツホームといふ所の學校を模範として作つたもので、生徒の收容人員を少數にし學校生活を出来るだけ家庭生活に近づけ師弟の關係を親密にして教育は書物に拘泥せず精神的陶冶の外に運動競技手工其の他身體の活動勞作を熾んに課する。此の學校は一八九九年に開校になり其後之に倣つてコレージュ・ド・ノルマンディーや巴里の近郊にリゼー・ラカナルなどが出來たが孰れも豫期通の成績を收める事は出來なかつた。私の考では此等是他國の教育法の淺薄な模倣である爲に其の國の國民性とシツクリ合はぬ所から到底本國通りの成績が上からぬのであると思ふ。

佛國のドモランに似た計畫は殆んど同時に獨逸にも行はれた。これは廣く世界の教育界に知られてゐるヘルマン・リーツのランデスエルチーウングスハイム即ち田園家庭學校である。リーツ自身は丁抹に近いリューゲン島の農村出身者である。ドモランが名著を出した一年前にイエナ大學の教育學者として我が國にも有名なライン教授の勸告によつて英國に渡り前記のアボツホームの學校に滞在して詳細に其の教育法を叙述した一書を著はした。一八九八年歸朝即ち前記のエコール・デ・ロツシュに先だつ一年獨逸ハルツ山中のイルゼンブルグといふ所で教師五人生徒六人の小規模な田園家塾を開いた之は從來の獨逸式の學校の型を破つたもので當時の獨逸教育界では誠に破天荒の新しい試みであつたがアボツツホームを學んだ點に於ては佛國のエコール・デ・ロツシュと變りはない。リーツの學校に教師をしてゐる後青年運動で有名になつたウイネツケンも之に倣つてウツカースドルフといふ所で同様の學校を作つた。グルントウイツヒが英國教育の刺戟を受けて國民高等學校を考案したとすればリーツの學校と何等か共通の點ある事は疑はれぬ。果せるかな獨逸革命後國民高等學校の運動が盛んに起るやうになつて右のリーツは前に參考書とし擧げた通り一八九九年に獨逸國民高等家塾といふ書を著してゐる。獨逸の國民高等學校が最初の氣

勢に似ず其の發達が思はしからず今日の所では到底丁抹のそれに匹敵する效績を擧げ得ぬ理由はドモランのエコール・デ・ロツシユヤリーツのランダスエルチーウングスハイムがアボツツホームのそれに同じくならぬ理由と同一である。丁抹の國民高等學校は英國の刺戟が一因をなしてゐるが決して英國の教育を模倣したのではなく全然グルントウイツヒの人格の中に咀嚼され而かも彼が捉へ得た祖先傳來の國民精神によつて我が國情に合はせて之を實現し且つ、彼が民衆の心に喚び起し得た同じ國民精神によつて之を繼續する途を開いた所に其の特色があり本領がある。丁抹の國民高等學校は飽くまで祖先を通じて民族を一貫する國民精神を以て其の生命としてゐる。」

六、グルントウイツヒとマルクス

少し横道にそれる嫌があるが私は茲に國民高等學校の創意者としてのグルントウイツヒと共産黨宣言書の起草者としてのマルクスとの間に不思議な對照の存在する事を指摘したい。是迄度々述べた様に丁抹の國民高等學校はグルントウイツヒの一生の閱歷と體驗との

産物であつて其の教育内容はやがてグルントウイツヒ其の人の人格内容の反映である。併し此種の學校によつて國民の精神を作興して國運の進展を圖らうとする計畫が具體化したのは彼の英國旅行が之を促した事は明白である。彼は行きづまつた自國の慘狀を見馴れた眼で駭々として發展して行く英國工業の勃興と潑刺たる國民の元氣に刺戟されて熱烈な愛國心が焰々と胸中に燃え出した。彼は英國の國運の進展を來す原動力に思ひ到つて之を國民の精神に見出し我が祖國とてもゲルマン民族固有の自由精神に立歸り北人時代の慄悍敢爲の國民性を復活しさへすれば國運の復興は期し難きにあらずと悟つたものと思はれる。グルントウイツヒの國民高等學校の計畫は此の確信から起つたものである事を推察することは國民高等學校の發達と其の内容とが十分に之を證明する。共産黨員からは宗教の開祖の如く仰がれ社會主義者からは科學的社會主義の確立者と尊崇せられてゐるカール、マルクスは獨逸人であるが共産黨の宣言書を書く時も英國に居り其の資本論を構成する材料も主として之を英國の工業界に求めた。グルントウイツヒとマルクスとは殆んど同時代に英國の同じ工業界を觀察し而も之から收め得た收穫は全然異なつてゐる。同じ物も使ひ様で

毒にもなれば薬にもなることが如何にも歴然と證明されてゐる。マルクスはグルントウイツヒより三十五歳ほどの年少者である。彼が共産黨の宣言書を出したのは西曆一八四八年即ち我が嘉永元年であつて丁抹に最初の國民高等學校が成立してから丁度四年の後である。マルクスの資本論第一卷は其の後十八年を経て公にされた。マルクスが死亡したのは一八八三年即ち我が明治十六年であつて丁抹の國民高等學校は當時既に有力な民衆教育の機關となつて全國を通じて生徒數四千人を數へてゐた。茲に特に我等の注意を惹く事は當時英國の工業は盛況の絶頂ともいふべき時であつて丁抹は疲弊した農業國として何等工業の見るべきものがなく之に反して獨逸は英國の向ふを張つて是から工業が起らうとする時であつた。グルントウイツヒは英國の工業を祖國に輸入しようとして試みないで、英國工業の隆運を來たした原動力を促へて自國の農業振興に活用した。マルクスの祖國獨逸では是から工業が起らうとする矢先であるから若しグルントウイツヒと同じ行き方をしたら大に祖國の工業の發達を助長する事が出來たであらうが事此に出でず全然異なつた途を進み歐洲大戰後に祖國の革命を見るに至つたのは直接にマルクス主義のみの力ではないが之に大關

係あることは疑はれぬ。丁抹がグルントウイツヒの精神によつて民衆の幸福を増進してゐる事は今日何人も疑ふ可らざる明白の事實であるがマルクスの共産主義は果して彼自身が信ずる如く人類の幸福を來すや否やが大疑問である。殊にさしあたり其の祖國たる獨逸がマルクス主義によつて何程の幸福を増進したかといふ事も疑問である。此二人が同じ英國の工業界を出發點として全然異なつ方向に進んで行つた事は其人格と境遇の相違が大なる原因をなしてゐるものと思はれる。此の人格境遇の相違が同じ英國の工業界を見て而かも全然異なつた方面を觀察せしめた。グルントウイツヒは素直に明るい方面を觀察しマルクスはひがんで暗黒方面のみを觀察した。グルントウイツヒは本來名門の子であり熱烈な戀愛の煩悶を切り抜け更に宗教上の信仰に關する疑惑、不安と闘つて金剛不壞の道念を養ひ得而も不惑の年を過ぎて一生涯の分別盛りに英國を見た。而も彼の國史國文學の研究は夙に國民精神の自覺を促がし祖國の敗戦を見て既に強烈な愛國的敵愾心を喚び起してゐた。かゝる人が英國の隆運を見て素直に光明の方面を觀察し其に由つて起る精神を觀取した事は極めて自然であり彼の祖國に取つて此上もない幸運であつたとせねばならぬ。彼が衷心

から祖國の民衆の爲に圖つた事が豊かに酬いられた事も自然の道理である。之に反してマルクスは歐洲到る所で迫害を蒙つた猶太人種に屬する。彼は祖國獨逸で其の志を得なかつた不平家である。彼が祖國を逐はれて英國に來た時は悶々たる鬱憤を抱いて居た事は勿論である。彼は肺病に罹つた上に極度の生活難に苦しめられた。彼をして大不平家たらしめ人を咎み世を詛ふ心を生ぜしめた事は彼の境遇に歸すべき事が多い。

斯様の人の觀察が素直に光明の方向に向はず慘澹たる暗黒の方面に偏する事も洵に已むを得ぬ次第である。彼自ら生活苦を嘗め盡し血の出る思ひをなして貧窮者救済の爲に勞働者の味方となつて資本論を書き息の續く限り筆を執り資本論の原稿を書きながら机上に斃れた熱心に到つては實に人を感動するに足るものがある。併し私は遺憾ながら此の眞劍決死の努力が其の目的とする民衆を何程幸福になし得るかと疑うて已まない。私は我が國現今の世相に顧みて以上二人の對照が深刻な教訓を與へるものと思ふ。讀者諸君も定めて何等かの感慨を催うされるものと信ずる。

3 國民高等學校の成立と其の發達

一、國民高等學校の計畫

グルントウイツヒが英國發展の狀況を見て祖國に歸つた時には同胞覺醒の願望が胸中に火のやうに燃えて恰もコロンブスが新世界を發見して舊世界に還つた時のやうな心地であつた。此の願望は其の後寸時も彼の念頭を去らなかつた。此の願望が從來少數の學問に限られた學者風の教育に反對して多數大衆の國民教化といふ明白な具體的意見となつた事は彼が四十九歳の時に著はした大神學の序文に現はれてゐる。從來少數に限られた高等教育を何とかして廣く全國の民衆に均霑させたいといふ計畫が絶えず彼の思想感情を支配してゐた。彼の胸中に第一に浮んだ計畫は首都から遠くないソロエーといふ所にある國立の高等學校を改造してあらゆる階級の子弟を收容する國民大學となす事であつた。ソロエーは彼の祖先が十二世紀の昔にシトー派の僧庵を建て後世に有名な丁抹史を書き残したと傳へ

られる名所である。彼は當時の大學は徒らに獨逸大學の糟粕を嘗める事に汲々として眞に國家有用の材を教育する任務を盡しておらぬ事に憤慨し積年の傳統を捨てて羅旬語を驅除し國史國語を重んじ且つ從來の弊風を根抵より打破し門戸を開放して全国各地各階級の子弟を網羅して年來胸中に描いてゐる民衆教育の理想を實現しようと圖つた。此の計畫の曙光は二十七歳の時に著はしたソロエーの曉夢といふ詩の中にもほの見えてゐる。彼は此計畫を當局者に建白し又國王クリスチアン八世の信任と諒解を得て一八四七年には同校組織變更の勅令が出た。併し不幸にして其後間もなく國王が崩御された爲に折角の勅令は發布のまゝ實施されずグルントウイツヒの喜びと希望は全く水泡に歸した。グルントウイツヒは更に之を議會の問題として計畫の實現を圖つたが時の文相マドウイツヒと衝突した爲めに熱烈の努力は無効となり遂に其の意を達せなかつた。彼の改革案は傳統思想に囚はれてゐた教育當局者と餘りに隔りがあり過ぎたので官僚と妥協の道がつかかなかつたのも蓋し已むを得なかつた。グルントウイツヒの最初の計畫は斯くして遺憾ながら未遂に終つたが、是より四十年後に彼の崇拜者の手に出來上がったアスコフの擴張國民高等學校は略ぼ此の

計畫の實現と見ても差支ないものである。

二、最初の國民高等學校

グルントウイツヒは國民高等學校の精神の創意者であるが、嚴密に言へば具體的の學校の創立者でもなく經營者でもなく又教師として實際教育の任にも當つてゐない。實際の學校として國民高等學校が事實上に生まれ出たのは直接にグルントウイツヒの手を借りたのではなく間接にグルントウイツヒの精神に感激し之に共鳴して賛成者となつた人の手によつたのである。最初の國民高等學校も其の後に出來たのも多くは同様である。グルントウイツヒは國民高等學校の創意者であり鼓吹者であつて直接に其の創立經營の實務に當つた人は其の賛成者と後援者である。殊に丁抹に於ける最初の國民高等學校が呱呱の聲を上げる事になつたのは前記の勅令の發布より三年前に北シュレスウイツヒ州のレッヂングといふ所であつた。(此地方の住民は固より丁抹人であるが久しく獨逸の勢力範圍内に落ち獨逸官吏の支配を受け中流以上の子弟はキール大學で純然たる獨逸式の教育を受けてゐた。)

これはグルントウイツヒが主唱者となつて直接に手を下した事業ではなくて彼の共鳴者であり彼より九歳年少のクリスチアン・フロールといふ人が此地方の新聞に此種の學校を必要とする論説を掲げて同志者を得た結果である。フロールはコペンハーゲンに生れ當時キール大學の丁抹語の講座を擔任してゐた人である。當時キール大學は概して獨逸大學の糟粕を嘗めて居た計りでなく國民も一般に自國の文化に對する自信を失ひ盲目的に獨逸文化を崇拜して甘んじて其の影響を受け自國語たる丁抹語の如きも獨逸語よりは劣等のものであるかの如く卑下してゐた。大學に丁抹語講座を擔任してゐるフロールは痛く平素此の弊風に慊らず思つてゐる所からグルントウイツヒの國民精神鼓吹殊に國史國文の鼓吹に共鳴し獨逸の國境に近き此地方では世の風潮に押されて國語たる丁抹語が獨逸語に壓倒されて一種の危機に頻してゐる状態を觀破し國民高等學校の設立を刻下の急務と絶叫した。二十年後には果して此學校所在地から少し北まで丁抹の領地がビスマルクの力によつて獨逸に奪取された。これが今のシュレスウイツヒ、ホルスタイン州である。其の面積は丁抹全國の約四分の一に當る。此の學校は一八四四年七月十七日株式組織による私立學校として文

部省の認可を得た。此學校の成立を見るまでにフロールは四年間の奮闘を要した。開校の時グルントウイツヒは最早六十一歳に達してゐた。多年熱血を濺いで唱道してゐた學校が自己の手に成らず却つて他人によつて而かも地方の必要によつて起つた事は餘程注意すべき事である。此學校は國民高等學校の歴史を開いた最初の學校であり最初の試みであるから其の根本精神は固よりグルントウイツヒのそれであり、又今日のものと同じであるが其の枝葉の點に於ては必ずしも一致せぬ。併し國民高等學校の發達の經過を理解するには決して見逃がす可らざる貴重な資料である。同校は極めて小規模で生徒二十名、校長一名、教師二名の小人数で開校した。此小規模である事は今日まで依然として其の傳統を残してゐる。校長は牧師候補者ウエーゲネル、教師一名は農學を専攻したパウルゼン博士で物理學、化學、地質學、地理學を授け、試験農園、蔬菜園を設け博物標本室も管理した。一名はカルツプといふ人で普通科を擔當した。本校は本とフロールの熱烈な愛國心から起つたもので之に共鳴した有志の出資によつて成立したものであるから開校當初は全然無料で教育してゐたが次第に財政の困難を感じて八年後から低額の學費を徴收する事にした。有志

の出資による私立學校であるから經營の困難を來す原因は第一には財政第二には教師の更迭が頻繁な爲に人選の容易でない事であつた。これは蓋し丁抹に限らず如何なる國でも特種の學校に共通の事情である。最初の校長が約一年後に辭職したので主唱者のフロールは已を得ずキール大學を辭して二年間自ら其の任に當つた。其後戰役の打撃を受けて一時閉鎖したが一八五〇年即ち創立後六年牧師候補者ヘーグスブローといふ良校長を得て再び開校した。此の校長は其の後十二年間勤續して忠實熱心に其の任を盡したので十分に國民高等學校の基礎を固めて稍グルントウイツヒの理想に接近する事が出来た。併し何分創業時代の新しい試みであるから勿論今日現存するものとは餘程變つてゐた。レツチングの國民高等學校創立當時の事情が雄辯に物語るやうに其の目的は地方住民に國民的自覺を喚び起して國語の危機を救ふといふ高遠の愛國的理想であつた。最初の國民高等學校は此の理想を生命とした。併し何處にもあるやうにかゝる理想は實用、實利を重んずる俗人の耳に入り難い。随つて一方には斯る不生産的の學校よりは寧ろ實利的の農學校を作つた方が社會に一層有用であるといふ反對議論が起つた。即ち國民高等學校無用論である。此の議論は

學校外で喧しかつたのみならず校内の職員の中にも成程と賛成する者が出来た。フロールは腹背に反對者の敵を受けるといふ苦しい立場になつたがソナ事にはビクトもせず斷乎として自説を固持して奮闘した。彼は強ち農學や自然科学を輕視するのではないが、刻下の世相は同胞の愛國心を喚起する爲に國史國語の理解を徹底せしめる事が焦眉の急務であるといふ確信を敢然として吐露した。尙彼はグルントウイツヒの精神に基づいて當時の教育が書籍に囚はれ無用の記憶に偏する事をも攻撃した。彼は取りも直さず有力なるグルントウイツヒの代辯人であつた。私は國民高等學校創設の當時に起つた反對論に就いて茲に一言注意して置きたい。此の學校が農村に出來て農業を授けぬといふ事は誰しも異様に感ずる所である。農民が農業を授ける事を望むのは自然の要求である。グルントウイツヒの國民高等學校は實業を授けぬ國民教育の學校として發達したのであるが、後になつて農民の實際の要求を充たすために國民高等學校に刺戟され之と併行して別に農學校が起つた。農學校と國民高等學校とは全く別途の學校であるが、丁抹の農民が國民高等學校の教育以上に直接農業に有益な實業教育を要求してゐる事は明瞭である。後年になつて國民高等學

校でも此の要求に鑑みて多少直接農業に關する實利的知識を加味するやうになつた。併し國民高等學校は飽くまで農學校でないといふ特色を有してゐる事は勿論である。故に農學を修める希望あるものは國民高等學校を卒業した後に改めて農學校に入學する事になつてゐる。此等の事情を考へれば國民高等學校創設の際民間に起つた反對論には大に傾聽する價值があつたと言はねばならぬ。フロールが斷然之に反對したのは當時其の地方で愛國心を鼓舞し國語を鼓吹する必要が強かつた爲めに實業的色彩の爲に之を犠牲に供するに忍びなかつた爲であらう。

グルントウイツヒの理想は着々として新校長によつて實現された。私は前に國民高等學校が此の世に現はれて十年を経て生徒數僅かに二十人であつたと言つたのは即ち此學校の事である。當時正式に國民高等學校と名づけられるものは此の學校のみであつた。此學校は創立後二十年即ちシュレツウイツヒホルスタイン州が獨逸に奪取された年に少し北方のアスコフといふ所に移轉し更に十四年の後に程度を高めて昇格し擴張國民高等學校となりソコエー校改造のグルントウイツヒの最初の計畫が實現された譯になる。

三、國民高等學校の殊勲者コールド

上述の如く最初の國民高等學校は獨逸國境に近く痛切に愛國心の鼓吹を必要とした北シユレスウイヒ州に於て愛國の士フロールの奮闘によつて此の世に生れ獨逸文化の侵入に對して丁抹文化を擁護する精神的要塞として其の効績は偉大であつたが、當時は課程も二年であり多少の學資を要するので相當の資産ある良家の子弟でなければ入學せぬ狀況であつたから、グルントウイツヒが狙つてゐたやうに地位財産に抱らず一般に大衆を教育する機關であるといふ事が出来なかつた。グルントウイツヒは本來詩人肌の人であるから其の理想は動もすれば實際を離れて高遠に馳せ其の計畫もとかく抽象的に流れてピツタリト地方の實情に適合しないといふ點に遺憾があつた。グルントウイツヒの理想を其の儘に活かして而かも地方の事情に即するやうな具體案を作つて完全に其の精神を實現するには自國の農民の生活と地方の事情に精通し隅から隅まで民衆の心理を心得た實際家が必要である。此の必要に應じた詭へ向きの適任者が幸ひにも民衆の中から出現して來て獻身的の努力を

捧げてグルントウイツヒと一體分身と言つてよい位に其の精神を理解し其の理想を完全に實現し實際化し而かも遺憾なく其の眞價を發揮し之を全國に普及さす事が出來た。此の殊勳者はクリステン・コールドといふ人である。國民高等學校の歴史の上ではコールドは其の効績に於て創意者グルントウイツヒと並べ稱せねばならぬ。若しコールドが出なかつたとすれば國民高等學校がかくまで農村の事情に適し且つ質朴單純な農民の腹にグルントウイツヒの大精神がかくまで深く理會され徹底したらうとは思はれぬ。創意と鼓吹の功はグルントウイツヒにあり、實際化と普及徹底の功はコールドにありと言つても過言でない。國民高等學校の精神はグルントウイツヒによりて成り立ち其の内容の實際はコールドによつて充實されたのである。コールドは國民高等學校の化身と言つてもよい。丁抹の農民は今日に至るまで誰としてコールドの名を知らぬ者はなく、其の名を聞けば喜びの眼を輝かさぬ者は無いと言はれる程一般國民に慕はれてる。コールド死して既に五十九年になるが其の精神はさながらに農民の間に生きてゐる。

コールドはグルントウイツヒより三十三年後れて西ユツトランドの田舎町の靴屋に生れ

た。彼は質朴簡易の生活を送る一平民の子であつた。父は彼に家業を襲がす積りであつたが本人の熱望によつて二十歳で二箇年程度の師範學校を卒業して小學校の教師となつた。彼は當時小學校に廣く行はれてゐた誦讀主義に反對して自分で工夫して生徒の口述を主とする自家固有の新教授法を執つた爲に校長と意見合はず屢々問題を惹起して轉任を餘儀なくされた。彼は之に氣を悪くして何等法令の束縛を受けぬやうな自由な私立學校を設立したいと思つたが當時の事情が之を許さなかつた。彼は自由の國と言はれる米國に移住して思ふ通りの教育をしたいとも考へた。彼が國民高等學校の經營者として適任者たる素質は既に此の時からほの見えてゐる。彼は教育界に望を斷ち生活方針を一轉してトルコのスマイルナに牧師として赴任するハースの助手兼従僕として同行する事に決した。二年の後牧師の許を去り更に三年間トルコに滞在して製本業を営みながら旅費を貯蓄して歸國した。スマイルナからトリエストまで船で渡りトリエストから祖國デンマークまで歐洲を横斷する遠路を馬車にも乗らず一人徒歩で歸つた。此長い徒歩旅行には約二ヶ月を費やしたが當時普通の人のやうに馬車で旅行するのに比べて途中に見學する所は極めて多かつた。師範學校

を卒業して一時教員生活を送り其後五年のトルコ生活から長途の徒歩旅行を経て祖國に歸還するまでのコールドの境遇は容易に得難い試練と體驗とを彼に與へた。彼が此の間に祖國の外廣く諸外國の人情風俗に通じ且つ審さに艱難辛苦を嘗め盡して其の心膽を練磨し且つ深刻に人間味の何たるかを感じた事を想像するに足る。此等は蓋し彼が國民高等學校の教育に成功する素地を作つたのであらう。彼の傳記を讀み其の心情に想ひ到れば此人にして始めて此偉業ありといふ嘆聲を發せざるを得ぬ。彼が歸國したのは前記のレッヂングの國民高等學校が創立されて後二年であつた。間もなく千八百四十八年から祖國と獨逸との間に戦争が起つて志願兵として従軍したが、従軍其物は彼にさしたる印象を残さなかつたが、當時國民を熱狂せしめた愛國の精神は痛く彼の心を動かした。殊に指揮官の熱情を籠めた激勵の語が如何に部下を鼓舞したかをしみじみと體驗した。換言すれば彼はかくて感激共鳴の根本義を感じ得た。彼は如何にせば斯の如き國民精神を廣く民衆に喚起して民衆舉つて國家の問題に参加し國家と運命を共にする事を自己の無上の満足とし幸福とするやうに導く事が出来るかといふことを自己の畢生の問題と考へるやうになつた。此は圖ら

ずもグルントウイツヒの根本思想と一致した。これが正しくグルントウイツヒの國民高等學校の精神に共鳴して其の經營の爲に一身を捧げるに至つた動機である。戦後丁抹の中央にあるフーネン島リスリングの牧師ビルケダールの家庭教師となつた。ビルケダールはグルントウイツヒの高弟の一人であつて此の地に赴任して其の熱心な説教中に國史國文の意義や愛國心を鼓吹したので地方民に大きな感動を惹起した。これは圖らずも彼の將來の事業の素地を作つてゐた。彼は牧師の許可を得て其の子の外に農夫の子數名に自己の立案による教育を試みた。やがて他の牧師の子弟も之に加はる事になつた。是は取りも直さず師範學校卒業後に抱いてゐた希望が圖らず實現されたのである。コールドは此新しい試みに興味を見出し家庭教師を辭して私立學校を起して多年の意志を達しようとした。コールドは一方に於て最近の戦役によつて一般に國民精神が喚起された事實を觀取し又一方にはグルントウイツヒの精神に基いた牧師ビルケダールの説教が地方の民心を動かした、ある形勢を認め一層此の決心を強くした。彼は天成の教育家であり農民教育の天職を帯びてゐた者である。彼はささやかな貯蓄で土地を求めたが校舎を建築する資力がなかつたので遂

にグルントウイツヒに相談に出かけた。天は偶然に同志を會合せしめた。グルントウイツヒは彼の創意にかゝる國民高等學校趣旨の賛成者に寄附金を募集する事を勤め自ら率先して奉加帳の劈頭に一百クローネと書いたので有志の寄附金は僅かの間に一千二百クローネに達した。彼は直ちに建築に従事したが普通の人のやうに一々大工の手を借りて新築するのではなかつた。彼は倒れかゝつた古屋を安く買つて建て直した。幼年から勞役に馴れた彼は建築仕事の大部分を自分で引受け煉瓦も自分で積んだ。其上に近所の農民が無料で加勢して呉れた爲に寄附金の上に自分の懐中から、一千クローネを足して合計僅か二千二百クローネで生徒二十人を收容するに足る丈の校舎と寄宿舎が出来上がった。レッヂング校の建築費は其十倍以上もかゝつたのでグルントウイツヒも始はコンナに安價で學校が出来るとは信じなかつた。此の學校は事實上第二の國民高等學校であつてレッヂングの學校創立に後れること七年、シュレスウイツヒホルスタイン州割讓に先づ十三年、一八五一年十一月生徒十五人で開校した。此の時コールドは三十五歳の働き盛りであつた。コールドは自ら歴史、神話、國語、國文を授け外に助教一人を置いて算術書き方理科を教へさせ

た。當時の生徒の年齢は最低十四歳最高三十三歳であつた。レッヂングの學校の修業年限二年は農民に取つて長過ぎるのみならず學資の爲に入學出來ぬ者が多いことに鑑みて學期は十一月から滿五ヶ月で少額の食費と授業料を徴收したが、地方の事情に顧みて五年乃至二十年賦の途も開いた。修學の時期を冬期の農閑時のみに限り、而かも其修學期を短くし學資を少くした所がレッヂングの學校に比して遙に農村生活の實情に即したコールドの名案ある。農民に容易く就學の出來るやうに考へた事が此種の學校を農村に普及せしめた重要な原因である。文部省は彼の教育方針について全然賛成ではなかつたが、此の新しい試みに對して一年三百クローネの補助金を與へる事になつた。此の學校は五年の後同島の西北ダルビーに移轉した。國民教育の改善に熱心なコールドはやがて冬期の成人の課程の外夏期に小兒の爲に學校を開き當時流行してゐた記憶を偏重する小學教育の弊を救はんとした。コールドの熱心な努力によつて其の勢力が日に増し盛大となるにつれて一方には其の反對者も生じて來た。コールド及び其の賛成者が私立小學校設立の協會を作つたのに對して其の反對者は地方の精神的利益促進會といふ團體を作つて之に對抗した。一八五七年

即ちコールドの學校設立後六年、コールド四十一歳の時には反對派の會員は三百四十四名の賛成署名を得て陳情書を作りコールドの國民高等學會は偏頗な黨派的の學校であるのみならず生徒は徒らに時を空費し何物も學び得る所がないから政府は補助金を與ふべきものでないといふ趣旨を述べて之を文部省に提出した。これに對抗してコールドの教育を受けた卒業生等は學校の實情を詳述した反駁の陳情書を文部省に出した。とも角同年の夏には政府の補助金が下がらなくて翌年三月副監督牧師其他二三の官吏を以て組織する學事監督委員即ち檢閲官がコールドの學校の實情を檢閲する事になつた。此等の委員は多く學校に對して反感を抱き、コールドの毅然として屈せぬ人格に信用を置かなかつた。委員は生徒に列を作らせ一人づゝ試問すると言ひ出し、中々聞かぬ氣のコールドは學校には之を受ける責任が無いと頑張つたが、他の人がなだめて委員の言ふ通りに素直に試問を受けた。副監督は自ら生徒を試問した。所が反對黨の陳情を裏切つて生徒は一々よく問に答へたので、コールドの學校教育が時間の徒費ではなく正確な知識を授けてゐるといふ積極的の證明を與へた。副監督が試に歴史の一難問を出した所が、ユツトランドから來た一農夫の子

が明白に之に答へたので委員は一同驚嘆して、コールドの効績を賞めた。此の事件は圖らずも第二の國民高等學校の發達の上に重要な結果を齎らした。政府の補助金は増額せられ世上の評判は段々よくなつて入學志望者も著しく増加した。コールドは政府の補助金はあつても學校の内部に干渉を受けぬといふ條件を確めた。それ以來全國の國民高等學校は少しも政府の干渉を受けて居らぬ。コールドの敵はコールドを陥れんとして却つて之を救済し國民高等學校の發達を妨害せんとして大に之を助長した。コールドは忽ち校舎の狹隘を感じ學校擴張の必要を認めオデゼ附近のダールムといふ所に敷地を買つて移轉した。一八六二年即ち最初リスリングに創立後十一年の後には女子に對して夏期三ヶ月間の課程を新設した。これから後に來出た國民高等學校は皆コールドに倣つて冬期は男子夏期は女子を收容する事が通例となつた。一八七〇(明治三年)即ちコールドが十九年間國民高等學校の爲に奮闘して五十四歳で此の世を去つた時迄に、親しく彼の教育を受けたものは千三百人の多きに達し僅か五千人の生徒で開校した彼の學校は此時生徒百人を數へた。此等の門人は勿論多數外來の參觀人や視察者は等しく彼の不撓不屈の奮闘努力と其強い人格の印象を

花神
グルントウイ
コールド

得てゐない者はない。彼の一生は農民教育そのものである。彼の名聲は普く丁抹全國に鳴り響き誰として彼を知らぬものなく又知つて敬服しないものはない。彼は勿論學者でもなく専門家でもなく一冊の著述をも残してゐない。而かも彼の教育事業の効績は幾多平凡の著述に優ること千萬である。彼の身は死しても彼の精神は今日尙依然として丁抹の農民生活に生きてゐる。教育精神の尊さを物語る實例はペスタロッチを除いては之に匹敵する者が少い。眠れる精神を目ざすものは決して死んだ書物を記憶さすことでなく、情熱の籠つた生きた言葉であるといふ國民高等學校教育の原則はコールドの生きた實例によつて最もよく證明された。彼は自己の體驗と確信とに基づいた熱烈の言葉を以て青年の心眼を開き其の精神を覺醒した。國民高等學校がグルントウイツヒの精神の反映であるやうに、コールドの畢生の事業も彼の人格其儘の發露であり、彼の人格は天性國民高等學校の教育者たるに誂へ向であつた。學校教育の内容は其の學則や標榜してゐる主義方針の通りである事は極めて稀で、其の經營の任に當つてゐる校長の人格力量丈のものになるといふ事は古今の通例と言つてもよいが、此の事は丁抹の國民學校がグルントウイツヒの精神によつて

起りコールドの人格力量によつて具體化されたことによつて一層適切な實例を見る事が出来る。換言すれば、丁抹の國民高等學校は其の精神に於てグルントウイツヒの人格の反映であると共に其の實際的方面に於てはコールドの人格の反映であるといふ事が出来る。換言すれば、コールドの人格は多數の國民高等學校の生徒のみならず其の教師にも好個の模範を示した。コールドは其の人格に於ても事業に於ても經營の實際に於ても幾多の國民高等學校に生きた手本を示したのである。否國民高等學校が全國に普及した事は主としてコールドの人格と努力との力であると斷言して差支ない。グルントウイツヒは國民高等學校の創意者であり、コールドは其の理想の實現者として實地經營の任に當つたのであるが、上に述べたやうに、コールド自身が民衆の出身であり農村生活の實情に精通してゐる所から成るべく費用のかゝらぬやうに實地經營したから其の施設は極めて小規模で且つ貧弱であり、程度も低く外觀も極めて見すばらしい一の農村學校に過ぎなかつた。世人も普通に之を農民學校と呼んでゐた。殊に其の創立の際はグルントウイツヒの創意に基づいた國民高等學校と標榜するには餘りに貧相であつた。併し其内容實質は全くグルントウイツヒの

理想に描いてゐる國民高等學校である事に何等恥づべき所はなかつた。併し當時の事情で丁抹の農村生活に適切な國民高等學校としては、コールドの學校は蓋し施設經營の最善を盡したものであつて、當時の農村生活を背景としては何人も之より以上の成績を収める事は出来なかつたであらう。縦てグルントウイツヒ自ら經營の任に當つてもコールド以上には行かなかつたかも知れぬ。其の規模や程度に至つては後年アスコフで出来た擴張國民高等學校の方が寧ろグルントウイツヒの最初の國民大學の理想に近かつたのである。コールドの農民學校は如何に外觀は貧弱であつても校内に燃えてゐた精神は熱烈旺盛を極めてゐたから、此の點に於て決してグルントウイツヒの國民高等學校たる名を辱しめる事は無かつた。グルントウイツヒの國民高等學校の趣旨が廣く丁抹農民の間に普及して牢平として抜く可らざる根を張つたのはコールドの感化が重要な力となつてゐるのは其の爲である。生きたる言葉によつて心に眠れる精神を覺醒し且つ之を練磨し啓發して人格を向上するを第一とし、知識の教授を第二に置く事はグルントウイツヒの創意であつて、コールドによつて遺憾なく實際化された。尙コールドの學校の宗教的色彩も極めて濃厚であつて全校を

通じて堅固な信念が漲つてゐる。グルントウイツヒが牧師の子でありコールドも牧師の助手であつた事もあり、人格が極めて眞率堅固で敬虔な信仰者であり、自ら信する事が強く躬行實踐萬事身を以て人を率ゐた所を見てもそれと頷かれる。彼の農民教育はペスタロッチのその如く全く己を忘れ己を捨てあらゆる犠牲を拂つて渾身の熱血を人間教育の爲に濺いだのである。さればこそ農民も其の熱誠に動かされ其の精神に感激してグルントウイツヒの理想が全國に普及するに至つたのである。コールドは其の學校で農民の子弟と起居飲食を共にし一家團欒の如き學校生活を營んだ。コールドの學校は即ちコールドの家族を擴大したのである。これは生活程度こそ低く設備は貧弱であるが其の精神に於ては英國中等學校の家族的寄宿舎のそれと餘程似通つたものである。コールドは此の點に於てグルントウイツヒの指導を受けたかどうか今日から考證の途はないが、コールドの人物から考へれば、私は彼が生徒と艱難辛苦を共にし喜憂を同じうするといふ眞率な情誼から自然に出来上つたものと解釋し度い。農村は人家が散在してゐる爲に遠路の通學が困難であるから寄宿は絶対に必要である。併し寄宿料が高くては農民に入舎が出来ぬ。コールド自身

は農民も及ばぬ程の質素儉約な生活をした。彼の寄宿料は自宅の生活費と殆んど變らぬ程であつた。此の麗はしい師弟の情誼と家庭的の寄宿制度はコールドの學校を生きた手本として今日も尙ほ全國の國民高等學校に嚴存してゐる。此制度は一見すれば英國の模倣とも見えるが、私は之をコールドの効績に歸したい。以上述べただけでもコールドが如何に國民高等學校に生まれつき詭向きの理想的教育者であるかゞ分る。彼は國民高等學校の教育に一生を捧げる爲に天から特に遣はされた使徒のやうである。彼は眞に遺憾なく其の天職を盡し自己の天分を完うしたものと云はねばならぬ。彼の傳記や逸事を詳細に知れば知る程如何に彼が教育を以て自己の生命としてゐたかゞまささと想像され我等教育者を啓發する所が少くない。私は茲に最も有益と思ふ二三の事實を附記して置きたい。

コールドの父は田舎町の靴屋であつたが、其の母は近村の農家の娘である。彼が農村の實情に精通してゐたのは偶然でない。彼は如何に些細な物も大切にすべきことを質素勤儉な家庭でしみじみと教へられた。彼の父はかね／＼「皆無からは何物も生ぜぬ。何か少しでも物があればそれには神の祝福が生ずる餘地がある」と言ひ聞かせた。コールドは終生

此の教訓を守つて如何にさゝやかな物でも決して粗末には取扱はなかつた。彼は青年を教育する際にも父の此の教訓を引用したそうである。コールドは寧ろ寡言であつたが其の要領を得た簡短明瞭な言葉には強い力が籠つてゐた。

コールドの母は彼の幼時に懇ろに物語をして聞かせた彼は何時も楽しんで之を聞き終生忘れ難い印象を残した。彼は物語の眞價を母の實例に體驗した。彼が後年自己の體驗に基づいて國民高等學校でなした物語は彼自ら幼時に慈母から得たやうな深い印象を青年に残した。彼が基督教の信者として其教育事業に専心努力した敬虔な態度は既に師範學校時代其の端緒を發した。彼を感化して眞に基督教の信仰に目ざめさせたのは専門の宗教家ではなくて當時の宗教革新運動に目ざめて説教をしてゐたラールセンといふ普通の農民であつた。彼は晩年に人から國民高等學校の主義方針を質問された時に何時も次のやうに答へた。「自分は十八歳の時に深く神と隣人を愛すべとを覺り其の爲に一生時と全力を捧げようとして堅く決心した。國民高等學校の目的も青年に神と隣人と祖國とを愛するやうに教へる外には何物もない」。是は蓋し彼の眞摯率直な告白である。彼はラールセンに覺醒されて其

の地方に起つ居た宗教革新運動に参加した。此の革新運動はグルントウイツヒの精神と脈が通うたものでコールドは此時から精神的に國民高等學校の系統に屬してゐたのである。

コールド手製の學校は教室居間臺所の三室よりなかつた。コールドも助教もまだ獨身者で生徒と一所に屋根裏の部屋に起居を共にした。學資は授業料食費寄宿料をこめて一ヶ月僅か六圓を超えなかつた。炊事にはコールドの妹が其の任に當つたが、半年間に消費した砂糖の量が全體で僅か二斤半であつたといふ事許りで粗食の程度が想像される。乾葡萄を入れたスープには一人に一粒位より入つてゐなかつた。コーヒーや茶などは一度も飲んだ事がない。此のスパルタ式の訓練に食物の不足や小言をいふ青年は一人もなかつた。口の御馳走は斯様に貧弱であつたが飢えた精神に糧を與へる熱誠を籠めた言葉の御馳走が豊富であつたから青年は其の方に氣も心も奪はれて仕舞ひ、生徒同志の間に其の日に學んだ事に就ての話がはずんで床に就いてからもコールドを中心として精神問題の討論研究がはてぬ位であつた。彼は好んで聖書中の物語をしたが殊に神來の靈感に動かされて熱辯を振ふ時には如何なる青年も之に動かされぬ者はなかつた。其の題材は何であつても何の熱烈の

信念を傳へることに變りはなかつた。彼は其の話が青年の心の奥底まで徹底することを期した。彼が碧く輝いた眼で見つめる時に對座する青年は其の光りで心の中を射通される心持がしたさうである。彼は教育の目的は單に知識を附與する事ではなく青年の心眼を開き精神に發達窮りなき新生命を喚起するにありと確信してゐた。コールドは衣食住の様な物質的外見を眼中に置かず専ら精神の内部から自然に發露する無形の光輝を誇とすべき事を教へた。彼が率先して實踐躬行した質素勤儉の美風は遺憾なく青年に體得され此の美風が校の内外に普及し遂に全國の國民高等學校の特色となり之を大きく見れば丁抹の國民性格の上に一變化を來したのである。コールドが多年の間率先躬行實踐して青年に行つた勤儉力行の訓練は丁抹の國勢の上から見れば公私の經濟の上に於て何程の無駄を省き何程の富を生産し得たか殆んど測り知る可らざるものがある。此の點からのみ考察してもコールドは丁抹國民に取りて深く感謝すべき恩人と言はねばならぬ。コールドは飽くまで實行の人であつた。而かも其の實行の強みがやがて青年の實行力を鍛鍊する最も有效な力であつた。彼は日日規定の課業よりも課業以外に生徒に接觸して不用意の間に感化を及ぼす事を一

層重要と考へた。師弟の情誼は袴を脱いた時に自然に發露する。コールドはかゝる機會を利用して短い力ある標語や金言を用ひて青年に取つて極めて有益な教訓を授ける事に長じてゐた。而かも普通の人が氣のつかぬ日常些細の出來事中に深い人生の意義や價值が包含されてゐることを指摘した。コールドの教を受けたものは終生彼の教訓を記憶し數十年の後までも其の強い印象を思ひ浮べる事が出來たといふ。彼の生涯は變化に當んでゐるから自己の經歷や身の上に就いて確信を以て青年に話し得ることが多く實地に就いて臨機應變に與へる處世上の教訓は適切有效を極めた。彼の言葉多く自己の體驗から得た確信其の物であり且彼の言葉は彼の實行に表はれるので青年に與へる印象は一通りではなかつた。

コールドは常に粗服を纏うてゐたから知らぬ人には小使と間違へられる程であつた。併し何事にも几帳面であつて殊に清潔整頓に注意した。或る日知人が泥靴で入つて來た時に彼は靴を脱いで呉れと求めた。友人は「君の板の間はそれ程大切か」と反問したので彼はすかさず「板の間よりも妹の仕事が大切だ」と答へた。板の間を奇麗に拭くのが妹の仕事であつた。彼が短かい力強い言葉で人を動かしたのは此の類である。又或る時生徒が「私は

先生の御話には何時も感心しますが一々覚えて居られぬので困ります」と言つた。彼は「心に種子を蒔いて置けば札を立てゝ置かずとも時節が來れば自然に發芽する。感心する程身を入れて話を聞くのは心に種子を蒔いてゐるのだ。何時か屹度役に立つ時が來る。話を一々覚える覚えぬは心配するに及ばぬ」と答へた。彼の教訓は彼自身の體驗と確信とに基づいたものであつて青年をして彼の言ふ事を自分の事と思ひ深い確信を得しめねば己まぬといふ意氣込であつた。彼は渾身の熱誠を込めた言葉を以て聽衆の心を惹きつけて、講話の際には自分の心と聽衆の心とがピッタリと一つに合つて少しでも聽衆の注意が脇にそれることを好まなかつた。彼は聽衆の注意の集注を亂すことを恐れて講話の筆記を許さなかつた。彼は文字の媒介を借らず直接に心から心に話した。彼の講話の印象が長く青年の心に残つた事はこれからも推して知られる。國民高等學校では一切教科書を用ひないのも畢竟此の精神に外ならぬ。彼は徹頭徹尾言行一致の人であつて其の言ふ所は自ら萬難を排して實行せんとする確信に外ならぬ。隨つて之を聽いて居る人に少しの疑惑を與へぬ。彼の言葉は宛がら神の託宣のやうで寸毫も疑うてならぬ程の權威を備へてゐた。コールドは

屢自宅で國民高等學校に教鞭を執つてゐる人の會合を開いて打合や意見の交換を行つた。これは各國に存在する教員協會又は教育會に相當するもので國民高等學校が步調を合せて發達進歩して行く上に大きな助けとなつた。此の種の會合は國民高等學校として最も古い歴史を有つてゐるアスコフ校でも之を行ひ他の學校でも之に倣ふものがあり後には全國聯合の協議會が開催せられるやうになる基を開いた。

コールドの師範學校生徒時代に大きな宗教的感化を與へたペーテル、ラールセンはアスコフ附近に大農園を有し其後も依然として宗教革新運動に盡力し農村青年の感化に偉大な貢獻を爲してゐた。レッヂングの學校がアスコフに移され同校が名校長シュレーデルによつて經營されてゐる際にラールセンは屢々同校の生徒を自宅に招き打とけた愉快的會合を催した。秋の收穫時には新式の收穫感謝祭の形となり千八百七十年以後は其の儘之をアスコフ校内で舉行することになつた。僧籍に入つてゐない普通人の宗教熱心家が國民高等學校の殊勳者コールドの信仰心を喚起し後又由緒あるアスコフ校と密接な關係を生じた事は一面には國民高等學校が教會のやうな宗教團體でなくて而かもよく之に匹敵する宗教的精

神を發揮してゐる特色を説明する助となると思ふ。

コールドが最初國民高等學校設立の計畫をグルントウイツヒの許に相談に行つた時に兩人の意見が相反してどうしても一致しない點があつた。それはグルントウイツヒは入學の最低年齢を滿十八歳と主張しコールドは滿十四五歳が最も適當であると頑張つた。自説を主張するに強硬なコールドは此の點だけはグルントウイツヒに讓步せず十五歳の少年から收容して實際教育の經驗に訴へて見た所が豫想外にグルントウイツヒの見解が正しい事を發見した。眞に心眼を開いて人生の意義を理解さすには十五歳の少年では尙早で彼の熱心な講話も十分に徹底しなかつた。彼は男らしく兜を脱いで其の非を悔い直ちにグルントウイツヒの意見通りに滿十八歳以上の青年でなければ收容せぬ事に改めた。

四、アスコフ校のシュレーデル

グルントウイツヒの精神を國民高等學校の實際教育に遺憾なく具體化した殊勳者として第一にクリステン、コールドを挙げねばならぬ事は上述した所で明瞭であるが私はコールド

ドに次いだ功勞者として茲にアスコフ校のルドウイツヒ、シュレーデル（一八三六年生一
九〇八年歿）を特筆せねばならぬ。シュレーデルはコールドと比較對照して見れば其の生
家がコールドより餘程裕福で父は林務官であつた。彼はコールド程の宗教熱に乏しかつた
が教育の程度が高く學識に富でゐた爲にグルントウイツヒの思想を了解する上に於ては遙
かに彼に優れてゐた。國民高等學校關係者の中でグルントウイツヒの理想を十分に理解し
得たものはシュレーデルの右に出でる者はなかつた、所から彼はグルントウイツヒ教授と
いふ渾名を得てゐた。彼はグルントウイツヒより五十三才の年少者であるから年齢から言
へば丁度其孫に相當する位である。彼は十八歳から二十四歳までコペンハーゲン大學に學
んでゐたが其の青年時代に當時七十歳を越えてゐた偉人グルントウイツヒの講演を聞いて
大に之に感激して遂に其の主義の信奉者となるに至つた。彼が知人ヌツホルンと共に最初
の國民高等學校たるレッヂング校々長引退の跡を引受けたのは千八百六十二年即ち彼が二
十六歳の血氣盛の時であつた。此の學校は言ふまでもなく最初の國民高等學校である。二
年を経て學校所在地は獨逸の領地となり學校は普魯西政府から閉鎖を命ぜられたので新國

境より少し北方の方に方つて丁抹本國のアスコフといふ所に移轉した。レッヂング校が従
來獨逸語及び獨逸文化の侵入に對して丁抹語及び丁抹文化を擁護する一種の精神的要塞の
任務を盡してゐたやうにアスコフ校も國境近くに陣取つて殊に領土割讓後に國民精神作興
の使命を完うした。單に此の地方の青年にグルントウイツヒの精神を傳へた許りでなく舊
領土からの移住者や態々留學に來た青年にも同様の教育を施した。殊にシュレーデルは最
もよくグルントウイツヒの理想を了解し其の精神に鼓舞されてゐたから此の任務を盡すに
極めて適任者であり其の功勞も亦隨つて多かつた。彼は青年の愛國心を喚起し且つ各自の
業務に精勵する熱心を振作するに妙を得た。彼の鼓舞獎勵に感奮興起して社會有爲の人材
となつた部下や門下生は其數實に夥しい。彼は勞働の神聖を力説し人間活動の美觀を以て
人生の詩と名づけた。彼は領土割讓後特に農業の振興を必要とした時代に祖國の農業の進
歩の上に貢獻した所が尠くない。彼自身は専門熟達な農業家ではなかつたが他の農業者に
農業の改善進歩を鼓舞する秘術を心得てゐた。尤も彼自身には模範的の農園を所有し優良
の乳牛を産出する事は彼の誇であつた。來訪者があれば根氣よく農業の改良を論談し成る

グ
ハントウイン
マ
ー
レ
ー
ト
シ
ュ
レ
ー
デ
ル

べく傭人を減じ全家族を擧げて勞役に服する事を勤誘した。稀にはシュレーデルの無遠慮な率直露骨な勸誘に腹を立て、ムツトする人達もあつたが其の熱心に動かされて改良進歩に猛進する心を起す人の方が多かつたシュレーデルの門人でアスコフの附近に農學校を経営したものがあり其の他アスコフ出身者や關係者で農學校を起したものが多し所から見ればシュレーデルは一方に於て間接に農學校發達の恩人である。

彼はグルントウイツヒの精神に基て歴史教授の意義を十分に發揮した。彼は何事にも乾燥な理論に陥るとを嫌つて現實の生活から立論した。彼は歴史を以て生き血の通つた人間の經驗と見た。歴史は取りも直さず人の記憶に依て過去に於ける現實の生活を保存したものであるからよく歴史を了解する事は即ち人間の現實生活を了解する事になるから人生の説明は歴史の了解に越したものはない。此の點に於ては哲學等の遠く及ぶ所ではない。歴史の中に人生の教訓を求めれば其の原泉は混々として盡きぬ。彼は此の確信を以て歴史を通して人生の教訓を與へた。生きた言葉に依て人を動かした點に於てはシュレーデルもコールドも變りはない。而かも兩人の熱辯はグルントウイツヒのそれに彷彿たるものであつたら

うと思はれる。アスコフ校に於けるシュレーデルの歴史講演は同校の名物であつた。彼は聴衆を引きつけるに驚くべき力を有つてゐた。彼は聴衆に必ず何物かを得しめ決して一人でも空しく素通りさす事はなかつた。巻頭に掲げたアスコフ校に於けるシュレーデル講演の寫眞は彼の熱心な態度と聴衆の緊張振を想像するに餘ある。向つて右手に席を占めてゐる人達はシュレーデル夫人を始め學校幹部の連中で丁抹に其人ありと知られた人々である。シュレーデルの功績を述べるに就いては夫人の内助の功を忘れてはならぬ。夫人は快活で機智に富み主婦として甲斐なくしく家政整理の任務を果し、全國の各地から集まつて來る多數の訪問者を親切に歡待するのみならず校内に寄宿する青年を我が子のやうに可愛がつて學校の生活に家庭のやうな温か味を有たせた。コールドは晩年まで獨身であつた爲に青年との親しみは申分なかつたが學校の中に主婦の感化が缺けてゐた。シュレーデル夫人は國民高等學校長夫人として申分のない模範を示し學校内の家庭的氣分を一層濃かにした。夫人は生徒の集會の準備などにまめなくしく手傳つて之に家庭の情趣を副へることを怠らなかつた。故郷を離れた青年に學校の中にありながら家庭の氣分を味はせた上に夫人

は大きな功勞者であつた。夫人は多數の青年に賢母のやうな感化を與へた許りでなく其の良人に對しても大きな感化を與へてゐた。シュレーデルは幼時に母を失ふた爲に短慮激情の性僻を養ひ氣むづかしく内氣の性分であつたが此等の性僻は夫人のやさしい尊い心によつて著しく矯正された。殊にシュレーデルが國史に現はれて來る賢夫人の事を物語る時には甚しく青年を感動させたがシュレーデルをして此の熱情を惹起させたものは正しく夫人の感化であらうと思はれてゐる。

シュレーデルはコールドよりも遙かに教育の程度が高く學識も豊富であつたから卒業生の中には半年の教育で満足せず再び學校に歸つて來て修學を續けるものもあつた。これは取りも直さずアスコフ校では卒業生が修業年限の延長を希望してゐた事實を表はすのである。國民高等學校の歴史に由緒深きアスコフ校はレッヂングから移轉の後十四年即ち千八百七十八年に全國國民高等學校會議の決議に基づき昇格して擴張國民高等學校と改名し修業年限を二箇年に延長した。昇格の提案者たるネルレガールドは昇格は政府の補助なしに實行困難と主張しシュレーデルにも稍其の説に傾いてゐたがシュレーデルと同じくグル

ントウイツヒの崇拜者であり且つワルキルデ國民高等學校の創立者であるトリールといふ人が極力之に反對して補助金の爲に政府の干渉を受けることがあつては國民高等學校の本旨に背く事を主張したので擴張國民高等學校も普通の國民高等學校と同様に政府の補助は受けぬ事になつた。アスコフの昇格と共に少壯有爲の科學者パウ、ラクールを招聘し得た事はシュレーデルの功績と言はねばならぬ。ラクールは圖らずも國民高等學校に於ける理科教授に革新を行つて從來の一缺陷を補ふ事が出來た。グルントウイツヒは自身が歴史家であり詩人である所から其の教育に國史國文を過重した傾向を免れぬ。彼は自然科學を無視した譯ではなかつたが之を重要視しなかつた事は掩ふ可らざる事實であつた。ラクールは名望ある農家の子でグルントウイツヒの精神に溢れた家庭に生長した。彼は敬虔な信仰の持主であると同時に卓越した科學的研究心に富み物理學氣象學に於ては當時新進氣鋭の學者であつたがアスコフの昇格と同時に自ら進んで教師たることを志願した。彼は數學と物理學との人生に對する關係を闡明し此等の事項を歴史的に説明し此等の學問が人生の如何なる必要に應じて發達したものであるかを明かにした。此の自然科學の歴史的教授法

はグルントウイツヒの精神に基いてラクールが工夫した新案であつて、其の後一般に國民高等學校に採用されるやうになつた。彼は斯様にして科學と信仰と調和し得べき事を證明し且つ自然科學と歴史との調和にも成功した。ラクールはシュレーデルと並んで國民高等學校の發達史に於ける功績者の一人である。

五、グルントウイツヒ高等學校

前にも述べたやうに、グルントウイツヒの最初の計畫は政府の力でソロエーの高等學校を國民大學とも言ふべき國民高等學校に改造する事であつたが其の理想とした希望は國王の崩御によつて一朝にして夢幻水泡に歸した。グルントウイツヒの後援者は此の事を忘れず、政府の力を借らず彼自身をして親しく其の計畫を實行させ度いと思ひ、其資金として有志の寄附を募集しグルントウイツヒ七十歳の誕辰に贈呈する計畫を立てたが、應募の額は一萬四千タローネに達し更に八千タローネの追加があつた。此の募集の爲に特に盡力し且つ多額の寄附金を奮發して自ら校長たる事を望んでゐたのはプラントといふ神學者

であつた。プラントは熱心なグルントウイツヒの崇拜者であつて、既に成立してゐるコールドの農民學校を以て満足せず、農民の子弟のみを收容したのではグルントウイツヒの國民高等學校の趣旨に適はぬものと考へ、グルントウイツヒを設立者に戴いて眞に其の理想に協ふ學校を起したいと思つてゐた。プラントは首府の上流の育ちで政治界にも相當の勢力を有ち、グルントウイツヒが最初考へてゐたやうに國民高等學校を農民のみの學校とせず、首府の市民をも收容して眞に國民全體の學校たる實を擧げ、行く行くは之を大規模の國立學校となしたい素志であつた。然るにグルントウイツヒ夫人はプラントと全く異なつた意見を抱きグルントウイツヒ自身も寧ろ夫人の方に賛成であつた。夫人の意見では國民高等學校を飽くまで農村の學校とし田舎で農場を買ひ求め農業經營の傍ら農民の子弟を教育し得る人を校長に人選しようといふのである。手短かに言へば、勤儉力行質素簡易で思ひもよらぬ程の少額の生活費を以て農民よりもつましく暮してゐるコールドのやうな人が誂へ向といふのである。併しプラントの意見が勝を制して彼は遂に其の素志を遂げて校長となる事になつた。一八五五年グルントウイツヒはコツペンハーゲン附近マリエリス

トに土地を買ひ求め、翌年十一月三日彼の名を冠したグルントウイツヒ高等學校を開校する事が出来た。四十五六歳の頃に兆し四十九歳頃に具體化した國民高等學校の計畫は二十餘年の星霜を経て七十三歳の時始めて自分の手で設立される事になつた。これはレッヂングの學校に後るゝこと十二年コールドの學校に後るゝ事五年である。是迄はグルントウイツヒの共鳴者が其の精神に鼓舞されて學校を起してゐたが、彼の崇拜者は彼を中心とする學校を起さずには措かなかつた。老齡のグルントウイツヒは開校式に臨んで二十餘年間一日も念頭を去らなかつた國民高等學校が自己の手によつて開校する事を喜ぶ旨を述べた。これまで自己の創意の學校が却つて他人の手によつて設立されてゐた所に自ら設立者として理想の實現を見た彼が胸中の喜びは誠に察するに餘ある。グルントウイツヒは此の學校を財團法人組織として三人の理事で管理する事にした。校長は勿論ブランドである。學校はグルントウイツヒ高等學校と呼ばれてゐる。此の學校は後コツペンハーゲンの發展に伴つてリングビーといふ所に移轉する事になつた。此の學校は校長のブランドが豫想した通りに旨く行かなかつた。最初開校の際二十人の生徒が翌年十六人に減じ、三年目に十二人

に減じたので、ブランド自身が校長に不適任者である事を痛感して自發的に辭職した。ブランドはグルントウイツヒの精神に共鳴する熱心家であつたが、知識階級の出身であるだけに平民のコールドが有つてゐた民衆に對する理解と信用とを欠き又百難を排除して飽くまでも初志を貫徹する粘り強い根氣にも乏しかつた。ブランドはグルントウイツヒを戴くからは、開校と同時に庶民の子弟が群をなして校門に殺到するものと豫想してゐたのが全く裏切られた許りでなく、自ら實際教育に當つて見れば民衆氣質の理解のなかつた爲に萬事に齟齬を生じた。ブランドは辭職しても學校は存続した。グルントウイツヒ高等學校は其後校長の更迭と共に其の教育内容は次第にコールド式の學校に近づき今日では有力な一國民高等學校となつてゐる。

六、領土割讓後に於ける急激の發達

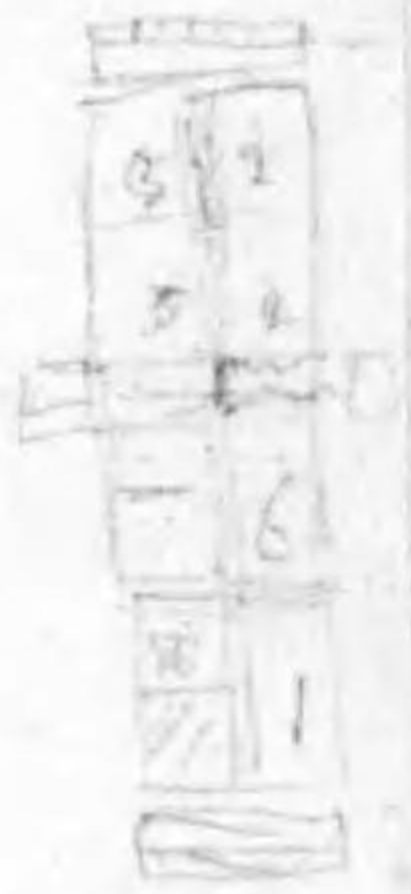
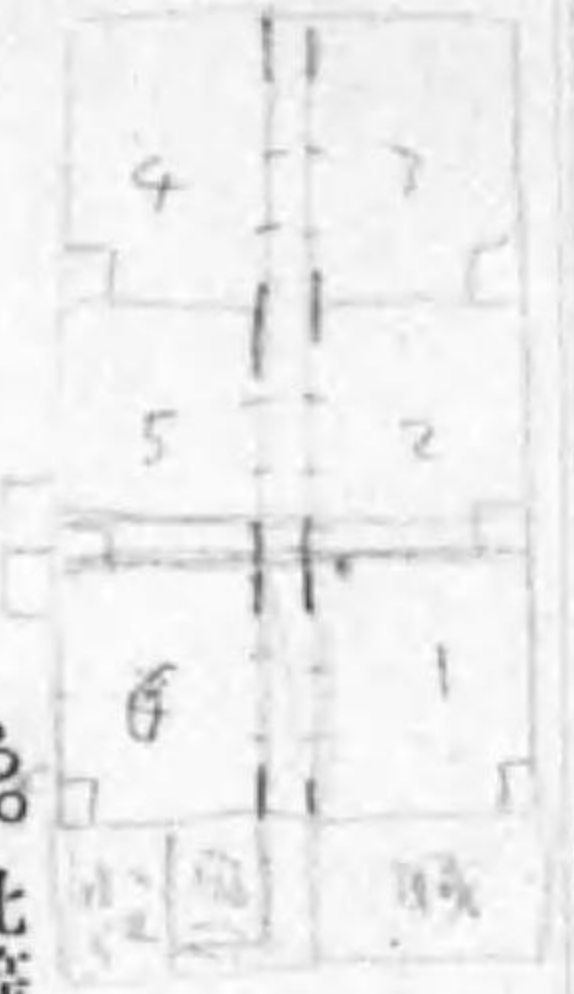
グルントウイツヒ高等學校創立後九年（一八六四年）即ち丁抹中の最も豐饒な土地であるシュレスウイツヒホルスタイン州が獨逸に奪取され、レッヂングの國民高等學校がアス

コフに移轉された頃には全國を通じて同種の學校が十一校を數へた。而かも此の頃は丁抹に取つて國步艱難の秋で、どの學校も私設だけに經營困難を訴へぬものなく實に憐むべき財政窮乏の狀況を呈してゐた。併し其の後十年即ちグルントウイツヒの死後二年には、全國の校數は激増して五十四に達し、生徒數は三千人を超え、年々其の數が増加し、更に十年を経て四千人を超え、更に十年を経て五千人を超え、更に十年を経て千九百五年即ち我が明治三十六年には七千五百人に達し現状と殆んど變らぬやうになつた。

レッチングに最初の國民高等學校が出来てから我が明治三十八年までの六十二年間に新設された國民高等學校は百三十校に達したが、其の中五十九校は創立日尙ほ淺い中に廢校の已むなきに至つた。當時其の經營が如何に困難であつたかを推測するに餘がある。レッチング校の創立からシュレスウイツヒホルスタイン州割讓まで二十年間に國民高等學校で教育を受けたものの總數は全國を通じて僅か三百人に過ぎなかつた。が、其の後、僅かに六年を経て無慮二千人以上に達した。祖國領土の割讓は國民高等學校の發達に取つて大きな刺戟となつたことは疑を容れぬ。これは獨逸でナポレオン戰敗が刺戟となつて新國民教

育が勃興した事實と併せて考へれば一層明白である。そもく丁抹の領土割讓は國土の最良部を奪はれ全國の面積が約四分の三に縮小した事になるので大に國民の自覺を促して國民高等學校の普及を急がせた。私は前に同じ頃に英國の工業社會を見て農業國のグルントウイツヒは國民精神作興の源泉として國民高等學校の計畫を立て、これから工業國とならうとする獨逸のマルクスは同じ英國の工業界を材料として共產主義を起したといふ奇異な對照を述べたが、グルントウイツヒの國民高等學校を普及せしめる機會を與へた丁抹の領土割讓の年は、丁度マルクスが國際労働者同盟即ち第一インターナショナルを組織した年と同じである事も奇異な暗合である。

(現在は全國の校數八十生徒數八千三百以上に達し人口の約三分の一が國民高等學校の教育を受けた事になつてゐる。今日では創意者グルントウイツヒの念願が達せられて丁抹國民高等學校は其の國運を左右する大勢力として世界に知られてゐる。グルントウイツヒが鼓吹した國民精神は領土割讓の後に一層作興して國力復興に集中した。今や丁抹は世界の模範農國となり、其の産業組合は世界に模範を示し、激増した農産物は國富を作つてゐ



る。此等は國民高等學校が施した農民教育に其の効績を認むべきものが多い。

今日現在の國民高等學校は多くコールドの學校を手本として一箇人の私設經營である。

而かも農村生活の實情に適するやうに外觀の美を飾らず規模を小さく設備を質實簡易にして經費の節約を主としてゐる。尤も始め小規模のものが次第に規模を擴張したのも少ない。たまには株式組織のものもある。創立の際はあば屋のやうであつたものが今日では近代式の建物に變つてゐるのが多い。併し英米などの學校に比べれば校の外觀も内部の設備も極めて質素である。此の點に於ては諸外國に比して寧ろ見すばらしい實際を有つてゐる。我が日本から行つて參觀しても其の宏莊に驚く事はない。要するに丁抹の國民高等學校は何等外觀の盛大なものはないのが特色である。日本で言へば田舎の農學校のやうな感じがする。要するに各學校孰れも設立者の私營であるから學校の特色は設立者の人格によつて様々に異なつてゐる。併しグルントウイツヒの精神が各學校に貫通ししゐる點に於ては變りはない。此の精神は屢々舉行される教師の會合及び機關雜誌上に於ける相互の盛な意見の交換並に大學で行ふ共通の教員講習會で統一され且つ振作更張されて行く。

此等が又同時に全國の國民高等學校の進歩發達を助ける。國民高等學校の教師の數は其の規模に應じて二三人から二十人位迄の相違がある。就中多數は大學又は國民高等學校の教育を受けたものであり餘は教員檢定試験を受けたものである。併し後繼者は同じ學校出身者中から選ばれる事が多い。教員の資格に就いては文部省は何等の規程を設けてゐない。

七 國民高等學校の普及と趣旨の徹底

國民高等學校入學者の最低年齢は十八歳といふ事に一定してゐる。此の年齢は青年期の終りで普通成人とも言つてよい位であつて、多くの農民の子弟は小學校を卒業して少くとも一定の職業に従事して既に勞役に耐え獨立生活の途を得てゐる。併し此の年齢は最早成熟に近いので人生問題や社會問題に就いて種々の疑惑を生じ自發的に思想上の啓蒙を求めてゐる。この要求が農民の子弟をして國民高等學校の入學を希望せしめる。随つて學校も人間の一生中最も印象を受け易い時期に於て最も有効な指導訓練を行つてゐる譯になる。國民高等學校は本來私立學校であるから青年には何等就學の義務もない。随つて父兄も官

應も就學の勸誘もせねば督勵もせぬ。入學は全く青年の自發的の自由意志による。他人の使用人となれる青年男女の如きは給金の中から年々零細の金錢を貯蓄して入學の準備をする位である。此の位まで農村の青年が何等の勸誘督勵を待たず自由意志を以て進んで入學を希望する所は丁抹の國民高等學校の強みであり、且つグルントウイツヒやコールドの精神が普く農民の頭腦に徹底してゐる證據である。丁抹の國民高等學校は眞に自由の精神から民間に起つたものであり又眞に青年の精神的需要を充たす所から其の生徒を強く引つけてゐる。丁抹の國民高等學校が如何にして斯くまで農村青年の心を引きつけ得るまでに成功し得たかといふ事は苟も實際に青年教育に經驗ある者の最も興味有る問題である。此の問題は固より一言一句で容易く解決し去る事ではない。併し此の學校が如何に農村生活の實情に適切であり且つ如何によく青年の要求に順應してゐるかといふ事は何人にも想像するに難くない。之と同時に其の創意者たるグルントウイツヒが如何によく青年の心情と要求とを觀破してゐたかといふ事とグルントウイツヒの理想を實際化したコールドが如何によく農村生活を理解しピッタリと之に即した實際教育を行つたかといふことが驚嘆に餘あ

る。國民高等學校は農學校でもなく職業學校でもない。現に職業を得てゐる者の爲に國民として又人間としての精神教育を施す所である。青年の胸に眠つてゐる心眼を開いて一層深く人生を理解させ其の國民精神を自覺させて一層熱心有効に自己の職業に精勵さす事が國民高等學校の本來の趣旨である。國民高等學校にはグルントウイツヒが英國の政治經濟の盛運を來す原動力として感得して來た自由の精神が充滿してゐる。グルントウイツヒは飽くまで自由の擁護者である。此の自由の精神はグルントウイツヒ自身の一生を貫いてゐる許りでなく蓋し太古ゲルマン人種に特有な長所である。これは同時にゲルマン人種から出た丁抹人の國民精神の精髓とも言ふべきものであるグルントウイツヒの効績は夙に此の精神を攫み當時の丁抹人に此の精神が眠つてゐる事を見て取り之を覺醒して之を涵養振作するに成功した所にある。國民高等學校の入學は全く青年の自由意志から出た自己決定によつてゐる。血氣盛りの農村青年の集團にはどこの國でも整然とした規律を維持する事は困難なのが普通である。然るに國民高等學校の青年には外部からの監督といふやうなものが殆んど不必要である。生徒は互に規約を設けて秩序が整然と立つやうにするからいかめ

しい學校の取締規則などが一切要らぬ。而かも師弟の情誼は父子の溫情のやうにこまやかである。丁抹の國民高等學校を視察する外國人は農村青年の學校として規律が肅然として何等の喧噪なく不秩序がないのに驚嘆する。沈着溫厚の態度は蓋し北歐人に共通な美點であるが國民高等學校の規律には多年養成された協同自治の精神が充滿してゐる。此の美風が全國國民高等學校の美風となつた事にはコールドの純眞な薰陶が與つて力あるものと見ねばならぬ。此の協同自治の精神と師弟の溫情とが英國學校のそれと符節を合するやうになつてゐる事は最も注意すべき事柄である。外國の教育は其の制度や外形よりも其の精神を觀破する事が大切である。グルントウイツヒは徒らに英國教育の外形を猿真似せず直ちに英國人の自由精神を捉へて之を祖國の同胞に鼓舞したので、圖らず此の成績となつた。凡そ學校教育の成績は學校の組織制度よりも之を運用し直接生徒薰陶の任に當る校長其の人の人物如何による方が多い。教育の精神は校長其の人の人物如何によつて左右される。隨つて國民高等學校の美風を維持するには校長其の人の人選が極て大切である。校長其人を得れば旺盛な精神が學校の内外に溢れ寄宿舎は一家團樂の和樂を生ずるが若し誤つて

其の人を得なければ教育の精神が脱けて徒らに形式に拘泥しありふれた寄宿舎や兵營の冷たい規律が必要になつて來る。國民高等學校の美風は眞率で親切なコールドの學校に最もよく發揮された。幾多の學校に好個の手法を示したコールドは天成の校長適任者であつた。國民高等學校が農民の學校として成功した一因は學期が短いのとそれが農業の忙しくない時である事と學資が思ひ切り少額ですんだ事である。此の點には勤儉力行其の物とも言ふべきコールドの功勞が大きい。コールドが開校した頃は一ヶ月六圓位ですましたさうである。生活が豊かでない農民に比較的容易に入學が出来るやうにした事が農村の實情にピッタリと適合した。生徒の學資は食料をこめて其の頃平均一ヶ月約三十タローネ即ち我が十六圓位ですんだ今日でも一ヶ月僅か三四十圓位である。學校には政府の補助金がある外に貧窮の學生には學資の補助もある。此の補助も次第に増額となり一九〇二年即ち明治三十五年以後は一人につき一ヶ月二十タローネ即ち十一圓に相當するから學資の半分以上に當たる。而して補助金志望者中の六割以上が給與される。補助を受ける生徒は男子の多數は雇人であり女子の多數は下婢家政婦、裁縫手等である。我が國では迎も此の種類の學校

に入學する志があらうとは思はれぬ連中である。

シュレスウイツヒホルスタイン州が獨逸に奪取された年にレッチングからアスコフに移轉された最初の國民高等學校は傳統が最も古い所から全國の學校中で主要の地位を占めてゐた。併し其の内容は他の學校に比して特に異なつた所はなかつた。併し國民高等學校關係の有力者はグルントウイツヒの最初の計畫を忘れなかつた一八七八年（我が明治十一年）即ちグルンウイツヒの死後コツペンハーゲンで開催された全國國民高等學校會議でグルントウイツヒの遺志を繼ぎ由緒あるアスコフの學校を改造して大學に匹敵するやうな從來のものは一投程度の高い國民大學ともいふべき國民高等學校に昇格さす事が決議された。これより有志から寄附金を募集して校舎を増築し知名の學者を教師に増聘した。之が即ち擴張國民高等學校であつてグルントウイツヒの二十七歳の詩「ソロエーの曉夢」に現はれた理想が五十八年を経て彼の死後六年にして其の崇拜者によつて始めて實現された。國民高等學校には國民大學といふ譯語もあるが此の昇格した學校は事實上國民大學の名を辱しめぬやうになつた。コールド式の國民高等學校は當時世上で呼ばれたやうに農民高等

學校と言つた方が寧ろ適切であつて國民大學と呼ぶのはふさはしくない。尙ほ七年後には此の學校に女子部を設置したが寄宿は男子のみに限り女子は民家に下宿する事になつた。此の學校の課程は冬期のみ二年であつて普通の國民高等學校を終へたものが入學して一段高い仕上げの教育を受ける。全国各地の國民高等學校の優等卒業生がアスコフに集るやうになり、其等が又母校の教師となるのでアスコフは一面に教員養成所の姿である。現在の生徒數は四百乃至五百に達してゐる。尙現在は此の高級の課程の外に冬期に男子の爲夏期には女子の爲に普通の國民高校學校の課程も開いてゐる。アスコフは微々たる小村であつたが今日では學校を中心とした大學町の有様である。

現今の國民高等學校の規模は創業時代に比れば概して擴張されてゐるが世界各國に見る學校に比べれば寧ろ小規模であつて普通百人内外の生徒を收容する程度である。孰れも夏季冬季の二學期に分ち夏季は女子のみ冬期は男子のみで各一學期で卒業する冬學期は十一月一日から始まり五六ヶ月間夏季は五月一日から始まり三四ヶ月間である。冬期は積雪と寒氣の爲に農業が出来ぬから農業に従事するものが入學し易い便宜を圖つたのであ

る。

前記の昇格したアスコフの擴張國民高等學校は三十一年前クリスチャン八世の崩御によつて變幻水泡と消え去つたソロエー高等學校を國民大學に改造するグルントウイツヒの理想を實現したものと見てよい事は既に述べた通りである。併し若し假りにグルントウイツヒが最初に既設の官立學校を改造して國費を以て大規模に實行しようとした計畫が故障なく實現されたとしたならば果して本當にグルントウイツヒの精神を貫徹し得しや否や即ち果して國民に取つて幸福であつたかどうかと言ふことについては意見が二手に分れてゐる。官立なれば仕事が容易く此の種の學校が出来て早く全國に普及した事は疑はれぬ。これは最初の計畫が實現してゐた方がよいといふ見方である。此の點から許り考ふれば國王の崩御は遺憾の極である。正反對の見方もある。官立となれば固より政府の干渉を免れぬ。それはグルントウイツヒの精神を拘束して思ふ儘に仕事が出来ぬ。これは決して望ましい事ではない。現在の國民高等學校が自由な民間の事業として全國に普及して而かも農民の子弟が自ら進んで入學を志望するやうになつた事は言ふまでもなく學校の内容が農村

生活に即して農民の幸福を増進するからである。これは最初官立學校として現はれず、民間の事業としてよく農村生活の需要に適合したからである。名門の家に生まれたグルントウイツヒ又は他の知識階級の人が自ら經營の任に當つたとすれば到底コールドがなし得た事を爲し得たらうとは思はれぬ。國民高等學校に漲つてゐる民衆的精神は固よりグルントウイツヒから出發してゐるが之を實際教育に具體化したのは民衆の中から身を起したコールドの努力に因るのである。これを考へれば三十一年前にソロエー高等學校改造案が直ちに實行されたものとすれば決して丁抹農民に幸福を與へたものとは思はれぬ。若し最初の計畫が成功したとすればコールド式の學校は今日のやうに發達したらうとは思はれぬ。果して然ればソロエー校の改造が不成功に終つた事が今日のやうに眞正の意義に於ける國民高等學校が民間に發達した原因を作つてゐる。アスコフの擴張國民高等學校はグルントウイツヒの遺志を繼いでソロエー高等學校改造案を死後に實現した形があるが其の事實の内容は大に異なつてゐる。若し假りにグルントウイツヒの最初の計畫が容易に實現されたとすれば擴張國民高等學校の成立は不要であるのみならず到底考ふ可らざる不可能事であ

る。何となれば此の學校は國民高等學校の發達の最後を飾る冠のやうなもので其の以前の發達なくしては到底出現し得ざるものである。擴張國民高等學校は普通の國民高等學校の完成であり、補成であつて決して其の本體ではない。寧ろ根幹から生じた花實であつて根幹其の物ではない。丁抹國民高等學校の本體は飽くまでコールド式の學校と言はねばならぬ。私は彼の方よりも此の方が眞にグルントイツヒの趣旨に適つてゐるものと思ふ。グルントウイツヒが最初から擴張國民高等學校即ち國民大學と名づけても差支ないやうな學校を作つたならばそれは官立であつても私立であつても丁抹の農民生活にピッタリと合はなかつたであらう。随つて左様に程度の高い學校が普通の國民高等學校のやうに全國に普及したらうとは思はれぬ。普通の程度の低い國民高等學校が全國に普及した後に其の教育を完成する爲に一段高い擴張學校が出来たのは極めて自然の道行であつて若し其の順序を逆にして程度の高い方を先に作つたとすれば低い方が全國に後から普及したらうとは信ぜられぬ。コールド式の國民高等學校は其の程度に於てグルントウイツヒの理想と多少の隔りはあつたが丁抹の國情で彼の精神を貫徹するには十分であつた。私はコールド式の學校

に於て十分にグルントウイツヒの精神を見る事が出来ると思ふ。此のグルントウイツヒの精神は國民高等學校と共に不朽に彼の祖國に残るであらう。

八 二十世紀に於ける國民高等學校

舊國境近きレッチングに最初の國民高等學校が創立されたのは千八百四十四年即ち今から八十五年前であつたが其後二十年にして領土割讓の國辱があつて俄かに其の激増を促がし其の後更に四十年を経て十九世紀末には殆んど全國に普及し生徒の數も二十世紀の劈頭千九百二年には七千三百六十一人に達し千九百十二年の八千四十三人千九百二十二年の八千三百六十五人に比べて著しい差異がないまでになつてゐた。

二十世紀殊に最近の歐洲大戰は社會の各方面に大變動を來したから教育關係の事情も精密に現状を叙述する事は極めて困難である。丁抹國民高等學校も初期の特色は殆んど一定してゐた爲に之を記録したのも多いが最近の變遷に至つては之を精査した資料に乏しい。随つて大勢に就いて概説するより外はない。全體に就いて言へば今日の國民高等學校

も依然として忠實に初期に成立した傳統を遵奉してゐるものと見てよい。併し其の活動の範圍は漸次に擴張され其の教科も社會生活の必要に應じて多方面となつた。換言すれば徐々に現代化された。學校生活の状態も今日ではコールドの時代のやうに質素簡樸其の物の風は最早過ぎ去つて現代的安逸娛樂の要素が何時となく之に入れ換る事を免れなかつた。併し之を都會生活や他國の農村生活に比べて見れば尙ほ農村の醇樸質素の美風と其の特色と認めるには充分である。學校生徒の定員も漸次増加されたとは言へ他國の學校に比すれば小規模の特色に至つては初期の傳統を破る程には至つてゐない。校舎の如きも初期創業時代のもものと二十世紀のものとは雲泥の相違があるが英米獨佛などの學校に比すれば寧ろ貧弱の觀がある位に質實の特色を存してゐる。

創業時代に比すれば今日の國民高等學校は多少宗教的精神が衰へて幾分か形式的となつたといふ非難を免れる事は出来ぬが單に知識技能を授ける所謂學習學校たるの弊に陥らんとする誘惑に抵抗して深く青年の内の生活に立入つて其の精神の向上を圖らんとする點に於ては今も昔も變りはない。換言すれば孰れの學校に於ても傳統的本領を發揮する爲に少

しも努力を惜まぬ。教育の根本精神には何等の變化がないとしても其の目的を達する手段方法即ち實際教育の細節に至つては時代の趨勢に鑑みて必ずしも舊式の教育法を墨守せず幾多の改善進歩を圖つてゐる。最近に行はれた改善進歩の著しいものを挙げれば教師が講演を行つた後に其の内容に就いて質疑討論を行ふが如きは其の一である。これは各國の大學に行はれてゐる新しい研究演習の形式を採用したものと見て差支なからう。又參考書を利用して興味ある問題を研究し其のままとまつた結果を自己の意見として一編の文章を書き表はす演習も同じく廣く近代大學に採用されてゐる研究演習の方法である。

次に歴史の教授上にも著しい變化が起つた。開祖グルントウイツヒは一方に獨逸浪漫派の影響を受け且つ自ら歴史家であり詩人であつた爲に歴史の解釋が浪漫主義に傾き且つ自ら熱心な宗教家であつた爲に歴史の事實を宗教上の信念に附會する傾向があり隨つて國民高等學校の歴史も古代と中世紀に重きを置き米國發見以後の近代史に就いては極めて疎略であつた。最近になつて古代や中世紀よりは近代現狀に重きを置き歴史によつて現代生活を理解することに努めるやうになつた。創業時代にクリステン・コールドが聖書中の物

語をする時には自己の體驗を基礎としたから古い話が青年には眼前の我が事のやうに徹底し古代や中世紀の歴史物語をしてもそれに生き血が通ふて之を聞く青年には眼前の事實のやうに有益な處生上の教訓を與へた。コールドに取つては如何なる歴史上の事實も青年啓發の教材とならぬものはなかつた。彼は個人生活の上からも國民生活の上からも其の意義を青年に徹底させずには措かなかつた。此の精神は今日も尙ほ失はれてゐない。今日獨逸ライプツヒ大學のテオドル・リットが唱へてゐるやうな歴史教授論即ち歴史的認識論も煎じつめて見れば左右逢源の感がある。コールドが今日尙生存してリットの著書を読んだと假定すれば彼は屹度會心の微笑を漏すであらう。私の見る所ではリットの學説は今日の丁抹國民高等學校に於て或る程度まで實現されてゐると思ふ。

初期の國民高等學校ではグルントウイツヒの精神に基づいて北歐神話に重きを置いたが今日では古典文學よりも最近の現代文學、美學、藝術批判等を授けるやうになつた。これも時代思想の變遷に適應する改善進歩と見るべきであらう。最近には又時代の要求に促されて、歴史に伴つて社會發達史や社會學社會問題の一端を授けるやうになつた。是は概近各

國に對しい所謂社會科學と其の問題の範圍が一致するので丁抹の農民も世界の大勢に逆行する事を得ず世間並に思想が悪化したのではないかと疑ふ讀者もありはせぬかと思ふが丁抹ではまだ其の心配がない許りでなく今日の國民高等學校では此の問題は恰も景物のやうなもので決して重要な意義を有するものではない。丁抹の農村生活の状態は既に述べた通りに今日の處極めて順調である。富の分配が比較的公平に行はれて貧富の懸隔が少く階級分裂や階級反目などを餘所に見て民衆は均しく幸福な生活を營んでゐる。換言すれば生活の脅威や不平不満から險惡な思想を抱き又は社會問題に熱中するやうな農村青年はない。大工場のない農村に労働爭議のある筈がなく地主小作人の區別のない所に小作爭議の起る譯もない。都會生活にはと角社會問題が起り易く都會青年が社會問題に共鳴する事も自然の勢であるが丁抹國民高等學校は殆んど全部農村に存在し社會問題に興味が薄い農村青年を收容し社會問題に没頭しさうな都會青年は普通國民高等學校に入學する事を欲せぬから結局國民高等學校の社會問題の研究は極めて微温的のものであるといふ事に歸着する。併しグルントウイツヒの精神に立歸つて見れば昨今に喧しい社會問題は既に根本的解

決を得てゐるのである。今次の歐洲大戰は世界各國に深刻な教訓を與へたがこれによつて惹起された新思想は段々と煎じ詰めて行けば結局グルントウイツヒの根本思想に歸着するのである。グルントウイツヒは凡そ百年前に現代思想の根本を豫言した事になる。現代思想の基調とグルントウイツヒの根本思想とは符節を合する如く一致する。戦時中より戦後にかけて全世界を風靡したデモクラシーの思想は自由平等を標榜したがグルントウイツヒは徹頭徹尾デモクラシーの主唱者であり自由の擁護者であつた。現代思想の基調は人類愛相互扶助共存共榮等の觀念を包含する人道の理想といふ事が出来るがグルントウイツヒの根本思想も基督教の信仰に基づいた人類の共同和親の理想即ち人道の理想に外ならぬではないか。斯くして他國では歐洲大戰を機として起つた思想問題の解決に苦惱してゐるのに對してグルントウイツヒは既に歐洲大戰前に於て現代思想の要求を満足する根本的解決を見事になし遂げてゐたのである。丁抹の農民間に面倒な社會問題が起らぬのは此の爲である。國民高等學校内に授くる社會問題が左程重要な地位を占めず生徒が餘り興味を有たぬのは其の爲である。革命後の獨逸が民衆教育に於てグルントウイツヒの精神を學ばんとす

るのも此の爲である。大戰後世界羨望の的となつた丁抹の農業殊に其の優良なバターやベーコンの製品は如何にして出来るやうになつたかといふ事に就いて諸國の識者が深く研究した結果はバターやベーコンとはそれと最も縁の遠いと思はれる國民高等學校の非實用的の人文教育であるといふ不可思議の關係が発見された。丁抹の農業を發達せしめ其の國運を興隆せしめたものは農民の人格の修養であることが證明された。外人の研究によつて丁抹人自身も國民高等學校の眞價を一層深く自覺するやうになつた。

歐洲大戰勃發三年前即ち千九百十一年に丁抹各地の國民高等學校で首府コペンハーゲンの勞働者階級の青年を校内に招待して一週間の夏期講習會を試みた。農村の青年と首府の青年とは一所に聴講したり一所に合唱したりダンスをしたり遠足を共にしたりした。此の夏期講習會に出席した大都會の青年等は冬期に首府のグルントウイツヒ記念館に集合して國民高等學校の教師から講話を聞くやうになつた。グルントウイツヒは首府に住居してゐたが其の生存時には首府の住民等は國民高等學校を農民學校と輕侮して之を顧みる者もなかつたがグルントウイツヒの死後五十年を経た今日に於ては國民高等學校協會といふもの

が出来て首府の青年を農村の國民高等學校に留學せしめグルントウイツヒの精神を永遠に維持するに努力するやうになつた。斯の如く大都會の青年を田舎に送つてグルントウイツヒの精神に觸れしめやうとする團體がある外に首府の中に國民高等學校を經營してゐる人がある。これはボルプといふ人であつて此の事は改めて後に叙べる。

歐洲大戰によつて各國に惹き起された思想の動搖や社會の變動から考へれば丁抹の國民高等學校も其の悪影響を免れることは困難であらうとは何人も疑を懐かざるを得ぬ所である。殊に本節の初めに述べたやうに二十世紀に入つて時勢の要求に促されて國民高等學校の傳統が漸次改革されて行く所を見れば其の教育法は最早時代後れになりかかつて居るのではないかと言ふ疑問も起つて来る。併し詳細に且つ根本的に研究して見れば前に述べた通りグルントウイツヒの根本思想が現代思想の要求と矛盾せざる限り決して其の存在の理由を失ふべきものではない。切言すればグルントウイツヒは社會問題の襲來に先つて百年前未然に見事に解決してゐるので同胞の爲に百年の大計を立てたものと稱讃せねばならぬ。今若し丁抹にグルントウイツヒが出でず國民高等學校が発達しなかつたと假定したな

らば恐らく今日の丁抹は社會問題の決解に苦惱する羽目に陥つたであらう。丁抹が現今世界各國から羨望される社會生活の幸福を受けてゐるのはグルントウイツヒに負う所が多いと共に其の功績を國民高等學校に歸せざるを得ぬ。廿世紀に行はれた國民高等學校の改革は決して其の根本精神が時世の要求に反し時代錯誤となつたからではなくグルントウイツヒの根本精神は少しも變更せず之を具體化し實際化する手段方法即ち教育法の上に於ての改革である。これは時勢の變遷に伴つて當然起つて來ねばならぬ改善進歩と見るべきであつて決してグルントウイツヒの根本精神の衰微退歩と速斷すべきものではない。グルントウイツヒの人道の理想即人類の協力和親の觀念には嘗て浪費派の人が描いてゐた四海同胞の理想や現今の國際聯盟、世界恒久の平和、共存共榮、人類愛等の思想を含蓄してゐる。人道の理想は古今を貫いて永遠不朽の價值を有つものと見てよからう。グルントウイツヒは固より其の根柢を基督教に求めてゐる。國民高等學校が初期の創業時代に適するやうに出來上つた形式を固定硬化した傳統として頑冥に墨守して行けば忽にして時代後れとなり融通の利かぬ偏屈な人物を養成して世と相容れぬやうになるは目に見えてゐる。丁抹の國民

高等學校は忠實にグルントウイツヒの根本精神を遵奉することを忘れぬが學校の瓊末枝葉の形式まで堅く墨守しようとする固陋頑冥には陥つてゐない。少くとも創業時代の國民高等學校がグルントウイツヒの根本精神に基づいて適切有效に國民生活の要求を充たし國運を發展させたように二十世紀の國民高等學校も其の根本精神に於ては毫もグルントウイツヒに反する事なく時世の變遷に應じて一層之を發揮しようとして努力してゐる事は明瞭である。從來農村に限られてゐたものが首府のコペンハーゲンにも其の創立が試みられ又歐洲大戰後には國際國民高等學校即ち一種の國際大學が設立されるやうになつた（此の事は後に詳細に述べる）のは寧ろグルントウイツヒの精神を擴張したものであつて決して之に矛盾し又は時代思想に惡化されたものと見るべきではない。現今各地の國民高等學校は其の初期のものに比すれば固より改善進歩の爲に一層よく所期の目的を達してゐるものと見ねばならぬ。これには世界一般に教育の進歩した影響を受けてゐることも忘れてはならぬ。換言すれば國民高等學校は最初十五人や二十人位の小人数から出發してゐるが規模が次第に大きくなつて百人を越えるものもあるやうになつたから教育の方法も人数に相當す

るやうに改善される必要も起つて来る。普通の學校のやうに入學者の年齢や經歷が一定してゐないから學力の不同が著しい。随つて一齊に出来るものもあればさうでないものもある。例へば體操や唱歌は容易く一齊教授が出来るが講演は聴くだけは一所に聴いても理解の程度がまちまちであるから之を各個人に十分に徹底さす爲に質疑討論研究座談をなす爲に極めて小人数の組に分團する風が生じて來た。此の組分は理解の程度殊に學力年齢は勿論個人の興味や長所短所などを參酌するのは最近教育の上最も進歩した思想に基いたものである。即ち個人の特質と要求とを重んずるのである。又教師の監督指導なしに自習の出来ることは出来る丈け自學自習を奨励する。これも最近の進歩した教育思想である。知能が秀で且つ素養のある生徒は此の自學自習の法によりて短期の間に長足の進歩をなすことが少くない。算術、作文、圖畫などは教師の指導を要することが多い。歴史、文學、地理、理科、社會學等は全校一齊に講演をやる。體操、遊戯、舞踏等は勿論全校共同である。

國民高等學校の生徒は知識慾に燃えて四方から自發的に集まつて來る元氣旺盛の青年であるから修學の意氣込が並大抵ではない。随つて僅か五ヶ月間の修學を最も有効ならしめ

る爲には如何なる辛抱も努力も惜まぬ。學力の進歩の顯著なものも敢て惜しむに足らぬ。今日までの經驗に徴すれば他の専門程度の學校で普通の方法でやれば三ヶ年乃至五ヶ年を要する知識の程度及び分量を僅々五ヶ月間に修得するとの事である。換言すれば國民高等學校の生徒は小學校卒業後に學校に行かず實生活に費した年數を實際中等學校並に専門學校に入つて修學したと同じ結果を來してゐる。而かも實生活の經驗を積んだ丈が中等學校や専門學校に修學した者よりも優れてゐる譯になる。少しも中等學校や専門學校に行かないで僅か五ヶ月の間にこれを行つたものに優れた學力を得る事は教育上驚くべき事業である。これはグルントウイツヒが最初に當時大學に修學してゐる學生と同じ年齢の農村青年で無意味に月日を送つてゐるものに大學で學んだと同じ教育を授けようと考へた理想が實現されたものと見て差支なからう。國民高等學校の教育は其の内容實質に於て大學の教育に匹敵する。國民高等學校を國民大學と翻譯する人があるのは全然不當とは言はれぬ。併し嚴密に言へば國民高等學校卒業者の學識は専門學校や大學出身者に比すれば専門科學的組織的でないといふ點に於てそれ等に劣つてゐる。相匹敵するといふは其の内容實質が國民生

活の上に用をなす上からである。否切言すれば最近教育學上に力説されるやうな生活本位體驗本位の學校たる上に於ては國民高等學校は普通の専門學校や大學のやうに書籍や理論に囚はれず寫地に實生活其の物に突進して其の意義を把握せんとするのである。彼等は組織的系統的の専門科學の學識には乏しくとも祖國と運命を共にする國民精神や徹底した信仰に基づく人格の修養に於ては普通の専門學校や大學出身者の追従を許さぬ長所を有つてゐる。共同自治の訓練に於ても勞働を喜悅とする精神に於ても他に類例の少い美點を具へてゐる。尙ほ研究心の旺盛な點に於ても知識慾や讀書の興味の強烈な點に於ても決して専門學校や大學出身者に遜色はない。此等は優に専門の科學的知識の缺乏を補つて餘あるのである。要するにグルントウイツヒの理想は二十世紀の今日に於て殆んど遺憾なき迄に實現され且つよく時代の要求を充しつゝある。今後の進歩發達は蓋し錦上更に花を添へるものと言つてよからう。

九 首府の國民高等學校

丁抹の國民高等學校は事實上農村に發達し農民學校と言はれる程であるがグルントウイツヒの理想では其の名稱の示す如く階級や職業の別を問はず全國民の學校となす考へであつて決して農村の青年に限る意圖はなかつた。平たく言へばグルントウイツヒの共鳴者が農村に學校を起しそれが農村生活に即して發達した爲に次第に都會生活と遠かり都會に同様の國民高等學校が發達せず又都會の青年が農村の學校に學ばなかつたのである。併し苟くもグルントウイツヒの精神を了解するものは何故にさ程優れた國民高等學校が丁抹の都會地に發達しなかつたかといふ疑問を提出せざるを得ぬ。

我等外國人にさへ此の疑問が起る位であるから本家本元の丁抹人に此の問題が起らぬ筈はない。最初に首府コペンハーゲンに國民高等學校を起さうと試みた者はレッヂングに最初の國民高等學校を起した人と同一人即ちクリステン・フロールである。グルントウイツヒの精神に共鳴して獨逸文化の侵入に對抗する爲に國境近く此の學校を起した人が自分の生まれ故郷に同様の學校を經營するのは敢て怪しむに足らぬ。彼は首府に或る一室を借り夜間自らスカンデナビア史を講じたが二冬で中止せねばならぬやうになつた。これは寧ろ各

國に類例の多い連続的通俗講演又は長期講習會即ち通俗大學又は大學擴張運動に相當するものであつて國民高等學校としてはまだ其體裁をなさぬ中に中絶した。間もなく神科大學の卒業生でファルケンステイルネとポントツビダンといふ兩名が此の事業を復興したが同じく永續しなかつた。歐洲大戰中千九百十六年にアスコフ校の出身者でスンドボーといふ社會主義者の首領が勞働運動のリーダーを養成する目的で學校を設立したが校長自身がアスコフ校出身であるだけにグルントウイツヒ主義の國民高等學校と共通類似の性質があるにはあるが其政治的色彩の濃厚なる點に於て之を國民高等學校と見做すのは穩當でない。首府コペンハーゲンに於てグルントウイツヒ主義の國民高等學校の經營に最初に成功した人はヨハン・ボルツプである。彼は夙にグルントウイツヒの感化を受け其の死後五年にして神學博士の學位を得たが僧籍に入ることを望まず傳道事業よりも國語國文に興味が深かつた。學位を得た翌年即ち千八百七十八年（明治十一年）に自ら進んで或る國民高等學校の教師となりこれこそ我が一生を捧ぐべき理想的の職務であると悟つた。やがて佛國巴里に留學して佛語佛文學にも精通した。一時は前記ファルケンステイルネの學校に教へた事

もあつた。其の關係から自ら首府に國民高等學校を設立しようといふ計畫を立て國民高等學校中でも第一流に屬するワレキルデ校に夏期の一日を過ごした。ボルツプは茲に校長のトリールが青年に深甚の感化を及ぼしてゐる有様を見て痛く感激し殊に熱誠を籠めた「生きた言葉」は普通の雄辯以上に青年の心を動かすものであることを覺つた。これから首府に學校設立の念願が烈火のやうに彼の胸中に燃えて日夜其の計畫に苦心焦慮して造次にも顛沛にも之を忘れなかつた。ボルツプをして特に此の念願を強からしめたのは都會労働者の生活状態殊に其の精神的不安に對する同情である。我が國の都會にもよく見るやうにコペンハーゲンの労働者も多くは農村から都會生活に慣がれて來たものであるが、實際に單純平和な農村から複雑熱鬧の都會に移住して見れば想像に描いてゐた幸福生活の夢には忽ち破れ境遇の激變に對してよく之に適應する術を知らず住居も一定せず日々不安焦燥の生活を送らねばならぬやうになるのが普通である。かゝる不安焦燥の生活を送る青年が一生人間の正路を踏み通うすことは容易に望む可らざることである。此等の同情に値する都會青年に安心立命の地を得べき堅固の信仰を得しめ浮沈轉變常ならざる都會生活に處し

て善惡正邪の判斷を誤らず人間の正路を踏んで各自の生業に勵精する精神を養ふと共に祖國に對する國民精神を作興せねばならぬといふのがボルツプの熱烈な念願であつた。彼は從來の教育者を束縛してゐた區々たる形式に拘泥せず又必ずしも從來の國民高等學校の傳統や因襲に囚はれず空手我が全人格を投げ出し自己の深刻な體驗を出發點とし多年の熱烈な念願を遂げ素志を貫かんと試みた。彼は萬難を排して千八百九十年（明治三十三年）の冬即ち彼が三十八歳の壯年に市内に借間をして開校した。應募者が豫想外に多數に殺到したので最初の日にはボルツプも他の二人の教師も非常の混雜に面喰ひ生徒の座席も足らず秩序も立たず全く夢中で授業をした。家主もたかが十人内外と思つて貸したのに此の混雜の様を見て貸間を拒絶したので數日の中に別に借家を捜さねばならぬといふ有様であつた。随つて例の早朝の合唱なども行はず全然國民高等學校の教育法に拘泥せず形式を捨て、精神を取り青年の心眼を開き思想を善導する大目的に突進した。併し此の種の學校は全く新しい試みであつた爲めに殆んど毎日のやうに事情が移り變つて行つた。進歩に驚喜することもあれば意外の出來事に當惑失望する事もあつた。教授の方法としては教師の講演より

も師弟間の問答對話に主力を注いだ。これは確かに進歩した考へである。ボルツプは學校が落ちつくにつれて次の事を發見した。都會の青年は農村の青年のやうに他人の言ふことを素直に信ぜず何事にも批評的態度を執るから概して懷疑に傾いて確乎とした信念を得ぬといふ通弊がある。併し一たび其の心眼を開いて眞理を愛する念慮さへ喚び起して遣れば學業の進歩は農村青年よりもずつと著しい。生徒の数は最も多い時でも一年七百を越えた事はないといふ有様であるが其の影響は相當に大きいものと見られてゐる。彼の學校の生徒には勞働者の子弟のみならず中産階級の住民をも網羅してゐるから學校教育の効果は生徒のみに限らず其の家庭知人を通じて間接に首府全體に普及してゐる。其の影響の及ぶ範圍は一にボルツプの人格と熱誠によつて開拓されてゐると見てよからう。

ボルツプの學校は普通の國民高等學校とは全く類型を異にした新しい試みであるがグルントウイツヒの根本精神を貫徹する機關たる上に於て何等の相違はない。これは大都會生活が生み出した國民高等學校の新形式と言ふべきであらう。これは取りも直さず時勢の要求に適應する改善進歩の一と見てよからう。ボルツプの學校はまだ農村の學校と同一程度の教育成績を收め得たといふことは出來ぬが都會の青年をして人生問題に關して其の心眼を開き得たといふ功績は没す可らざるものがある。

十 國際國民高等學校

グルントウイツヒの根本思想に基いた農村青年に對する國民高等學校はボルツプの熱烈な念願と努力によつて首府コペンハーゲンに於て都會青年に對する國民高等學校を生み出したが此の學校は更に一轉して歐洲大戰を機としてマンニへの盡力によつてヘルシンゲールといふ所に國際國民高等學校を生み出した。祖國青年の國民精神作興を眼目とした國民高等學校が祖國を異にし血族を異にした諸外國の國民をも收容する國際的の學校となる事は其の目的本領に於て多少自家撞着を感じる所があるではないかといふ疑問が起つて來る。併し深くグルントウイツヒの根本思想に遡つて見れば此の要點に於て何等の矛盾もないことが釋然として了解される。創立者のペーテル・マンニツへは首府コペンハーゲンで勞働者の教育に従事し大學のセツトルメントや前記のボルツプの國民高等學校に教鞭を執

つた経験があり且つ自身に英佛獨語に精通して頗る國際精神に富んでゐる。彼は自國の勞働者教育から思ひついて大戦中に勃興した世界的デモクラシーの思想に促されて諸國の勞働者に共通な教育を施し一方には國際間の不當な誤解を去り且つ忌はしい反感を融和して國際友誼を醇うし以て戦争の慘禍を未然に防ぎ世界恒久の平和を將來に確保する助けとしようとする計畫を立つるに至つた。此の思想はヴェルサイユの平和條約と共に成立した國際聯盟や之に伴つて起つたあらゆる國際的平和運動と其の趣旨を一にするもので、其の根本精神は現代思想の根本基調たる協同和親を主とする人道の理想に歸着することは茲にくだく大きく説明する必要があるまい。國際國民高等學校が國際聯盟を成立せしめた精神と同じく協同和親を生命とする人道の理想に基づくものとすれば其の趣旨に於てグルントウイツヒの根本思想と一致することは固より説明の必要がない。グルントウイツヒは祖國の爲めに國民精神の作興に努力した點に於ては一寸人道的の國際精神と相容れぬ所があるやうな疑問を起さしめるがグルントウイツヒ自身は其の基督教の信仰に於ては協同和親を生命とする人道の理想に立脚してゐる。彼は人道の理想に一致する國民精神を鼓舞するが假

初にも人道の理想に反し又、之と矛盾撞着するやうな國民精神を作興しようとする譯がない。此の精神に於て彼は決して偏狹な軍國主義者たるべき人物でないことは明瞭である。彼が國民精神作興の爲に奮闘した當時の國情は彼をして同胞を覺醒し其の元氣を鼓舞するに全力を盡さしめたがそれは決して他國を侵略する軍國主義でなかつたことは言ふまでもない。グルントウイツヒの人道の理想を擴充すれば國民高等學校の思想から一轉して國際國民高等學校の思想を生ずることは深く怪しむに足らぬ。グルントウイツヒの根本思想に基いた國民高等學校の教育は自由平等の觀念に基いた民衆主義の教育でありグルントウイツヒ自身も大衆を味方とし其の自由を擁護する民衆主義の張本人であつた。グルントウイツヒは餘り工業に興味を有たなかつた所から其の民衆主義の教育は全國民の教育を標榜しながら實は自然に農村青年の教育として發達したが彼自身は決して都會の勞働者を除外する偏見を有つてゐたのではない。彼の農村青年の教育が最近圖らずもボルツプの盡力によつて都會青年の勞働者教育を生み出し其の勞働者教育がマンニツヒの手によつて更に國際勞働者教育に一轉した經路を辿つて行けば其の間に少しの無理がないと思ふ。彼の學校は

國民高等學校の名を襲踏し其の上に國際の二字を冠してゐるが其の實質から言へば寧ろ國際勞働者高等學校又は國際民衆高等學校と命名した方が名實相應であると思ふ。此の學校を國際國民大學と呼んでゐる人もあるが少し名稱が勝ち過ぎる嫌がある點に於て國民高等學校を國民大學と呼んで俗人を嬉しがらすと一般である。

創立者の計畫では所謂特權階級を除外し國籍の區別を問はず廣く世界の勞働者を中心として生徒を收容する方針であつた。即ち勞働者の國際教育を圖つたのである。彼は大戰勃發第三年即ち千九百十六年の春此の計畫を提げて英國に赴きて當路の有力者を歴訪し知名の政治家宗教家教育者の賛成と助力を求めた。彼等は孰れも丁抹は獨露英の間に介在する中立國として國際學校の所在地たるに極めて適當なることに讃同した。彼は更に此の計畫を米國に通じ後又獨逸にも傳へ兩國からも有力な賛成者を得た。自國丁抹では創立委員會を組織し文部省のヘーゲルマン、リンデンクローネ（私が面會した人）を委員長に推舉する事になつた。これには代議士其の他有力な大學教授連の後援があつて六萬クローネの寄附金が集まつた。首府から交通便利な土地に敷地を求めてゐたが幸にして其の北方位遠か

らぬ前記のヘルシンゲール（英語ではエルシノーア）といふ風光明媚の地にソフイェンリストと呼ばれた一農園が手に入つた。首府のセツトルメントの勞働者の援助を得て學校に使用され得るやうに農園の改造に取りかゝることが出来たのは大戰終局後二年餘を過ぎた千九百二十一年の春であつた。準備もまだ十分に整はぬ中に最初に駆つけた生徒は饑餓に頻した墺地利人であつた。彼等が最も驚喜に堪えなかつた事は何よりも食事の品質の良かつた事である。併し彼等が最も合點の行き兼ねた一事は學校の自由平等的態度と協同自治の風であつた。多年祖國の嚴格な軍隊的訓練に馴れた彼等は尊敬する長上の權威によつて指揮命令されねば何事も手につかぬといふ有様であつた。廊下で職員の顔を見れば直ぐ立留まつて直立不動の姿勢を取つて敬禮する様は兵士其の儘であつた。尙ほ此の學校を自國の官立大學のやうに想像して來た彼等は農園を改造した無造作な校舎に一驚を喫した。其の中に彼の迷夢が何時となく醒めて學校の風にも馴れ丁抹人とも仲善しになつた。初年度に收容した生徒は墺地利人三人獨逸人五人英人三人米人二人愛蘭人一人スコツトランド人一人丁抹人九人合計二十四人であつた。此等の生徒は墺地利人が丁抹人と違ふやうに各

自異なつた教育を受けて來てゐるので夫れ夫れ國民の特色を表はし風俗習慣のみならず思想感情も違へば之を交換する國語も違ふ所から最初は混亂不統一の状態を呈した。併し先づ國語の通ずる者同志が自然に仲善しになり一所に手工業に従事し同じ歌を合唱するなどして何時となく全體を通じて融合和親の様が表はれて來た。二十四名の中に大學生が五人事務員三四名其の他は皆都會の勞働者であつた。彼等の感情を融和するに最も有力な助けとなつたものは前に述べた唱歌音樂手工業並に語學の教授であつた。最初から言語の通ずるものは言ふまでもなく少しも通じなかつたものも日夜起居を共にするから相互に意志を通ずる途が自然に起つ來た。外國語を用ひる機會が絶えずあるから語學の教授は教授と練習と二つに區別がつかぬ位に有效に行はれた。其の中に英語が優勢になつて講義の討論も作文も英語でやる事が出来るやうになつた。此の状態で着々秩序が立つて千九百二十五年には生徒は六十五名に達し其の半數が外國人であつた。丁抹の勞働組合産業組合並に丁抹政府も大きな援助を與へるやうになつた。英米獨の三國も委員會を組織して生徒を選拔し且つ其の學資を補助する途を開いた。國際國民高等學校は各國民の特色を撲滅せず

して協同和親の精神を涵養しようとする上に於て國際聯盟の縮小國の如き觀がある。各國民はそれ〴〵特性があり言語風俗習慣から思想感情に至るまで固有な長所短所がある事を間接に話に聞き又は本の上で讀んで知るのでなく直接に其の國民に接觸して相互に理解し合ふことは國際協調の上に極めて重大な價值を有する。最初に集まつた外國人は主として北歐文化を理解する事が主要の目的であつたらしい。校長が國語丁抹語の外に英佛獨語に精通してゐる事は國際教育上極めて便利であつたらうと思はれる。學校が國際的であるから教師も一國の人に限らず英米獨佛各國の知名の學者をも網羅してゐる。

國際國民高等學校が丁抹の農村青年を教育する普通の國民高等學校と比べて如何なる共通點を有するかといふ事は極めて興味ある問題である。第一に擧ぐべき點は全校を支配するデモクラシーの精神である。これは此の學校を生み出した根本であり且つ當時の全世界を風靡してゐた時代思想であつたと同時にグルントウイツヒの根本思想と一致する。これが列國の勞働者を教育しようとする本校と農村青年を教育してゐる國民高等學校と共通であり得る所以である。グルントウイツヒは極力階級的差別に反對したから國民高等學校

には微塵も差別待遇の痕跡を留めぬ。協力互助、協同自治の精神に基づく聯帶責任の觀念は此等の學校に共通な美風である。國際國民高等學校は外國人が多いから固より普通の國民高等學校と寸分違はぬ迄にグルントウイツヒの精神が徹底してゐると強辯する事は出来ぬ。併し外國人にも或る程度まで此の精神が感化を與へてゐる事は掩ふ可らざる事實である。昨今生徒の約半數が丁抹人であるといふ事實から考へても此の事は想像に難くない。外國から留學してゐる生徒等も自國を顧みて此の學校の特色を感知し且つ其の特色が丁抹に固有な國民高等學校の特色であるといふ事も篤と承知してゐるやうである。次に第二の共通點として擧ぐべきものは教育上に書籍に拘泥せず人格表現の最も有效な手段として「生きた言葉」を重んずることである。これは本來グルントウイツヒの動かす可らざる確信に基づいたもので國民高等學校の尊い傳統の一である。生きた人間の口から直接に迸り出る血あり涙ある言葉は人の肺腑を貫き其の内心に喰ひ入り徹底した了解を得しむる唯一の武器である。國際國民高等學校の教育は死んだ書物の講釋位で満足するものではない。師弟間の人格の接觸は寧ろ或る點に於ては普通の國民高等學校以上に親密なものがあると

言はれてゐる。國語が違ひ經歷が多様であるといふ事情は一層此の事を必要とする。第三に擧ぐべき共通點は學校の教育が出来る限り生徒の要求に適應するやうに顧慮する事である。普通の國民高等學校でも個性尊重の現代的要求に鑑み此の方面は其の特色の一をなしつつある。普通の國民高等學校では祖國といふ觀念を中心として國民精神の作興が主眼となつてゐるから丁抹の國史國文は之に伴つて缺く可らざる主要教科であるが外國人に取つては決して一樣の價値を期待することは出来ぬ。随つて國際國民高等學校は此の點に於て著しく普通の國民高等學校と異なつてゐる。外國人に取つて丁抹の國史國文が全然無用といふ譯ではないが其の了解から生ずる價値は丁抹人とは同じくない。國史國文は國民生活を中心とする所から全然共通一致の點を見出し難いが一層廣い立場たる人間生活の上に於ては相互の矛盾がない譯である。普通の國民高等學校は國民生活を中心とすると同時に廣く人生の意義を了解させようと努める。此の點に於ては兩者の間に矛盾衝突があり得ない。随つて第四に擧ぐべき共通點は生活の學校たることである。人間生活を理解さず教科としては社會學經濟學等を擧げる事が出来る。歴史の教授も普通の國民高等學校と同じく

永遠に連續する人間生活の記録として人間生活を理解さす上に有力な手段となつてゐる。偉人傑士の傳記の如きは具體的であるだけ其の努力奮闘成功失敗の跡が青年に感化を與へる所が多い。文學の教授も歴史同様青年を鼓舞獎勵する教科である。國際國民高等學校の趣旨も畢竟グルントウイツヒが最初理想としてゐたやうに此の人生を楽しみ各自の生活を一層充實し一層豊富にするといふ事に歸着する。即ち生活の學校たる點に於て兩者はピツタリと一致するのである。最後に而かも最も根本的な共通點として學ぐべきは宗教的精神である。マンニツへをして此の學校を創立するに至らしめた動機は他の國民高等學校の教師や校長が自己の事業に一生を捧げるやうになつた動機と一樣に敬虔な宗教的精神であつた。併し彼の宗教的精神は舊約全書に現はれてゐるやうに神の信者をして神の選民たる慢心を起さしめ其の極他の國民を威壓侵略するを辭せざるに至るやうなものではない。國民相互の誤解や憎惡の念を除き去つて國際協調融和の助としようとする創立者の趣旨は四海同胞の人道精神に基づいてゐることは明々白々である。入學の當初は生徒各自の國語によつて組別を異にする必要もあり又國民性や風俗習慣の相違から感情の衝突や面倒な問題を

惹き起す事もあるが全校に溢れてゐる人道の精神は何時となく融合和親を來すのである。國際國民高等學校と普通の國民高等學校とは一寸考へた所では其の目的が互に矛盾するやうであるが深く研究して見れば存外に共通一致の點が多いことが分る。私が國民高等學校の最近の進歩として又其一變態として茲に附説したも其の爲である。

大正十二年の夏米國の國民教育會の主催によつて世界の教育者が聯合して桑港に大會を開いて教育の手段によつて國際理解國際正義の諸徳を涵養する目的を以て世界教育會聯盟を組織して隔年に大會を開いてゐる。此の世界教育會聯盟は我が國では國際教育會議と名づけてゐるが其の目的とする所は根本精神に於て此の學校の趣旨とピタリと一致する。桑港の大會では聯盟の趣旨を貫徹する一法として國際大學を設置する理想案が提出され第二回のエヂンバラ大會でも其の案が再び問題とされたが遂に具體化するに至らなかつた。本校は桑港の大會に理想案として提出される七年も前から疾くに計畫の實行に着手され其の二年前には既に開校されてゐた。本校の實際と世界教育會聯盟の所謂國際大學とは其の間に内容の懸隔はあるが兩者共に本來五年間に亘つて歐洲大戰が交戦國民をして戦争のあら

ゆる慘禍を最も深刻に體驗せしめた後に世界を風靡した正義人道の精神によつて喚び起されたものである點に於ては寸毫の相違がない。本校の將來は固より未知數であるが創立の目的に向つて正しく進んで行く以上は國際協調の上に有力な貢獻をなす事は疑ふ餘地がない。國民精神作興の源泉として起つた丁抹國民高等學校が一轉して國際精神を涵養する國際國民高等學校を生み出すに至つたといふ不思議な事實は國家主義對人道主義又は民族主義對國際主義乃至國民精神對國際精神に關する重要問題を研究する人に取つては誠に貴重な參考資料であると思ふ。

4 國民高等學校の發達と農民の勃興

一 丁抹に於ける民權の發達

國民高等學校の歴史は農民の生活と其の盛衰を共にしてゐる。國民高等學校は農民勃興の氣運に乗じて起り其の發達が一層農民の勃興を促進した。百年前の丁抹の農民は他國の

農民と一樣に微力卑屈の生活状態に甘じてゐたが百年後の今日に至つては次第に經濟政治上の勢力を養ひ來つて遂に國民を指導する最も有爲有力の階級となり了はつた。而かも斯の如き農民の勃興を齎らした原因には第一に國民高等學校を擧げねばならぬ。丁抹の住民は約四割餘が都會に生活してゐるが人口の約三分の一が就學したと言はれてゐる國民高等學校の卒業生には都會出身のものは極めて少數で其の大部分は農村の青年である。而して今日議政壇上に立つて國政を議する代議士や中央政府に在つて國政を處理する官吏にも國民高等學校の出身者が中堅勢力を握り地方自治團體や産業組合などの幹部では固より優勢を占めてゐる。要するに社會進歩の鍵を握る人々が國民高等學校出身者によつて代表されるといふ事實は同校の發達が農民の勃興を示す最も明白な事實である。今日の丁抹の農民は百年以前の農民の夢にも想像する事の出來なかつた有力な地位を獲得してゐるのである。丁抹の農民は昔時から共有地を耕やすか大地主の小作人であつたが十八世紀末から十九世紀の前半にかけて農民に土地を分與して自作農を奨励する法令が實施された。自作農の普及は農民の社會的地位の向上と民權の擴張に重大な貢獻をなした。小作人は最早大地主

に對する卑屈の境遇を脱したから丁抹の農民は近時我が國に往々見るやうな忌はしい小作争議を爲す必要がない。農民が自己の所有地を耕作することは其の生活を安定にし而かも其の土地の所有が大體に平均して甚しい多少の懸隔がない事は農民の間に著しい貧富の懸隔を生じて階級分裂や階級反目を醸成する患を免れた。昔の大地主は次第に所有地を減じて自作農者の増加を助けた。千八百六十四年領土割讓以後は「國外に喪失したものを國內に恢復する」といふ標語の下に荒地の開墾が全國に行はれたもので一層自作農業者が増加した。遂に中産の自作農業者が國民の中堅を作るに至つた。斯くして農民の財産が平均して階級分裂と階級反目の禍を免れた事は期せずして共同和親を生命とするデモクラシーの素地を作つた。千八百四十八年に起つた丁抹獨逸戦役は舊來の君主專制政治に終を告げしめ千八百四十九年には憲法が公布された。千八百六十四年領土割讓の年には憲法の修正があつて民權は一層擴張された。最近の歐洲大戰は更に民權を擴張する機會を作り開戦第二年即ち千九百十五年には遂に普通選挙法案が通過した。グルントウイツヒ主義の遵奉者は民權擴張殊に普選運動にては常に左黨の有力者であつた。グルントウイツヒ自身も丁抹農

民の能力に就ては鞏固な確信を抱いて居た。領土割讓後著しくグルントウイツヒの勢力が全國に普及するやうになつてからはデモクラシーを幟印として邁進し得るものは此の勢力によつて統一された農民に限るといふ有様であつた。憲法改正の運動に於ても國民高等學校の卒業生は重要な勢力であつた。彼等は議會に於ても地方に於ても左黨のリーダーであり、千九百三年には議席の百分の三十五は國民高等學校の卒業生を以て占領されてゐた。以て農民の政治上の勢力を察する事が出来る。切言すれば丁抹の政治は農民階級によつて支配されてゐるのである。昔に支配を受けた階級が今日では支配階級に進んだのである。丁抹は本來農業國であつて漸く工業化して來たのは十九世紀の末葉即ち領土割讓以後の事であつてこれから漸次都會に新しい社會問題を惹き起し社會民衆黨も次第に勢力を得て千九百二十四年には遂に政權を握るに至つた。農民は大體溫和派に屬し國民高等學校の卒業生は溫和急進の二派に分れてゐる。丁抹に取つて今日の最も困難な社會問題は都會生活に關聯してゐる。然るに都會生活から遠ざかつてゐる農民は十分に都會の事情を理解せぬから農民が都會の社會問題に干與する事は頗る困難と言はねばならぬ。此の方面に就いて

はボルツプが試みてゐるやうな新しい教育を必要とする。要するに都會に起つた社會問題の解決は丁抹に與へられた將來の課題である。

二 丁抹に於ける農業の發達

丁抹に於ける民權の發達は一方に於て農業の發達を促した。十九世紀の初期まで農民が微力卑屈の地位に甘んじてゐた時代には身に何等の教養もなければまして農業改良などの熱心もなかつた。農事改良の委員會が出来ても農民からは一人の代表者が出る譯でなく其の内容は事實上農民以外の人の慈善事業といふ有様であつた。併し憲法制定の後は農民間に自由獨立の思想感情が普及し自己の勢力に就いて自信を抱くやうになりそれが延いて農業の進歩をも將來した。此の傾向は領土割讓を機として國民高等學校の設立が續出するやうになつて一層著しくなつた。地方の農會の如きも從來は大地主が采配を振つてゐたが次第に其の手を脱して農民自身のものとなつた。此種の農會は領土割讓の年には其の數僅々二十に過ぎなかつた。が三十六年後即ち千九百年には其の數が百一の多きに達した。これは

はやがて農業の進歩を示す指數と見てよからう。

又農業の經營と密接の關係ある貯蓄銀行の數は千八百五十年には僅か三十七であつたものが領土割讓の翌年七十六となり更に二十一年を経て千八百八十六年（明治十九年）には四百七十九の多數に達した。これも農業勃興の氣運を示すものである。此の如く農民勃興の氣運が隆々として進んでゐた際に突然として之に大打撃を與へた恐慌が襲つて來た。それは從來丁抹の主要農産物は小麥を主とした穀類であつたが此に對して西歐の黒海及びバルチック海沿岸から競争の強敵が現はれた。間もなく南米北米に小麥の生産が莫大に増加しこれが歐洲の市場に襲來した爲に小麥の市價が見る／＼暴落して丁抹では其の生産費も償ふことが困難といふ有様となつた。丁抹の農民は此際何とか産業の根本改革を斷行せなければ見す／＼自滅を招くより外に途はなかつた。

千八百七十年頃から下落が始まつて十年後には四分の一程も下落し年々其の趨勢が續いて更に十年後には元の半額に近づくやうになつた。かゝる産業の危機に遭遇した丁抹の農民は多年訓練を受けてゐた國民高等學校の教育の成績が圖らず其の眞價を發揮して優に存

亡の危機を救済し得た計りでなく舊に倍して農業の盛況を來して其の生活を充實向上させる事が出來た。今假りに丁抹にグルントウイツヒが出でず國民高等學校が民間に普及しなかつたものとし農民が依然として無能無氣力保守因循の惰眠を貪り卑屈微力に甘じてゐたものとすれば此の危機の襲來を避く可らざる運命とあきらめ其の翻弄蹂躪に一任するより外はなかつたであらう。幸なるかな青年時代に國民高等學校で心眼を開かれ自治協同の訓練を積んだ農民は見事に難關打開の途を發見した。當時麥價の下落と反比例に價格の騰貴を示したものはバターとベーコンであつた。丁抹の農民は逸早くも此の事實に着目して産業の轉換を斷行し從來小麥が主要農産物であつた形勢を一變して世界の優良品として知られるバターとベーコンとを主要輸出品となすやうになつた。今や丁抹は高價なバター、ベーコンを輸出して廉價の小麥を輸入する事によつて國民の財政は全く安定の基礎を固うした。バター、ベーコンに限らず其他有利な農業が發達した。千九百二十二年の調査によれば輸出額の首位を占むるものはバター、ベーコンであり、鶏卵之に次ぎ牛肉家畜馬等の輸出も相當の額に上つた。英國に輸入されるベーコンの五割バターの四割鶏卵の二割は丁

抹品と言はれてゐる。而かも此等の産業は協同自治の精神に基いた信用制度や産業組合の組織によつて一層其の發達を促した。恐慌襲來の不景氣時代には保守主義の人の間に生産的な國民高等學校に對する非難の聲も起つたが進歩的の青年の間には十分に其の眞價が認識されてゐた。彼等は直ぐに處世に實用ある知識を授けられないが學校を去るまでには祖國の運命を双肩に擔ふだけの國民精神が十分に喚起され、時勢の變遷に適應して行くに必要な心眼を開かれ且つ心身の能力が鍛鍊されてゐる。彼等が學校を出で、地方の農會や産業組合の牛耳を執り且つ地方行政の主力となつたのは極めて自然の勢である。

國民高等學校は農學校のやうに直接に農業に關する學術技藝を授けなかつたが其の根本たる人格を鍛鍊して自己の業務を尊び之に精勵する美風を養成し農業の進歩に貢獻した所は少くない。アスコフ校のシュレーデルが農業の進歩に功勞があつたことは前にも述べた通りである。農業の進歩に伴つて各地に農學校が設置される機運を作つたが此等は多く國民高等學校出身者又は其の關係者の手によつて經營せられ加之國民高等學校を卒業した者が更に農學校に入學するといふ風習を作つた爲に此の兩種の學校は姉妹校のやうな密接な

關係を作り出した。此の兩種の學校を總稱して丁抹青年學校とすることもある。

産業組合は本來英國の本土に發生したものである。此の組織は宗教家の手を経て早く丁抹に輸入された。尙一面には獨逸の制度に倣つて信用組合を作つたものもある。併し現今發達してゐる産業組合は産業危機の以後に英國風を學んだものである。最初の産業組合は西ユットランドで搾乳業を營んでゐる一青年が損益共に連帶責任とし萬事對等の權利を以て三人組合で始めたものである。此の組織は次第に全國に廣まつた。此の組織によれば資本に乏しい小農も原料器械等を共同に購入し且つ生産上には適當に組合員間に分業の制を立てる事が出来るから製品を統一し且つ改良する上に非常の便宜を得る結局小農者が大農制度と同じ利益を収めることが出来る。これは製品生産の上のみならず販賣の上にも同様の組織によつて同様の利益を収めるとが出来る。購入生産販賣を共同に行ふ事によつて漸次製品の品質を改良して次第に歐洲市場に於ける地位を向上し遂に第一等品を作り出すに至つた。今日では原料器械購入、生産、製品販賣の外信用組合、種物組合、肥料組合、屠牛組合、鶏卵輸出組合、日用品購買組合等あらゆる組合が網の目のやうに複雑に組織されてゐる。

る。而して此等の産業組合の發達を來した原動力は之を國民高等學校が青年に養成した協同自治の精神と相互信頼を確保する人格の修養に感謝せねばならぬ。宜なるかな。全國の組合長の過半数は國民高等學校の出身者である。此の事だけでも産業組合に對する國民高等學校の功績を證明する事が出来る。英國に於ては産業組合は主として都會に發達してゐるが丁抹では農村に發達した事が其の特色である。これはグルントウイツヒが英國の工業から得た所を祖國の農民に鼓舞獎勵した努力の收穫と見て差支えはなからう。

三 丁抹農村に於ける國民高等學校の勢力

十九世紀の中頃まで丁抹の農村では修養上の講演會もなく假令あつても民衆がそんな會合に出席するといふ事は絶無と言つてよかつた。グルントウイツヒが丁抹小作人解放五十年祭を機として近世史に關する連續講演を公衆の爲に開講したのは千八百三十八年六月であつて民衆に對する公開講演の嚆矢であつた。題目は最近五十年間に於ける丁抹を中心とする歐洲近世史であつたがこれは英國歸朝後數年を経て國民高等學校の計畫が殆んど彼の

胸中に熟してゐた時であつて國民精神喚起の熱望が自ら舌頭に發露して多數の聽衆に非常の感動を惹起した。これは期せずして民衆の心中に國民高等學校の種子を蒔きつけた事になる。彼の講演は從來の形式に拘泥せず縦横自在に彼の熱誠を吐露した點に於て青年時代に大學で聽いた新歸朝者ステファエンスの講演に其の範を取つたとの事である。其の翌年グルントウイツヒの例に倣つて詩人であり宗教家であるブリツヘルといふ人が國家問題に就いて同様の講演會を開き他にも其の例に倣ふものが二三はあつたが特筆するに足るものは少なかつた。グルントウイツヒが望んでゐたやうに國民精神を作興し民衆に開化修養の熱望を喚起するやうな目的を達する公開講演會が農村に起つて來たのは領土割讓以後民心が自然に此の方面に向つて來てからである。つまり此の運動は國民高等學校の發達と併行して進み其の目的や任務も從來なれば教會に屬し當然宗教家によつてなされてゐたものである。グルントウイツヒ一派の講演會は最初小學校を會場に使用してゐたが保守主義の教育當局者は其の使用を嚴禁したので已を得ず別に農村に公會堂を建築する事になつた。此の公會堂は講演の外體操や射撃の練習にも使用された。此の種の講演會は大體に於て國民高等

學校と同様の趣旨に基づいたもので民心の作興と共に知識の向上を圖ると同時に人格の修養にも多大の力を用ひた。國民高等學校の出身者が講演會の中心人物なるのみならず其の教師は學校から各地に出張して講演をする。此等の會堂は財政困難の時代に間に合せに出來たので建築は概して粗末で外觀は極めて見すばらしい。併し二十世紀になつてグルントウイツヒの精神に基づいて全國に亘つて丁抹青年協會といふ自治團體が組織されてから各地の公會堂も次第に外觀を整へ其の事業も一層秩序的となつた。現今公會堂の數は全國を通じて一千以上に達し各會堂で毎年平均八回の講演會を開いてゐる。尙ほ四月九月十月は各國民高等學校の休暇の時期に當るので其の教師達は地方の講演會に出張し地方の啓發に貢獻すると同時に地方の事情に精通することに努めてゐる。丁抹青年協會の中には體操協會も包含されてゐる。國民高等學校の創業時代には全國の青年が獨逸に對する復仇の念に燃えてゐたから學校でも兵式教練を授け農村の公會堂でも射撃の練習を行つた位である。間もなく青年の體操熱が冷却しかゝつた頃に瑞典のリング式の體操が輸入されて卷席の勢ひを以て全國の農村に普及した。リング式の體操は體力の練磨に留まらず心身一體の鍛鍊

を行ひ意志の自由に従つて身體を自在に活動し得ることを人格の發達に大切な要件と考へた。換言すれば此の種の體操を以て人間としての生活を充實し豊富にして人生を向上するに缺く可らざる要件と考へた。これは言ふまでもなくグルントウイツヒの精神と一致して而かも講演座談などは全く異なつた方面から同様の精神を涵養するので學校内でも公會堂でも極めて熱心に行はれた。瑞典式體操の効果は身體を強健にする上にも意志を鞏固にする上にも剛毅忍耐の氣象を養ふ上にも極めて顯著であつた爲に半年間國民高等學校の教育を受ければ青年の體質が一變するとまで言はれた。入學前既に勞役に堪え得た青年の筋骨を猛烈に鍛鍊して體力を充實し元氣を旺盛ならしめ一層勞役を樂しむ風を作り出した。今日でも國民高等學校の出身者は地方の體操協會に参加して其の牛耳を執つてゐる。

千八百六十四年にシュレスウイツヒ、ホルスタイン州が獨逸に割讓されてから同地の農民は普魯西の兵役を脱する爲に丁抹本土に移住するものもあつた。又普魯西政府は此の地方に丁抹國語の教授を禁じ國民高等學校の閉鎖を命じたのでレッヂンク校はアスコフに移轉した事は既に之を述べた通りである。此の地方の住民であつて丁抹本土の國民高等學校

に留學を希望するものが少くないので二十八年後即ち千八百九十二年（明治二十五年）にはかゝる青年の留學を援助する爲の協會が組織された。此地方の出身者で大戰中獨逸軍に召集されてゐたものが故郷に文通する際には當局の檢閲が嚴重であつたに拘らず丁抹語で書いたものが多かつた。これも國民高等學校の農村に及ぼした影響の一面と見る事が出来るよう。

丁抹の國民高等學校は事實上農民の爲に農民が作出りした學校と言つても差支ない程である。其の勢力の中心が農村に存して居り農村生活が之によつて充實し他國に見るやうな農村の小作爭議又は階級反目の社會問題から免れて全體として平和幸福の生活を送つてゐることは國民高等學校の賜物と言つてよからう。百年前の事情が顛倒して昔の卑屈微力の農民が漸次勃興して國民の支配階級の地位に進んだのも同じく國民高等學校の力である。此等の點のみを考へれば我等は徹頭徹尾國民高等學校に謳歌するより外の途はないが退いて丁抹の將來に想到すれば多少の陰影を認めぬ事はない。換言すれば國民高等學校は過去に於て農村青年の教育に成功したやうに果して都會青年の教育に成功し得るか。ポルツプ

の學校は果してコールドヤシュレーデルの學校と匹敵する成績を擧げ得るであらうか。又農村出身の政治家は果して生活状態を異にした都會民の政治に堪能であり得るであらうか。都會生活から起つた困難な社會問題が果して農村の政治家によつて遺憾なく解決されるであらうか。此等は私が丁抹の國民高等學校を研究するに際して何時となく胸中に浮んで來た陰影である。此等は暫らく未解決の問題として保留して置きたい。

5 國民高等學校の本領

丁抹の國民高等學校は其の名の示す如く、眞に徹頭徹尾丁抹國民の學校である。最も正しい意義に於て徹底した國民教育である。兒童の國民教育ではなくして青年の國民教育である。丁抹は農業國であるから國民學校は即ち農民學校である。創立の當時多少輕侮の意味を以て呼ばれてゐた農民學校の名は眞によく其の實體を言ひ表はしてゐる。此の學校はグルントウイツヒの創意によつて國民精神に基づきピツタリと農村生活の實情に適合し而

かも何等政府の指揮命令によらず民間に生長發達したものであるから自國生えぬきで眞に丁抹固有のものであつて決して外國からの借り物ではない。其の特色は即ち丁抹の特色であつて決して他國に同じものがない。尤もグルントウイツヒの胸中に此種の學校の計畫が具體化するには英國の教育が有力な刺戟を與へてゐるが彼は決して盲目的に英國の學校を模倣したのではない。材料や養分は他國から得ても學校の生命其の物や其の生長發達は全然丁抹といふ祖國の地盤の上に於てなされてゐる。此の點に於て丁抹國民高等學校は佛國のドモランのエコール・デ・ロツシユや獨逸のヘルマン・リーツの田園家庭學校の類ではない。丁抹國民高等學校の本領や特色は其の成立と發達に就いて述べた所を綜合すれば自ら明瞭である。讀者諸君は私が茲は此の表題を設ける事を徒らに蛇足を添へるものと感ぜられるであらう。併し私は趣旨を十分に徹底させる爲に特に此表題を設けて私が其の本領と見る所を分解して一應述べて見たい。前に述べた所と多少重複する所は御許を願ふ。私は其の本領を次の四つの方面から考察する。

一 農村青年の國民生活訓練所

丁抹の國民高等學校は其の本質に於て農村青年の國民生活訓練所と言ふべきものである。換言すれば最も正しい意味に於て國民生活を青年に徹底體得させる場所である。生徒の大部分は農村から來た青年であり學校を出て再び農村に歸り前のやうに農村生活を營むのであるから此の學校の訓練は徹頭徹尾農民としての國民生活を訓練する所である。此の學校は農民の子弟を收容するが農業に關する知識技能を授くる農學校ではない。農業國の學校で而かも農民の子弟を收容しながら少しも農業を授けぬといふ事は頗る意外の事であり誰も異様に感ずる所であり又他國の學校に比して特色ある所である。換言すれば卒業後に一定の職業を得る爲の實業學校ではない。又社會に一定の地位を得べき資格をも與へぬ。従來の丁抹の高等學校が獨逸の制度に倣つて官吏としての就職準備であり、又は職業を目的とする實業教育であり、其の資格を證明する爲に試験を行ふ所から學校の教育は遂に試験にパスして資格を得る爲めの試験勉強に墮してゐた宿弊に鑑み丁抹の國民高等學校

では試験といふものを一切行はぬ。其の教育は斷じて試験の爲めの教育でない。試験勉強の弊が著しく人格の圓滿な發達を害うてゐたことに顧みて全く試験と言ふ事を離れ隨つて試験準備や資格獲得のやうな實利の觀念を去り全然職業や就職の要素を除き既に職業を有してゐる者に對して國民として農民としての生活を深化して一層意義あり價值あらしめる訓練を施すのである。官吏學者乃至技師を養成する學校でなくてあらゆる職業に従事する國民を練る學校である。私が農村青年の國民生活訓練所と名づけるのは其の爲である。茲は農村青年といふのは決して知識階級又は商工業者に對して農民と稱する一階級を指すのではない。農業國としての丁抹國民のあらゆる階級を包含するのである。即ち職業や地位に關せず全國民に通ずる普通教育である。従來の高等教育が國民の少數に偏してゐたのに反對して國民の大多數を包含する國民教育即ち民衆教育を施す事がグルントウイツヒの根本思想である。此の如き非實用的非職業的不生産的の學校は一寸考へれば、國運の發展を圖る上に無用無意味の學校であるやうにも見えるが深く考究して見ればこれが却つて大局の上から國運發展の原動力となつてゐる。これは大きな實用ではないか。此の學校は官吏とな

る爲めでもなく糊口の途を講ずるのでもないが國民として又人間としての生活の意義と價値とを明かにし喜んで勤勞に服する堅實の性格を鍛鍊するから卒業の後は入學前よりも一層有意義に其職業に従事するやうになる。グルントウイツヒが丁抹の青年に授けんと欲する所は職業的の知識技能でもなければ之を證明する卒業證書でもない。最も廣く最も深い意義に於ける國民生活そのものである。獨立の生業を營んで世に立つ成人をして徹底的に意義あり、價値ある國民生活を營ましめんとするのである。殊に人生の危機とも言はるべき青年期に於て熱誠の籠つた精神教育を受けるのであるから青年は之によつて國民として又人間として將來充實した生活を營み得る精神的基礎を確立するのである。國民全體の生活準備と見るべき小學校の教育を普通教育と名づけるならば農村青年全體の國民生活訓練所たる國民高等學校は高等普通教育と見ねばならぬ。丁抹の國民高等學校は此の意義に於て小學校の國民教育の思想と大學の高等教育の思想とを巧妙に綜合調和したものと云ふことになる。國民高等學校が職業に關係なく國民全體に其の國民生活に適切な訓練をしようといふ趣旨は各國の小學校で行つてゐる國民教育の精神と全然一致する。併し丁抹の國民高

等學校は既に小學校を終へ最早生業を得て獨立生活の途に就いた青年を收容するのであるから教育の程度は勿論小學校以上でなくてはならぬ。否グルントウインヒの狙つた所は少數の階級に獨占されてゐる高等教育と同じ内容實質のものを農村青年に授けやうとするのである。他國の教育制度では小學校と大學との中間には高等教育の豫備となるべき中等教育を施す一種の學校が介在してゐる。小學校中等學校の二階段の學校を通過して高等教育を受けるのが普通各國で行はれてゐる大學進入の経路である。併し小學校を卒へてから大學に進むまでには短かくとも六七年間の學校生活を要する。其弊は學校の狭い別天地に立て籠つて社會の實生活から遠ざかり國民生活の實情に疎くなつて仕舞ふ所に在する。殊に教育が其の方法を誤つて書籍に囚はれた死學問になれば書籍を記憶する事を無上の價値ある事のやうに思ひ込んだ無能無用の本喰ひ蟲を造り出す。是れがグルントウイツヒの最も力強く反對した點である。國民高等學校は小學校を出てから中等教育を受けないで直ぐ社會の實生活に入り既に丁年近く人生を解し得る年齢に達した青年に其の實生活の體驗を學校の中等教育に代へて國民生活に必要な高等教育を施さうといふのが其の特色であり本領

である。私が之を農村青年の國民生活訓練所と名づける所以である。併し國民高等學校で授ける高等教育は其の形式に於ても内容に於ても大學の高等教育と同じものではない。即ち學者を作り官吏を作り醫師や技師などを養成するのではない。眞に一般國民生活を向上充實するに適切な訓練である。即ち主に公民としての高等教育である。

人類の文化史上から考察すれば如何に低級の社會でも青年が成人の列に加はる直前には一種の訓練を施して其の社會の一員として恥ぢぬ丈の資格を養成する途がある。戦争が極めて重要な事件である社會では必ず青年に軍事の訓練を行ふ。各國の兵役の制度はそれである。兵役即ち軍事教育は戦争の準備としての國民訓練であるが丁抹の國民高等學校は之と對照して考へれば平時に於ける農民としての國民訓練と見做す事が出来る。即ち國民の中堅を組織する大衆の公民的訓練である。而かも其の訓練は政府の力によらず自發的に民間に行はれてゐる。これが眞正の民衆教育と名づくべきものである。國民教育を施す小學校や軍事教練を施す兵役は國家が法律を制定して國民一般に強制し國民の義務として遂行するのが普通である。故に小學校の國民教育と兵役には個人の自由が認められない。之を

好むものも好まぬものも一樣に其の義務に服せねばならぬ。然るに丁抹の國民高等學校は最初から私立の自由學校であつて少しも法令の拘束がない。之に入學するとせぬとは全く青年の自由である。此の自由意志に基づく所に深い意味がある。國民高等學校は少しも強制や束縛のない自由な國民訓練所である。餘裕のない生活をしてゐる使用人までが給料を貯蓄して入學するといふ所までに進んでゐる所は他所ながら羨望の至りである。

丁抹の國民高等學校は十八歳以上の青年を收容する所から之を成人教育と見做す人があるのは一應尤である。これは小學校と連続した補習學校のやうなものではない。小學校を卒業して一旦生計の途を立てた青年が實利實用を離れて自己の修養の爲に入學するのであるから成人教育と見ても何等差支はない。併し他國に行はれてゐる成人教育や通俗大學又は民衆大學などは大に趣が違ふ。他國では高等専門の知識技能を青年に限らず廣く民衆に通俗化して均霑せしめるのが當面の目的であるが丁抹の國民高等學校は此の方面も全然無視する譯ではないが其の第一の目的ではない。其の眼目は知識技能を授與する事より青年に眠つてゐる尊い精神を覺醒して其の人格を鍛錬する事である。随つて人格が完成した成

人として上塗りの知識技能を授けるのではなく人格を未成のものとして之に根本的の訓練を施すのである。私は之を成人教育と見ず青年訓練と考へ度い。其の訓練は農業のやうな筋肉労働を厭はしめる様なものではなく、學校内で農業實習を施さぬでも卒業後は進んで勞役に服する精神を作り又其の勞役に耐え得るやうな猛烈な體操を課する。青年は國民高等學校の體育で體格が一變するとまで言はれてゐる。即ち農民として適切な精神及び身體の訓練を行ふのである。國民高等學校の訓練は農業といふやうな狭い範圍に立て籠つてゐない。國民としての生活のあらゆる方面例へば政治生活經濟生活に就いても徹底した訓練を施す。此の方面に於ては最も適切な公民的訓練である。私が農村青年の國民生活訓練所といふ所以である。換言すれば國民高等學校は國民生活訓練の學校に外ならぬ。丁抹の國民生活の訓練が十八歳以上の青年期に行はれる事は其の最も有効は時期を選んだ事に就いて意味が深い。此の年齢は國民生活の各方面を理解する能力が出来て而かも、指導訓練を必要とする適當の時期であるからである。獨逸の教育大家ケルシエンシュタイナーが唱へてゐる所謂公民的教育の理想も此の意義に於て共通の點があると思ふ。從來の専門教育が

國民の少數に獨占され官吏養成や職業準備の學校が其の卒業者に社會に地位を得る便宜を與へた爲めに教育を受けた者と受けぬものとの間に階級分裂を生じ其の結果階級反目を來して國民の思想を險惡ならしめる素因を作つた事は何處にても争ふ可らざる事實であるが丁抹の國民高等學校は始から階級の特權を認めず國民全體を目標として高等文化を民衆一般に均霑せしめようと努力してゐる。従つて從來の階級教育の弊害から全然離脱してゐる。丁抹國民高等學校は眞に民衆の力によつて民衆の爲に民衆の中から生れ出た民衆の學校である。隨つて卒業者が民衆を疎外して其の同情を失ふやうな事はない。丁抹の國民高等學校は民衆の中から生れ出で飽くまで民衆の味方として之と親しみを持つてゐる。此の意味に於て民衆と學校とは眞に學國一體の精神によつて結合融和してゐる。斯く考へれば獨逸が革命直後に盛んに丁抹國民高等學校を學んだ理由も一層明瞭となる。

二 國民精神作興の源泉

私は次に丁抹の國民高等學校の本領を國民精神作興の源泉と考へたい。グルントウイツ

ヒが英國に遊んで英國民の潑刺たる元氣と自國民の意氣銷沈の状態とを比較して兩國民は本來同じゲルマン人種である許でなく丁抹人の祖先は盛んに北歐に活躍した史實も嚴存してゐる位であるから現在眠つてゐる國民精神を目ざましさへすれば大に之を作興し得るといふ確信は彼をして國民高等學校の計畫を描かした最初の動機ではないか。今日世界に雄飛してゐるアングロサクソン人種は丁抹人と同族である許りでなく其の故郷はグルントウイツヒの祖國丁抹に連續してゐたではないか。此の點から考へれば此の學校が國民精神作興の源泉となる事は當然の道行である。グルントウイツヒは丁抹人にして眞に丁抹人たる資格を具へぬ者は到底本當の人間たる資格が無いものと考へた。彼は先づ國民たらざれば人たる能はずとし何より先に眞正の國民たれと要求した。此の見地からグルントウイツヒは自己の畢生の事實として又天職として國民精神の覺醒即ち農民の眠つた心眼を開いて其の精神を喚び起す事に全力を注いだ。グルントウイツヒの壯年時代には丁抹の國民は其の意氣が銷沈して氣概に乏しく卑屈に流れ甘んじて獨逸の下風に立ち其の糟粕を嘗め其の餘瀝を啜ることに汲々としてゐた。従つて一般に外國崇拜熱が盛んで卑屈な外國模倣が流

行してゐた。教育も一樣に獨逸の猿真似が多かつた。英國を見て自覺したグルトウイツヒは一層此の弊風に憤慨し極力外國文化崇拜を排斥し希臘古典的教育を罵倒し自主自立の精神によつて自國固有の文化を鼓吹した。彼は獨逸流に希臘古典を以て人格陶冶の最良手段とする時風を捨て去り斷乎として國史國文を國民教育の中心とする大方針を確立した。獨逸の新人文主義や浪漫派は希臘古典に表現された精神を捉へて現代生活に活かさうとしたがグルントウイツヒは自國の國史國文に表現された國民精神を自覺せしめ之を涵養振作して國民生活の生命となした。グルントウイツヒは多年の研究と體驗とに基づき國民精神の本領を國史國文の中に見出した。國史國文は國民をして他國に比して自ら卑下せしめるものでなく眞に祖先傳來の長所美點を自覺せしめ民族本有の元氣を鼓舞獎勵するに最も有力な手段であると考へた。否國民精神の作興は決して外國の歴史や外國語乃至外國文化によつて爲し得らるべきものでなく、祖先が自國民の精神を最もよく發露した國史國文によるより外はないと確信した。是は蓋し千古不朽の卓見と言はねばならぬ。而かも此卓見は彼の高邁な人格の閃きであると共に其の一生の閱歷と體驗を基礎として自然に湧き出た事は彼

の傳記の明かに證明する所である。彼は國史國文の中に籠つてゐる國民精神を青年の胸中に蘇生させて之を現代の國民生活に活躍させる事に成功した。

グルントウイツヒの英國視察が彼の熱烈な愛國心に點火して國民精神作興の計畫を立てしめた程其の當時同胞の元氣は銷沈してゐたのであるが國家無事の際に計畫鼓吹した國民高等學校が既に民間に起つて其の事業が稍其の緒に就いた時期に領土割讓の國難が起り國外に失つたものを國內に求めねばならぬ事になつて此の國歩多難の秋に國民高等學校が丁度あつらへ向きの仕事をした事は丁抹に取つてもグルントウイツヒに取つても此上もない仕合である。グルントウイツヒが斯くして彼の千古不朽の卓見によつて其の國民の自覺を喚び起し、其の共鳴者の努力によつて國運一轉の原動力を作り得た事は眞に國民のリーダーたるの名に恥ぢぬ。丁抹の國民はグルントウイツヒの鼓舞と指導によつて國民精神を作興し其の國民生活の能率を増進した結果として十分に其の國力を充實し歐洲大戰後領土の還附を待たずして優に國外に失つた所を國內に恢復し得てゐたと云つても過言でない。私は前にグルントウイツヒの効績を世界に普通教育を興起させたペスタロツチや獨逸の新

國民教育を激勵したファイヒテに比したが又彼が國民の精神的指導者たる上からルーテルが獨逸魂の鐵石の如く鞏固な意志により猛然として信仰の自由を主張して羅馬法王に挑戦し遂に宗教改革を成し遂げたのに比することが出来ると思ふ。既にグルントウイツヒを丁抹のルーテルと呼ぶ人もある。グルントウイツヒは宗教上の効績に於てもルーテルの精神を發揮してゐる所がある。尙彼の崇拜者は彼をイスラエル民族を率ゐたモゼスに擬してゐる者もある。彼が如何に國民の精神を覺醒し之を鼓舞獎勵して農民の生活を向上充實せんと満腔の熱血を濺いだかは此等の讃辭によつて十分に窺ひ知る事が出来る。彼は徹頭徹尾國民の味方であり指導者である。現今の丁抹國民高等學校には今日も尙ほグルントウイツヒの此の偉大な精神が充滿し其の鮮かな熱血が流れつゝ眞正に國民精神作興の源泉となつてゐる。丁抹の本國は勿論國民高等學校の普及したスカンヂナビヤ全體を合せ國民高等學校教育によつて國民生活を建て直し所謂北歐國民復興の新時代を作り出した事は専らグルントウイツヒの賜物と言はねばならぬ。

一三 人格修養の道場

私は丁抹國民高等學校の本領の第三の方面として人格の修養の道場たる事を述べたい。これは前に述べた所と重複する嫌があるが前者は國民としての立場を主とし此は人間としての立場を主として考察する。前にも述べたやうにグルントウイツヒは先づ國民たらざれば人たる能はず詳言すれば先づ國民として祖國を愛し自己の屬する民族と利害休戚を共にする事を知らざる者は眞に人間たる資格が無いと考へた。人たるの資格には國民の共同生活を理解する事が第一に缺く可らざるものと考へた。愛國心や國民精神は勿論人格の内容の中に包含されるものであるがグルントウイツヒが國民の資格なければ人たる資格なし、先づ國民たれ次に人たれといふ意見を重んじて私は國民高等學校が人格修養の道場である事を述べる前に國民精神作興の源泉である事を述べたのである。

グルントウイツヒは在來の學校教育が書籍上の死學問となり知識の記憶に囚はれて書籍に没頭する蠹魚同様の人間を作り出し専門家以外には誰にも譯の解らぬ術語を振り廻はしたり小六ツかしい概念を弄んで理窟をこね自分獨り得意がつても國民の生活には何等の益をなさぬ偏狹な學者氣質の教育を痛罵して眞に世を益し國民の生活を向上するやうな生きた教育をしようといふのがグルントウイツヒの理想であり且つ國民高等學校の本領である。これは言ふまでもなく知識技能を第二に置き人格の修養を第一とする教育である。前にも述べた通り丁抹の國民高等學校は普通に成人教育と見做されてゐるが他國のそのやうに人格の修養を顧みず専ら高等専門の知識技能を通俗化して民衆に普及する事を第一の目的としない。丁抹の國民高等學校は眞に青年の心を動かし其の奥底から人格の圓滿な發達を圖らうとする。殊に人生の危機と言はれる青年期に於て人格の堅實な基礎を作り上げ其の終生の生活を向上充實させようとする。青年期は人生の危機と言はれる丈あつて此の時期を無意味に過せば一生を誤まるとまでに行かずとも生活の内容が貧弱空虚で醉生夢死に終ることも少くない。之に反して此の時に青年が心眼を開き自己に目醒めて人格の鍛錬充實に努力さへすれば其の後の生活には豊かな意義と價值とが充實して來る。グルントウイツヒは確かと此の要點を捉へたのである。即ち青年の精神を覺醒して青年をして自ら進

んで人格修養に努力せしめる事が國民高等學校の眼目である。青年は人生の危機であると共に又詩的情熱に富み理想に憬れる美はしい人生の春である。此人生の春には墮落の虞もあるが向上發展の勢も希望も亦最も旺盛である。これがグルントウイツヒが青年期を以て國民の訓練をなすべき最良絶好の時期として選んだ所以である。

眞正の人間たるには眞正の基督教信者たるべしといふのはグルントウイツヒの動かす可らざる確信である。彼は青年時代に一時信仰を失つて文學に耽つたが大煩悶を経た後に堅固の信念に歸つたのであるから彼の確信は決して淺薄皮相のものではなく深刻を極めた自己の體驗から出たものである。聖書中にある通り「人はパンのみにて生きるものに非ず」といふのがグルントウイツヒの信念であり且つ人間教育の眼目である。眞正な基督教徒を作ることは彼の理想であり國民高等學校の大方針である。國民高等學校に宗教的色彩が濃厚であることは言ふまでもない。どの學校でも教師の人選には此の點を重く見てゐる。多數の校長は神學を専攻した牧師候補者又は神學者である。粗暴放縱に流れ易い血氣盛りの青年を教育し而も此等の青年を心の底から動かして行くには教師自身が堅固な信念を持つ

と共に其の言行は心の底から出なければならぬ。心の底から出たものでなければ人の心を動かすに足らぬ。グルントウイツヒの根本思想が悉く自己の深刻な體驗の結晶であり而かも已むに已まれず、抑ふるに抑へ難い熱烈な誠意からほとばしり出たやうに彼の代理人とも一體分身ともいふべきコールドは眞摯率直な人格を以てグルントウイツヒの根本思想を具體化した。コールドは宗教家でなくて之に優る敬虔な信念に生きた。彼は農民の青年と起居を共にし苦樂を同じうし實踐躬行正心誠意眞に身を以て人を率ゐた。かくして彼は全國に青年訓練の模範を示した。國民高等學校の教師は必ずしも學者たり物識たる必要はない。堅固な信念を有する事と立派な人格者である事が第一の要件である。青年の心眼を開き其の精神を覺醒し其の人格の發達を助けるものは主として教師其の人の人格と熱誠とであるといふ事がグルントウイツヒの大精神でありコールドは最もよく之を發揮し其の傳統は今日も尙ほ生きてゐる。今日の學校の教師も空虚乾燥な書籍に頼らず血の出るやうな自己の深刻な生きた體驗から確信を基礎として青年を誘掖指導する大精神を忘れない。人格の修養を學校教育の第一の目的とする事に於ては世界各國孰れも然らざるはなしで

ある。併し丁抹の國民高等學校は此の點に於て普通ありふれた學校教育と異なる所がある。學校教育では書籍を用ひぬ所は殆んど無いと言つてよいが國民高等學校には一定の教科書を用ひないのが著しい特色である。學校教育では専門の知識技能を授ける爲に器械標本等の設備をするが國民高等學校にはそれが無い。普通の學校では卒業資格を證明する爲に試験若しくは何等か成績考査の法を定めてゐるが國民高等學校には全然それが無い。國民高等學校は一切試験をせぬ學校であり卒業證書を出さぬ學校である。此等の點に於て普通の學校と餘程性質を異にする。國民高等學校は知識技能の授與を主とせず人格の養成を眼目とする。さらば教會や寺院のやうに宗教上の團體であるかといふに必ずしもさうでない。國民高等學校は宗教上の信念に基いてゐるが宗教の機關といふよりは勿論教育の機關である。或る學者がグルントウイツヒは國民高等學校の思想を中世の僧庵から得て來てゐると解釋してゐる。此は面白い見方である。中世の僧庵は言ふまでもなく宗教上の信念に基いた僧侶修業の精神的道場であり後には俗人をも收容して一種の寄宿制度の學校となつた。英國に於けるケムブリッジやオックスフォードの大學の寄宿舎や傳統的の寄宿制の

中等學校が今日も尙ほ中世紀の僧庵に附屬した寄宿舎の面影を存してゐる事は教育史家の一致する見解である。此の見方からすれば丁抹の國民高等學校は明かに英國の寄宿制の學校と似通つた性質を有つてゐる。尙ほ丁抹の國民高等學校が中世紀の僧庵と共通點を有つてゐる事は言ふまでもない。現今の丁抹國民高等學校の教育には一方に於て宗教的訓練の要素も包含されてゐるが決して僧侶の養成所ではなくて飽くまで一般國民の訓練所であるから同時に學校教育の性質も具へてゐる。學校であつて普通の學校と違ひ而かも宗教的信念に基づいた人格修養を眼目としてゐる。私が人格修養の道場と名づけたのはこの爲である。道場には精神的訓練の場所といふ意味が著しいと思ふ。

四 國民文化の淵叢

私は次に國民高等學校の本領を國民文化の淵叢として考察したい。各國の綜合大學が其の國の最高學府として學術技藝のあらゆる方面を網羅して自國文化の淵叢たることは茲に説明の必要はない。グルントウイツヒは在來の大學教育が少數の階級に獨占せられ大多數

の民衆は其の惠澤に浴してゐない事を無上の遺憾として高等文化を民衆に均霑せしめる事は彼が國民高等學校を考案する動機の一であつた。即ち彼の國民高等學校の最初の計畫は國民大學とも名づくべきものであつた。併し此の計畫が水泡に歸して農村生活の實情に適切な國民高等學校がグルントウイツヒの精神を實現する爲に彼の共鳴者の努力によつて民間に起つた事は上述の通りである。グルントウイツヒの死後に成立したアスコフの擴張國民高等學校は國民大學と名づけてもよいが普通の國民高等學校を卒業した者の入る學校であつてそれより一段程度が高いから之を普通の國民高等學校と一樣に論ずる事は出来ぬ。併し孰れも其の根本はグルントウイツヒの精神から湧き出でたものであるから程度の相違はあつても勿論共通の性質がある。普通の國民高等學校でも程度こそ低いが高等文化を民衆に均霑さすといふ精神は十分に發揮されてゐる。普通なれば到底農民の頭に入らぬ事が丁抹ではよく農民に徹底してゐる事がある。例へば普通の農民から選出された代議士が議政壇上に立つて堂々と國政を論ずる所や昨日まで農業に従事してゐた者が地方の公職に就き又は國家樞要の官吏に登用されて少しもまごつかずサツサと自信を以て公務を處理して

く所などは他國の高等教育を受けたものも三舍を避ける程であつて諸外國人の均しく驚嘆する所であるが此等は明かに丁抹の國民高等學校がグルントウイツヒの理想を實現して國民訓練に成功してゐる所であり又世界の羨望する所である。國民高等學校は其の實質に於て國民大學の用をなしてゐるものと見てよからう。果して然れば、それが國民文化の淵藪であるといふ意味も自から明白であらう。國民高等學校は最高の學術技藝を研究して其蘊奥を究める所でもなければ之を教授する所でもない。隨つて研究發明の中心と言ふことは出来ない。併し國民高等學校は一方に青年の心眼を開き國民精神を涵養振作すると共に文化の各方面に對し平易にして而かも徹底した理解力を養つて高等文化を咀嚼し得る途を開く。程度の差は固よりあるが徹底的研究の精神に於て國民高等學校の教師は決して大學教授のそれに遜らぬ。彼等は決して淺薄皮相の知識を注入するを以て満足せず生徒が充分に咀嚼して我が物となし十分に納得するまでは指導啓發と相互の研究をやめぬ。かくして得た知識は其の實際の生活に役に立つ許りでなく生徒は獨立に事理を考へ且つ判斷する心力を鍛鍊する。大學の自由討究の精神は國民高等學校に十分に發揮されてゐる。國語の練習

は國民高等學校の特色の一である。教科書が無い代りに何事も熱誠を籠めた辯舌で傳へ生徒も自己の思ふ所を縦横自在に發表する能力を養ふ。書籍によらず生きた言葉によつて思想や知識を交換する道が遺憾なく行はれてゐる。國民は斯くして各方面の高等文化に接して之を消化し且つ其の上に自己獨得の創意を加へる途を知つてゐる。斯くして丁抹獨得の文化が國民高等學校を中心として生まれ出てゐる譯である。國民高等學校の講演には生徒が列する許りでなく卒業生も村民も傍聴して絶えず日進月歩の高等文化に接觸する。グランドウイツヒは他國文化の崇拜を排斥して自國文化の理會を鼓吹した。此の點から考へれば國民高等學校が國民文化の淵藪である事は一層明瞭である。斯くして日に進み行く國の文化は民衆に傳へられ又一方民衆によつて創造されて行く。國民高等學校は直接に高等専門の知識を授ける事を標榜してゐないが一方卒業後専門の知識殊に農業について絶えず新知識を吸収し得る精神能力を鍛鍊して置く國民高等學校それ自身が國民文化の淵藪である許りでなく其の卒業者に出身の農村に歸つて其の地方の中心人物となり地方文化の開拓に盡力するから此の意味に於ても亦國民高等學校は國民文化の淵藪となつてゐる譯である。

國民高等學校は直接に農業の技術的方面を授ける事を眼目としないが其の旺盛な自治的精神や自由討究の精神は合理的に農業を營み其の生産能力を増進する上に大切な根源となつてゐる。今や世界の驚異となつてゐる農業の生産状態や産業組合の組織、運用、製品輸出組合等も皆國民高等學校の訓練に負ふ所が多い。とも角世界に羨望されてゐる丁抹の農村文化の淵藪はこれを國民高等學校に求めねばならぬ。

6 國民高等學校の教科と教育法

一 國民高等學校の本領と教科

凡そ學校の教科と其の教育法とは孰れも學校其の物の目的即ち本領によつて定まることは一般の原則である。私が前章に述べた所はとりも直さず國民高等學校の目的を分析したのであるから此の目的を達する爲には如何なる方法によつて如何なる教科を授けるかといふ事も自から想像せられる。否少しも此の問題に觸れないでは目的即ち本領其の物さへ明

瞭に言ふことも出来ない譯であるから私は上來述べた所の中に既に幾度も此の問題に觸れてゐる。讀者諸君は度々同じ事を繰り返すといふ感想を持たれるであらう。私は同じ材料を用ひても茲には少し異なつた方面から考察して見たい。

私は國民高等學校の本領として(一)農村青年の國民生活訓練所、(二)國民精神作興の源泉、(三)人格修養の道場、(四)國民文化の淵藪の四方面を數へた。今之を他の文明諸國に於ける實例に就て同様の目的を如何なる教育機關によつて達しようとしてゐるかを觀察して見れば(一)農村青年の國民生活訓練所として國民高等學校に相當する教育機關は通例農學校若しくは實業補習學校であり、(二)國民精神作興の源泉としては小學校又は之に連絡した教化團體並に軍隊が其任務を盡し、(三)人格修養の道場としては教會寺院等の宗教團體が主要の機關であり、(四)國民文化の淵藪は通例大學其他の最高學府が之を代表してゐる。丁抹の國民高等學校は小學校の國民普通教育の目的と大學の高等專門教育の目的とを結合したものであることは既に之を述べたが其の教科や教育法の上から考察しても同様の事を繰り返して言はねばならぬ。手短かに言へば國民高等學校は大學の教材を小學校

式に授ける所と見ることも出来る。國民高等學校は一面から見れば他國の所謂成人教育に相當する。併し他國の成人教育と大に異なる所は人格の修養を眼目とする所に存する。彼の大學擴張運動と稱する成人教育は高等專門の知識技能を通俗化して成人の民衆に授ける事が眼目であつて人格の修養には左程重きを置いてゐないのが通例である。丁抹の國民高等學校は人格修養の道場として宗教的精神が充滿してゐる點に於て學校といふよりも寧ろ教會の性質を多分に持つてゐる。校長が主として神學候補者である事からも之を察知するに十分である。國民高等學校の主唱者であり創意者であるグルントウイツヒ自身が宗教家である事から推して考へれば此の傾向は寧ろ當然過ぎる程である。加之丁抹全國の國民高等學校の校長や教師がグルントウイツヒの説教の仕方や精神に私淑した事も當然の成行と見ねばならぬ。國民高等學校には教科目として宗教を置いてゐる所は一つもない。併し學校を支配してゐる宗教的精神に於ては一科の教科目として宗教を課してゐる他國の學校のそれよりも遙かに旺盛である。宗教は實に丁抹國民高等學校の生命を繋ぐ根本精神とも言ふべきものである。此の意味に於て國民高等學校は明かに教會の性質を具備してゐる。其

の教育事業は明かに教會の事業と其の本質に共通のものがあるから此の學校は教會以外に於いて教會の事業を行つてゐるものと見る事が出来る。大學の高等専門の知識技能を通俗化して成人の民衆に授ける運動を大學擴張運動と稱するならば教會の生命とも言ふべき基督教の信仰を農民の子弟に徹底さす上から言へば、其の事業の本質上之を教會擴張運動と名づけても差支ない。換言すればこれは學校が行ふ宗教事業に外ならぬ。これは教會の事業を學校の力で行ふものであるから本質の上から言へば教會擴張であるが教會と學校との事業の領分から言へば學校が教會の繩張りに侵入したものとなる。宗教的訓練は之を教會でやらうと同じ事を學校でやらうと其内容實質に於ては何等の相違が有らう筈はないから教會とか學校といふ狭い範圍に立て籠つて見苦しい領分争ひをせず國民又は人類といふ廣い立場から見れば國民高等學校の宗教的訓練は基督教の信念を堅固にする上に於て教會は宜しく學校の努力即ち助力に對して感謝すべきである。併し神の道を傳ふる宗教家も世俗の問題殊に自己の利害問題に就いては何れの國にもあるやうに人間としての弱點を暴露せぬものは稀である。國民高等學校の創立經營の任に當つた初期の校長や教師はグルントウ

イツヒの精神に共鳴して崇高堅固な信仰を生命とし熱烈な愛國心に燃えて獻身的に教育事業に努力し情熱時代の青年も其の熱誠に感激して師弟一體となつて精勵したから教育の成績が着々と上り半年間修業の後に學校を辭する時は師弟共に感極つて別離の涙を禁ずる能はずといふ狀況であつた。殊に創業時代には何處にもある通りに師弟共に成功の意氣込が強い丈けに奮勵努力も強く教育の成績も著しかつた。露骨に言へば國民高等學校の教育が青年の宗教的信仰に及ぼす感化は遙かに教會の右に出でた。こうなれば宗教的感化を本務とする教會關係者が新興の國民高等學校を強敵と考へ宗教事業への侵入者として之に對して抑へ難い嫉妬を感じて内心に快く思はなかつた事は人情の弱點の然らしめる所である。國民高等學校は教會が精神生活の中心をなしてゐる農村に發達したのであるから地方の生活が單調であるだけに教會と國民高等學校の對抗は殊更に目立つた。國民高等學校の方で教會に反抗する意志は始から毛頭なかつたが其の熱心の努力と目ざましい感化が地方の精神生活に一大革命を來した顯著な事實が保守的の教會から反感を招いた。これには創意者グルントウイツヒ自身の革新的意見が在來の教會の傳統的意見と餘程隔りがあつた事も

此の反對を惹起するに手傳つてゐたらうと思はれる。

とも角も國民高等學校が宗教といふ科目を置かないで其の教育が教會擴張運動と名づけられ教會の繩張に侵入するものと迄思はれる程に宗教的信仰の涵養に偉功を奏してゐる事は實際教育家殊に我が邦の學校教育者に取て極めて有意義の教訓を與へるものと思ふ。國民高等學校が人格修養の道場として中世紀の僧庵とも比肩する程の人格陶冶に成功してゐる事は我邦の道德教育に對して價值ある實例を示すものと思ふ。學校の宗教や修身は一教科目として授ける制度はよいか悪いかと言ふ問題に就て東西の學者教育家の間に意見が區々に分れて一定しない。我が國は凡ゆる學校に修身科を必修科として之を課してゐるが其の結果の上から言へば修身科も宗教科も教科目としては置かないで立派に人格陶冶の實績を擧げてゐる丁抹國民高等學校に對して顔色がないと言はねばならぬ。修身科を特設せずとも學校内に其の精神が充實してゐれば之を特設した以上の實績が上るといふ事は丁抹の國民高等學校が最もよく之を證明してゐると思ふ。私は決して茲に日本の諸學校の修身科無効又は無用論を主張するのではない。丁抹の國民高等學校では宗教科を置かないで教會に

代り又は教會以上の人格陶冶を行つてゐるといふ點を力説するのである。換言すれば教科目としては名前もない宗教が學校生活の根本精神となり人格修養の基礎をなしてゐる事を明かにしたいのである。學校の教育は熱誠な精神さへ籠れば形式的に一科目としては特設してない方面でも其の實質内容の上に於て十二分に優れた成績を擧げる事が出来るのは丁抹の國民高等學校が生きた事實に依て最もよく之を證明してゐる。切言すれば我國の修身科に一層精神が充實すれば其の効果が必ず顯著となるといふ論據を與へるのである。

私が國民高等學校の本領として第一に擧げた農村青年の國民生活訓練所といふ方面から考察して見れば、(二)の國民精神作興の源泉として國民としての教育にも、(三)の人格修養の道場として人間としての教育を施す上にも同時に農民としての精神的訓練を包含してゐる譯である。農民としての實業的訓練は他の文明諸國では普通農學校や農業補習學校で其任務を盡してゐる。農民生活に對する實業的の方面は最初國民高等學校創業の時代には餘り顧慮されてゐなかつた。否農民の學校でありながら農業に關する實用的の知識技能を授けぬ事が其主要な特色といふ有様であつた。獨逸國境に近いレッツェンに最初の國民高等

學校が創立された際は當時獨逸勢力の壓迫の爲に危機に頻してゐた國語の勢力を挽回する爲に國民精神を喚起する事が焦眉の急務であつた爲に農業教育は全然無視した譯ではなかつたが深く之を考慮しなかつた所から當時國民高等學校の非實用主義に對する反對論が起つた位である。當時の輿論は農學校又は實業補習學校を望んでゐた事が明瞭であり農民の實際生活には此方面の教育が必要である事も推して知られる。併し初期の國民高等學校はとも角も此方面を重要視しなかつた事は事實である。此方面は後になつて自然に發達した。

初期の國民高等學校には私が其本領の第二の方面として擧げた國民精神作興の源泉といふ意義が最も強く發揮された。これは當時の國情に於て焦眉の急務でありグルントウイツヒの警眼は早くも此の急務を觀破し大聲疾呼して國民を覺醒した。グルントウイツヒに共鳴して最初の國民高等學校が創立され二三の學校が經營の端緒を開いた頃に敗戦の結果シユレスウイツヒホルスタイン二州を獨逸に割讓する國難が起り圖らずも各地に國民高等學校の新設を促がし遂に全國に普及する機運を作るに至つた。此の國辱は國民に深刻な印象を與へて盛に國民精神を作興する動機となつた。當時の國民高等學校にグルントウイツヒ

の熱血が到る所に迸しつてゐた。グルントウイツヒの精神に共鳴して學校經營に潔く一身を捧げ如何なる勞苦をも惜しまず如何なる困難や障害をも物ともしなかつた創業者の意氣は實に天を衝く程すさまじい有様であつたが學校の主義もまだ普及せず其成績も未知數であつた爲に教師も生徒もまだ國民全體を風靡する程の大勢力を有つてゐなかつた。當時の形勢では孰れの國民高等學校でも先づ第一に其の主力を國民として教育次に人としての教育に注ぎグルントウイツヒの根本精神を貫徹するに急にして農民としての實用教育に力を注ぐ餘裕がなかつたのである。然るに國土の割讓は著しく國民精神を喚起して深刻に國辱を痛感すると同時に國民高等學校の勃興を促した。其の後約半世紀を経て國民高等學校は全國に普及して其の校數も生徒數も殆んど現在の狀況に近くなり各學校に充滿してゐるグルントウイツヒの精神は卒業者と共に校外に瀰漫し今日では農民の約三分の一は國民高等の卒業者といふ有様であつて國民高等學校は名實共に農民の學校となり農民の子弟が此の學校に入る事は當然に過ぎる程の順序となつてゐる。随つて今日では校の内外を問はずグルントウイツヒの精神が丁抹全國に徹底してゐるものと見てよい。農民の青年はまだ學校

に行かぬ前から既に業に大體學校の精神の何たるかを心得てゐる。

斯の如く考へれば今日の國民高等學校は初期のそれに比べればグルントウイツヒの精神の鼓吹に用ふる力を餘程節約する事が出来る道理である。最初非常な努力を用ひねば徹底しなかつた事柄も今日では少しの努力をせずとも入學當時から既に徹底してゐるものがある。つまり國民高等學校の本領や校風が具體的に建設される爲めには當初全國に於けるグルントウイツヒの共鳴者の非常な奮勵努力を要したがそれが最早立派に建設され全國に普及してからは割合に努力を要せずして此美風が自然に傳へられてゐる。此意味に於て國民高等學校は其發達と普及とに伴つて内容充實の餘裕を生じた者と言はねばならぬ。初期の學校は知識を授けるよりも精神を作興する事に努め教材を多くする事よりも知識理解の徹底に努め生徒の數も教師の數も最少限度に縮め舊地に内容の充實に突進した。かくして獻身的に行はれた教育の成績が國民高等學校の眞價を農民間に發揚して全國民をして眞に農民生活に適切有效の教育であり青年の就いて學ばざる可らざる學校であるといふ信念を作り上げた。此信念が出来ると共に入學希望者が激増し規模の擴張が絶對的に必要となり生

徒數の増加と共に教師の増加が必要となり之と同時に教師を多種にし又前途の事情はよつて教材をも多様にする傾向を生じて來た。即ち初期の學校で非常の努力を要した精神が既に建設されてゐるから農民生活に直接に實用のある教材を授ける餘裕を生じて來たのである。グルントウイツヒ自身も農學が農業に價値あることを拒んだ譯ではないが、彼の熱烈の愛國心では當時の國情に鑑みて農業の知識を授けるよりも國民精神を作興する事を刻下の急務と考へた。随つて彼は國民高等學校に多少の農業の知識を授ける事を認めたがこれを農學校となす事を好まなかつた。併し農業に對する農學の知識は實際生活の必要であるから國民高等學校の發達と共に之に併行して別途に農學校が發達し國民高等學校を卒業したものが農學校に入るといふ形勢を馴致した。而かも農學校は多く國民高等學校關係者の手によつて其の學校の附近に設置された爾來國民高等學校と農學校とは姉妹學校のやうな關係となつて國家から補助金を支出するにも全く同列に取扱つてゐる。前に参考書として擧げた丁抹國民高等學校といふ書物も丁抹國民高等學校及農學校協會から發行してゐる所を以て見ても此兩種の學校は聯合協同行動を取つてゐる事が推測せられる。

國民高等學校が農學校と斯の如く密接な關係を有してゐるものと見れば將來農民としての教育を授ける爲に農學校に入る生徒に取つては國民高等學校は國民として及び人間としての普通教育を受ける豫備校であると同時に國民高等學校は修業の時期が極めて短いに拘らず其の餘力の許す限り農業の知識を授けるやうになつた事も自然の成行と見ねばならぬ。レツヂングに始めて國民高等學校が出来た時に農學を専攻した教師が一人あつて物理化學地質學地理學を授ける外に校内に試作農園蔬菜園實驗室等を設けたことは既に述べた通りである。これは最初の學校に自然に起つた所であるがコールド式の學校が全國の模範となるやうになつてから此の方面は一時影を潜めたがこれは農村の自然の要求から起つたものであるから國民高等學校の本領が普く發揮せられてから實際生活の要求によつて再び國民高等學校の課程中に現はれるやうになつた。今日でも此等の農業に關する知識を授けてゐるとしても國民高等學校の本領とする所は前章に述べた通りグルントウイツヒの根本精神に基づくものであつて學校の種類としては矢張り國民としての教育と人間としての教育を眼目とする國民普通教育の學校であつて農業に直接必要な専門の知識を授けることを

主要の目的とする農學校でない事は言ふまでもない。

前章に國民高等學校の本領として述べた第二の方面即ち國民精神作興の源泉としては取りもなほさず國民としての教育を施すのであつて小學校の國民教育と目的が共通である。第三の方面の人格修養の道場としては人間としての教育であつて一面には小學校の教育と共通の目的を有すると同時に教會の仕事とも一致する。國民としての教育と人間としての教育を結合すれば獨逸のギムナジウムの理想であつた新人文主義と餘程類似したものになる。一面から觀察すればグルントウイツヒが當時獨逸の教育界を風靡してゐた新人文主義の影響を受けてゐるものとも解釋する事が出来るが彼は獨逸の新人文主義が希臘の古典教育に重きを置く事には極力反對した。斯く手段方法の上には意見の相違があるが人間としての教育の上には争ふ可らざる共通點がある。獨逸の新人文主義は聖書に對する態度を以て希臘の古典を學び之によつて真正の人間性を陶冶せんと試みたがグルントウイツヒは舊地に基督教の信念に突進して真正の人間性を陶冶せんとした。獨逸の古典教育は國民少數の知識階級に限られた爲に因襲の久しき高等教育に貴族的傾向を馴致して遂に社會の階級